

MOTOTRBO™

MOTOTRBO R7 Series Portable Two-Way Radios User Guide

NOVEMBER 2024

© 2024 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved.



MN007848A01-AJ

目次

図の一覧.....	11
表の一覧.....	12
法務およびサポート.....	13
知的財産および規制に関するご注意.....	13
法的小および準拠に関する声明.....	14
供給元の適合宣言.....	14
ISED WLAN に関する説明.....	15
ユーザーへの通告 (FCC).....	15
ユーザーへの通告 (ISED).....	15
重要な安全に関する情報.....	15
市民ラジオ ライセンス.....	16
市民バンド中継器の運用.....	16
25kHz の陸上移動用周波数帯から 12.5kHz ナロー バンドへの移行.....	16
VHF 周波数範囲で船舶無線を使用.....	16
特殊チャンネル割り当て.....	17
緊急チャンネル.....	17
非営利通話チャンネル.....	17
操作周波数の要件.....	17
救難信号周波数および安全信号周波数に関する適合宣言.....	19
規制コンプライアンス情報.....	19
保証とサービス サポート.....	20
バッテリーおよび充電器の保証.....	20
製造上の保証.....	20
キャパシティ保証.....	20
限定保証.....	20
MOTOROLA SOLUTIONS 通信機製品.....	20
I. この保証の対象と期間.....	20
II. 全般的な規定.....	21
III. 州法の権利.....	21
IV. 保証サービスを受ける方法.....	21
V. 本保証の対象とならないもの.....	21
VI. 特許およびソフトウェアに関する条件.....	22
VII. 準拠法.....	22
VIII. オーストラリアのみ.....	22
第 1 章: 最初にお読みください.....	23
1.1 ソフトウェア バージョン.....	24

1.2 技術仕様.....	24
第 2 章: はじめに.....	25
第 3 章: 無線機のお手入れ.....	27
3.1 無線機のクリーニングと消毒.....	27
3.2 新規無線機の保管.....	28
第 4 章: 無線機の概要.....	29
4.1 キーパッドの概要.....	32
4.2 プログラム可能ボタン.....	33
第 5 章: システムの概要.....	37
5.1 Capacity Max.....	37
5.2 従来型アナログ モードおよびデジタル モード.....	37
5.3 IP Site Connect.....	37
5.4 Capacity Plus.....	38
5.5 ダイレクト モードまたはデュアル キャパシティ ダイレクト モード.....	38
第 6 章: 開始する.....	40
6.1 バッテリーの充電.....	40
6.2 バッテリーの取り付けまたは取り外し.....	40
バッテリーの取り付け.....	40
バッテリーの取り外し.....	41
6.3 アンテナの取り付けまたは取り外し.....	41
アンテナの取り付け.....	41
アンテナの取り外し.....	41
6.4 ユニバーサル コネクタ カバー (ダスト カバー) の取り付け.....	42
6.5 ユニバーサル コネクタ カバーの取り外し.....	42
6.6 ユニバーサル コネクタ カバーのクリーニング.....	42
6.7 無線機の電源のオンまたはオフ.....	43
無線機の電源のオン.....	43
無線機の電源のオフ.....	43
6.8 音声転送中の無線機の持ち方.....	43
6.9 音量の調節.....	44
6.10 キャリング ケースの使用.....	44
キャリング ケースに無線機を挿入する.....	44
キャリング ケースから無線機を取り外す.....	44
第 7 章: ホーム画面の概要.....	45
7.1 ステータス インジケータ.....	46
7.1.1 ステータス アイコン.....	46
7.1.2 Bluetooth デバイス アイコン.....	48
7.1.3 通信アイコン.....	49
7.1.4 ワーク チケットアイコン.....	49

7.1.5 ミニ通知アイコン.....	50
7.1.6 LED 表示.....	50
7.2 無線コントロール ウィジェット.....	51
7.2.1 ライトバー インジケータ.....	51
7.3 通知ウィジェット.....	52
7.3.1 通知ウィジェット アイコン.....	53
7.4 スクリーンセーバー.....	53
第 8 章: アイコンベース メニューの概要.....	54
8.1 アイコンベース メニュー アイコン.....	54
8.2 アイコン ベースのメニューへのアクセス.....	55
第 9 章: 無線の基本操作.....	56
9.1 登録.....	56
9.2 サイト概要.....	56
9.2.1 サイト トランキング.....	57
9.2.2 自動ローミング.....	57
9.2.3 サイト ロックをオンにする.....	57
9.2.4 サイト ロックをオフにする.....	58
9.2.5 手動サイト検索の有効化.....	58
9.2.6 隣接サイトのリストへのアクセス.....	58
9.3 ゾーンとチャンネルの選択.....	59
9.3.1 ゾーンを選択.....	59
9.3.2 エイリアス検索を使用したゾーンを選択.....	59
9.3.3 チャンネル選択.....	59
9.3.4 ダイレクト チャンネル ダイアルを使用したチャンネルの選択.....	60
9.4 通知への応答.....	60
9.5 サービスとサポート.....	60
9.5.1 フル キーパッド モデル用サービス コードへのアクセス.....	60
9.5.2 キーパッドなしモデルのサービス コードへのアクセス.....	61
9.5.3 サービス連絡先の表示.....	62
9.6 アクション リストへのアクセス.....	62
9.7 無線機情報へのアクセス.....	63
9.8 テキスト エディター オプションへのアクセス.....	63
第 10 章: 一般無線機設定.....	65
10.1 ダイレクト モード.....	65
10.1.1 リピータとダイレクト モードの切り替え.....	65
10.2 日付と時刻の設定.....	65
10.3 無線機のトーンとアラートの設定.....	66
10.4 パワー レベルの設定.....	66
10.5 ディスプレイ設定の調整.....	67
10.6 スケルチ レベルの設定.....	67

10.7 キー ロック オプション.....	67
10.7.1 キーパッドのロックとロック解除.....	68
10.8 言語の設定.....	68
10.9 全地球測位システムの設定.....	68
10.10 LED インジケータの設定.....	68
10.11 パスワード ロック.....	69
10.11.1 パスワードによる無線機へのアクセス.....	69
10.11.2 ロック状態の無線機をロック解除する.....	69
10.11.3 パスワード ロックの設定.....	70
10.11.4 パスワードの変更.....	70
10.12 音声ガイドの設定.....	70
10.13 音声変換.....	71
10.13.1 音声変換の設定.....	71
10.14 マイクの自動ゲイン制御の設定.....	71
10.15 マイクひずみの設定.....	72
10.16 ノイズ抑制の設定.....	72
10.17 音声アンビエンスの設定.....	73
10.18 音声プロファイルの設定.....	73
10.19 文字入力の設定.....	73
10.20 音声起動送信 (VOX).....	74
10.20.1 音声起動送信の設定.....	74
10.21 ケーブル タイプの選択.....	74
第 11 章: 無線機通信のタイプ.....	76
11.1 無線機で通信を発信する.....	77
11.2 連絡先リストを使用した発信.....	78
11.3 ダイヤルによる発信.....	79
11.4 プログラム可能な数値キーを使用した発信.....	79
11.5 無線機での通信の受信と応答.....	79
11.6 個別通信の受け入れまたは拒否.....	80
個別通信の受信.....	80
個別通信の拒否.....	80
第 12 章: 電話通話.....	81
12.1 電話通話の発信.....	81
12.2 連絡先リストを使用した通話.....	81
12.3 ダイヤルによる通話.....	82
12.4 デュアル トーン マルチ周波数.....	82
12.4.1 DTMF トーンの開始.....	82
12.5 コールの受信と応答.....	83
第 13 章: 音声録音.....	84
13.1 音声再生へのアクセス.....	84

第 14 章: 内部無線機スピーカと有線アクセサリ間のオーディオ ルートの切り替え	86
第 15 章: 接続	87
15.1 Wi-Fi 操作.....	87
15.1.1 Wi-Fi のオンとオフの切り替え.....	87
15.1.2 指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンにする.....	87
15.1.3 指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオフにする.....	88
15.1.4 ネットワーク アクセス.....	89
15.1.4.1 ネットワーク アクセス ポイントへの接続.....	89
15.1.4.2 Wi-Fi 接続ステータスの確認.....	89
15.1.4.3 ネットワーク リストの更新.....	90
15.1.4.4 ネットワークの追加.....	90
15.1.4.5 ネットワーク アクセス ポイントの詳細の表示.....	90
15.1.4.6 ネットワーク アクセス ポイントの削除.....	91
15.1.5 エンタープライズ Wi-Fi ネットワークへのアクセス.....	91
15.2 Bluetooth®.....	92
15.2.1 Bluetooth のオンとオフの切り替え.....	92
Bluetooth をオンにする.....	92
Bluetooth をオフにする.....	92
15.2.2 Bluetooth デバイスへの接続.....	92
15.2.3 Bluetooth デバイスからの切断.....	93
15.2.4 内部無線機スピーカと Bluetooth デバイス間のオーディオ ルートの切り替え.....	93
15.2.5 デバイスの詳細の表示.....	94
15.2.6 デバイス名の編集.....	94
15.2.7 デバイスの削除.....	94
15.2.8 Bluetooth プロファイル.....	94
第 16 章: 緊急操作	96
16.1 緊急アラームの送信.....	97
16.2 通信による緊急アラームの送信.....	97
16.3 緊急アラームと音声ガイドの送信.....	97
16.4 緊急アラームへの応答.....	98
16.5 通信による緊急アラームへの応答.....	99
16.6 緊急モードの終了.....	99
第 17 章: フォールアラート	101
17.1 フォールアラート機能のオンとオフの切り替え.....	101
フォールアラート機能をオンにする.....	101
フォールアラートをオフにする.....	101
第 18 章: ローンワーカー	102
第 19 章: ページング操作	103
19.1 ページングの発信.....	103

19.2 ページングへの応答.....	103
第 20 章: 通信履歴機能.....	104
20.1 最近の通信の表示.....	104
20.2 通信リストからのエイリアスまたは ID の保存.....	104
20.3 通信リストからの通信の削除.....	105
20.4 通信リストからの詳細の表示.....	105
第 21 章: 通信キュー.....	106
21.1 通信キューの受信.....	106
第 22 章: 優先通信.....	107
22.1 優先通信レベルの切り替え.....	107
第 23 章: 連絡先設定.....	108
23.1 新規連絡先の追加.....	108
23.2 既定の連絡先の設定.....	108
23.3 プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て.....	109
23.4 エントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けの削除.....	109
第 24 章: 通信インジケータ設定.....	110
24.1 テキスト付きテレメータ ステータスのオンとオフの切り替え.....	110
着信音をオンにする.....	110
着信音をオフにする.....	110
24.2 着信音スタイルの割り当て.....	111
24.3 アラート音タイプ.....	111
24.3.1 アラート音タイプの設定.....	111
24.4 警告トーンの音量を上げる.....	112
第 25 章: プライバシー.....	113
25.1 プライバシーの設定.....	113
25.2 秘話対応通信.....	114
第 26 章: スキャン.....	115
26.1 スキャンのオン.....	116
26.2 スキャンのオフ.....	116
26.3 スキャントークバック.....	116
26.4 迷惑チャンネル.....	117
26.4.1 迷惑チャンネルの削除.....	117
26.4.2 迷惑チャンネルの復元.....	117
26.5 投票スキャン.....	117
26.6 優先度モニタ.....	118
26.7 受信グループ リスト.....	118
26.8 スキャン リスト.....	119
26.8.1 スキャン リストへのアクセス.....	119
26.9 フレックス RX リスト.....	120

26.9.1	フレックス RX リストのオン.....	121
26.9.2	フレックス RX リストのオフ.....	121
26.9.3	フレックス RX リストへの新規エントリの追加.....	121
26.9.4	フレックス RX リストからエントリを削除.....	121
26.10	複数グループの加入.....	122
26.10.1	加入グループの追加.....	122
26.10.2	加入グループの削除.....	122
第 27 章:	セキュリティ.....	123
27.1	無線機の機能停止.....	123
27.2	無線機の復帰.....	124
27.3	ラジオ キル.....	124
第 28 章:	屋内位置.....	125
28.1	屋内位置のオン.....	125
28.2	屋内位置情報のオフ.....	125
28.3	屋内位置ビーコン情報へのアクセス.....	126
第 29 章:	ワーク チケット.....	127
29.1	ワーク チケット フォルダへのアクセス.....	127
29.2	リモート サーバーへのログイン.....	128
29.3	ワーク チケットの作成.....	128
29.4	ワーク チケット テンプレートの使用によるワーク チケットの送信.....	128
29.5	ワーク チケットの受信と応答.....	129
29.6	ワーク チケットの削除.....	130
第 30 章:	テキスト メッセージング.....	131
30.1	テキスト メッセージの表示.....	131
30.2	テキスト メッセージの編集.....	132
30.3	テキスト メッセージの送信.....	132
30.4	テキスト メッセージへの応答.....	133
30.5	テキスト メッセージの転送.....	133
30.6	テキスト メッセージの削除.....	134
30.7	メッセージ アラーム トーンの設定.....	134
第 31 章:	ステータス メッセージ.....	135
31.1	ステータス メッセージの表示.....	135
31.2	ステータス メッセージの送信.....	135
31.3	ステータス メッセージへの返信.....	136
31.4	個別通信の開始.....	136
31.5	ステータス メッセージの削除.....	136
第 32 章:	アナログ ステータス更新.....	137
32.1	定義済み連絡先へのステータス更新の送信.....	137
32.2	5 トーン ステータスの詳細の表示.....	137

32.3 5 トーン ステータスの詳細の編集.....	138
第 33 章: アナログ メッセージ エンコード.....	139
33.1 ディスパッチャへの MDC エンコード メッセージの送信.....	139
第 34 章: オートレンジ トランスポンダ システム.....	140
第 35 章: 動的な発信者のエイリアス.....	141
35.1 発信者エイリアスの編集.....	141
35.2 発信者のエイリアス リストの表示.....	141
35.3 個別通信を発信者のエイリアス リストから開始.....	141
第 36 章: 動的グループ番号割当.....	142
36.1 DGNA 通信の発信.....	142
36.2 DGNA 以外の通信の発信.....	142
36.3 DGNA 通信の受信と応答.....	143
第 37 章: 正面パネル プログラミング.....	144
37.1 正面パネル プログラミングの入力.....	144
第 38 章: ホーム チャネル リマインダ.....	145
38.1 ホーム チャネル リマインダのミュート.....	145
38.2 新しいホーム チャネルの設定.....	145
第 39 章: モニタ機能.....	146
39.1 チャネルのモニタ.....	146
39.2 連続モニタ.....	146
39.2.1 連続モニタの設定.....	146
第 40 章: リモート モニタ.....	147
40.1 リモート モニタの開始.....	147
第 41 章: 無線機チェック.....	149
41.1 無線機チェックの送信.....	149
第 42 章: ミュート モード.....	150
42.1 ミュート モードのオン.....	150
42.2 ミュート モード タイマーの設定.....	150
42.3 ミュート モードの終了.....	151
第 43 章: 受信信号強度インジケータ.....	152
43.1 RSSI 値の表示.....	152
第 44 章: 応答禁止.....	153
44.1 応答禁止の設定.....	153
第 45 章: レンタル タイマー.....	154
45.1 レンタル タイマー情報へのアクセス.....	154
45.2 レンタル有効期限通知.....	154
45.3 レンタル期間の延長.....	155
第 46 章: 送信抑制.....	156

46.1 送信抑制の有効化または無効化.....	156
第 47 章: 割り込み通信.....	157
第 48 章: 音声割り込み.....	158
48.1 音声割り込みの有効化.....	158
48.2 通信割り込みの開始.....	158
第 49 章: エア接続プログラミング.....	159
第 50 章: 認定アクセサリ リスト.....	160

図の一覧

図 1: R7.....	25
図 2: R7、R7a.....	25
図 3: キーパッドの概要.....	32
図 4: アクション リストの概要.....	62

表の一覧

表 1: VHF 海上チャンネル一覧.....	18
表 2: 特記事項.....	23
表 3: 異なる無線機モデルでの機能へのアクセスと通知.....	25
表 4: IP 仕様.....	27
表 5: フル キーパッド モデルの概要.....	29
表 6: ノンキーパッド モデルの概要.....	30
表 7: キーパッドの概要.....	32
表 8: プログラム可能な無線機機能.....	33
表 9: ホーム画面の概要.....	45
表 10: Bluetooth デバイス アイコン.....	48
表 11: 通信アイコン.....	49
表 12: ワーク チケット アイコン.....	49
表 13: ミニ通知アイコン.....	50
表 14: LED 表示.....	50
表 15: 通知ウィジェットの概要.....	52
表 16: サイト検索のタイプ.....	57
表 17: サポートされているゾーンとチャンネルの数.....	59
表 18: アクション リストの概要.....	62
表 19: 無線機通信のタイプ.....	76
表 20: Bluetooth プロファイル.....	94
表 21: 緊急モード.....	96
表 22: プライバシー タイプと設定.....	113
表 23: スキャン方法.....	115
表 24: スキャン トークバック タイプ.....	116
表 25: テキスト メッセージの種類と文字制限.....	131
表 26: オートレンジ トランスポンダ システム通知.....	140
表 27: ホット マイク ソース.....	147

法務およびサポート

知的財産および規制に関するご注意

著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。したがって、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明確な許可なしに、いかなる方法においても複製または複写してはなりません。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、転送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

商標

MOTOROLA, MOTO, MOTOROLA SOLUTIONS, and the Stylized M Logo are trademarks or registered trademarks of Motorola Trademark Holdings, LLC and are used under license. All other trademarks are the property of their respective owners.

ライセンスの権利

Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許申請の対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生じる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

オープンソースコンテンツ

この製品には、ライセンスの下で使用されるオープンソース ソフトウェアが含まれている場合があります。オープンソースの法的通知および帰属の内容については、製品のインストール メディアを参照してください。

欧州連合 (EU) および英国 (UK) の電気電子廃棄物 (WEEE) 指令



■ 欧州連合の WEEE 指令および英国の WEEE 規制では、EU 諸国および英国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) にキャスター付きゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。WEEE 指令で規定されるとおり、このキャスター付きゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国と英国の顧客とエンドユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国と英国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービス センターに問い合わせる必要があります。

免責条項

特定のシステムに対して、本書で説明する特定の機能、設備、性能が適用されない、またはライセンス付与されない場合や、特定のモバイル加入者ユニットの特性や特定のパラメータの設定に依存する場合があることに注意してください。詳細については、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

© 2024 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved

法的および準拠に関する声明

供給元の適合宣言

供給元の適合宣言

Per FCC CFR 47 Part 2 Section 2.1077(a)



責任者

名前: Motorola Solutions, Inc.

住所: 2000 Progress Pkwy, Schaumburg, IL.60196

電話番号: 1-800-927-2744

ここに以下の製品:

モデル名: R7

が以下の規制に適合していることを宣言します。

FCC Part 15、subpart B、section 15.107(a)、15.107(d) および section 15.109(a)

Class B デジタル デバイス

パーソナル コンピュータの周辺機器として、このデバイスは FCC 規則の Part 15 に適合します。この機器の動作は次の 2 つの条件を前提としています。

1. この機器は有害な干渉を発生しません。
2. この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けます。



注:

この機器は、テストの結果、FCC 規則の Part 15 に基づく Class B デジタル デバイスの制限に準拠していることが確認されています。この制限は、この機器を住居内で使用する際に有害な電波干渉を起こさないようにするために規定されたものです。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な電波干渉を引き起こすおそれがあります。ただし、これは特定の設置状況で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。

この機器がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こし、機器の電源のオン/オフ操作によってそのことが確認できる場合、以下の 1 つ以上の方法を用いて、お客様ご自身で電波障害の解決を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または場所を変えてください。
- 本機器と受信機の距離を離してください。
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに本機器を接続してください。
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に相談してください。

国別コード選択の使用状況 (WLAN デバイス)



注: 国コードの選択は、米国以外のモデル用であり、すべての米国モデルでは使用できません。FCC 規制に従い、米国内で販売されているすべての Wi-Fi 製品は、米国の動作チャンネルのみに固定する必要があります。

ISED WLAN に関する説明



注意:

1. 5150 ~ 5250MHz の帯域で動作する機器は、同一チャネルの移動体衛星システムへの有害な電波干渉が発生する可能性を減らすために屋内でのみ使用するようしてください。
2. 取り外し可能なアンテナを持つ機器については、5250 ~ 5350MHz および 5470 ~ 5725MHz の帯域の機器で許容される最大アンテナ ゲインは、等価等方放射電力 (EIRP) 制限に適合するものとします。
3. 取り外し可能なアンテナを持つ機器については、5725 ~ 5850MHz の帯域の機器で許容される最大アンテナ ゲインは、等価等方放射電力 (EIRP) 制限に適合するものとします。また、
4. 該当する場合は、セクション 6.2.2.3 に規定されている等価等方放射電力 (EIRP) の仰角マスク要件に準拠するために必要なアンテナ タイプ、アンテナ モデル、および最悪な場合の傾斜角を明確に示すものとします。

ユーザーへの通告 (FCC)

次の条件により、この機器は FCC 規則パート 15 に準拠しています。

- この機器は有害な干渉を発生しません。
- この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けます。
- Motorola Solutions による明示的な承認なくして本機器に変更または改変を加えた場合、本機器を操作するためのユーザーの権限が無効になることがあります。

ユーザーへの通告 (ISED)

Motorola Solutions の無線機の操作は、Radiocommunications Act の対象となり、連邦政府の Innovation, Science, and Economic Development Canada (ISED) の規則や規制に準拠する必要があります。ISED では、プライベートの陸上移動周波数を使用するすべてのオペレータは、機器を運用する前に無線機ライセンスを取得する必要があります。

重要な安全に関する情報

携帯型業務用無線機に関する RF エネルギー被曝および製品の安全に関するガイド



注意:

この無線機は業務用の利用に限定されています。この製品をご使用になる前に、無線機に同梱されている『電磁波エネルギー被曝および製品の安全に関するガイド』をお読みください。このガイドには、安全な使用方法、電磁波エネルギーの認識、および該当する規格や規制への準拠の制御に関する操作手順が記載されています。

Motorola Solutions から明示的な承認を得ないで本製品を変更した場合、無線機を操作するためのユーザーの権限が無効になることがあります。

Innovation, Science, and Economic Development Canada (ISED) の規制の下に、この無線機は、ISED によって送信機に対して承認された最大利得 (もしくはそれ以下) のアンテナを使用した場合にのみ運用できます。他のユーザーへの潜在的な電波干渉を減少させるためにアンテナの種類および利得が決められているため、等価等方放射電力 (e.i.r.p.) が無線通信を確立させるために必要な上限を超えることはありません。

この無線送信機は、Motorola Solutions 承認アンテナを使用して、指定された種類のアンテナの最大許容利得と所要のアンテナインピーダンスで運用することを、Innovation, Science, and Economic Development Canada (ISED) によって承認されています。このリストに記載されていない種類のアンテナは、当該種類に指定されている最大許容利得を超えているので、このデバイスとの使用は固く禁じられています。

市民ラジオ ライセンス

市民ラジオ サービスの使用は、オーストラリアでは Australian Communications and Media Authority (ACMA) Radiocommunications (Citizens Band Radio Stations) Class Licence により、ニュージーランドでは Ministry of Economic Development New Zealand (MED) General User Radio Licence (GURL) for Citizens Band Radio によりライセンス供与され、運用にはこれらのライセンスに含まれる条件が適用されます。

オーストラリアでは、緊急時を除き、市民ラジオ送信機を UHF 緊急チャンネル 5 および 35 で運用してはならず、データ (テレメータ/テレコマンド) チャンネル 22 および 23 で音声を送信することは許可されていません。この規格に準拠する無線機は、チャンネル 22 および 23 での音声操作を抑制します。追加のテレメータ/テレコマンド チャンネルが ACMA によって承認された場合、これらのチャンネルは、音声送信が抑制されているチャンネルの現在のリストに追加されます。

送信前に必ずチャンネルを聴取 (またはチャンネル ビジー インジケータを確認) して、まだ使用されていないことを確認してください。

市民バンド中継器の運用

中継器は固定の場所に確立されたステーションであり、1つの市民ラジオステーションから無線信号を受信し、対応する出力チャンネルを使用して信号を別のステーションに自動的に再転送します。UHF 市民ラジオ中継器はすべての州にあり、車両間通信の範囲を大幅に拡大できます。中継器設備を介した長距離通信が特に必要でない限り、ローカルに使用されている中継器入力チャンネル (チャンネル 31 ~ 38、および認可されている場合はチャンネル 71 ~ 78 の範囲) またはローカルに使用されている中継器受信チャンネル (チャンネル 1 ~ 8、および認可されている場合はチャンネル 41 ~ 48 の範囲) では運用しないでください。



注: オーストラリアでは、チャンネル 11 は通信確立用の通常の呼び出しチャンネルで、チャンネル 40 は通常の路上装走車用チャンネルです。

25kHz の陸上移動用周波数帯から 12.5kHz ナローバンドへの移行

既存の 25kHz のアナログ陸上移動チャンネルの運用は、2015 年 11 月 1 日までに終了します。不明確な期間で終了するのでライセンスに関する通知について国際電気電信条約付属無線通信規則で指定されている最小期間 (5 年間) に従っています。

オフセットチャンネル計画 (E、EN、および ENX バンド) のある陸上移動周波数帯では、デジタル陸上車載型無線機の導入管理とは異なる処理が必要です (隣接チャンネルと干渉する危険性があるため)。次の項目は以下のバンドに適用されます。

- 2015 年 11 月 1 日以前にデジタルへの移行を希望する E 帯 (25kHz チャンネル) のユーザーは、EE バンド (同じく VHF 領域) またはデジタル陸上車載型無線機ライセンスに開かれているその他の周波数帯に移行できます。
- 5 年間の移行期間の後も稼働しているアナログサービスの継続を希望する E バンドのユーザーは、EN バンド (同じく VHF 領域) またはナローバンドのアナログ陸上車載型無線機に開かれているその他のバンドの 12.5kHz アナログチャンネルに移行できます。
- 2015 年 11 月 1 日以前の EN および ENX バンドにおけるデジタル陸上車載型無線機の導入は、個別に検討されます。これらのバンドでのデジタル陸上車載型無線機のライセンスは、E バンドのユーザーが明け渡した領域で、または厳格な技術解析により他のバンドのユーザーに干渉の危険が及ばないことが保証されたときに可能になります。

現在許可されているチャンネルのリストについては、次の Web サイトを参照してください。

- <https://www.acma.gov.au/licences/citizen-band-radio-stations-class-licence> (オーストラリア)
- <https://www.rsm.govt.nz/licensing/frequencies-for-anyone/citizen-band-radio-gurl/> (ニュージーランド)

VHF 周波数範囲で船舶無線を使用

本セクションは、米国およびカナダにのみ適用されます。

特殊チャネル割り当て

緊急チャネル

航海中に非常に深刻で差し迫った危機に直面して緊急援助が必要になった場合は、VHF チャネル 16 を使って、近くを航行中の船舶と沿岸警備隊に救難信号を発信してください。以下の情報を順番どおりに送信してください。

1. 「メーデー、メーデー、メーデー」
2. 「こちらは _____、コールサイン _____」。窮地にある船舶の名前を 3 回伝えてから、その船舶のコールサインまたは識別符号を 3 回伝えます。
3. 「メーデー」と船舶名を繰り返します。
4. 「こちらの位置は _____」。搜索作業に役立つ情報 (例は下記) を使って、窮地にある船舶の位置を伝えます。
 - 緯度と経度
 - 方位角 (真北、磁北のどちらを使用しているのかを示すこと)
 - 有名な陸標からの距離
 - 航路、速度、目的地
5. どういう状況にあるのかを伝えます。
6. どのような支援が必要なのかを伝えます。
7. 乗員数を伝え、治療の必要な者が発生している場合はその人数も伝えます。
8. 船舶の種類、船舶の長さ、トン数、船体の色など、応答者の役に立ちそうな情報があればすべて伝えます。
9. 「オーバー」
10. 応答を待ちます。
11. すぐに応答がない場合は、無線機の近くから離れずに、間隔を置いて何度も最初から繰り返しながら応答を待ちます。与えられた指示に従えるよう準備しておいてください。

非営利通話チャネル

漁業報告、指定集合地の手配、修理の日程調整、停泊情報など、非営利情報の送信には、VHF チャネル 9 を使用します。

操作周波数の要件

船舶用の無線機は、次のように連邦通信委員会 (FCC) ルール パート 80 に準拠している必要があります。

- 通信法タイトル III のパート II の対象になる船舶上では、無線は 156.800MHz の周波数で動作する必要があります。
- 安全協定の対象になる船舶上では、無線機は次の動作が可能である必要があります。
 - 156.025 ~ 157.425MHz の周波数帯域の指定された周波数で送信する船舶局上で単信モードで動作する。
 - 下の表で指定された 2 つの周波数チャネルで半二重モードで動作する。



注: 海上での動作要件に関する他の詳細情報は、FCC ルール パート 80 の全文および米国沿岸警備隊から入手できます。

表 1: VHF 海上チャンネル一覧

チャンネル番号	周波数 (MHz)	
	送信	受信
1	156.050	160.650
2	156.100	160.700
*1	156.150	160.750
4	156.200	160.800
5	156.250	160.850
6	156.300	-
7	156.350	160.950
8	156.400	-
9	156.450	156.450
10	156.500	156.500
11	156.550	156.550
12	156.600	156.600
13**2	156.650	156.650
14	156.700	156.700
15**2	156.750	156.750
16	156.800	156.800
17**2	156.850	156.850
18	156.900	161.500
19	156.950	161.550
20	157.000	161.600
*1	157.050	161.650
22	157.100	161.700
*1	157.150	161.750
24	157.200	161.800
25	157.250	161.850
26	157.300	161.900
27	157.350	161.950
28	157.400	162.000
60	156.025	160.625
*1	156.075	160.675
62	156.125	160.725
63	156.175	160.775

¹ 単信チャンネル 3、21、23、61、64、81、82、および 83 を米国の領海内で一般市民が合法的に使用することはできません。

² 低出力 (1W) のみ。

*1	156.225	160.825
65	156.275	160.875
66	156.325	160.925
67**2	156.375	156.375
68	156.425	156.425
69	156.475	156.475
71	156.575	156.575
72	156.625	-
73	156.675	156.675
74	156.725	156.725
75	*** 3	***3
76	***3	***3
77**2	156.875	-
78	156.925	161.525
79	156.975	161.575
80	157.025	161.625
*1	157.075	161.675
*1	157.125	161.725
*1	157.175	161.775
84	157.225	161.825
85	157.275	161.875
86	157.325	161.925
87	157.375	161.975
88	157.425	162.025

 注：A - 「受信」列はチャンネルが送信のみであることを示します。

救難信号周波数および安全信号周波数に関する適合宣言

本無線機は、RSS-182 セクション 5.4 に規定される救難信号周波数および安全信号周波数で運用する際には、海事用として国際的に採択された変調方式以外の変調方式は使用しません。

規制コンプライアンス情報

EAC

中国

CMII ID は、無線機器識別ラベルに表示されます。

³ 保護帯域。

インド

この製品は、インド政府通信省電気通信局 (インド、ニューデリー、110001) の TEC の必須要求事項に準拠しています。

保証とサービス サポート

バッテリーおよび充電器の保証

製造上の保証

製造上の保証では、正常な使用およびサービスにおいて発生する製造上の欠陥を保証します。

すべての MOTOTRBO バッテリー	お住まいの地域の保証に関する説明を参照してください。
IMPRES 充電器 (ディスプレイ付きシングルユニットおよびマルチユニット)	12 か月

キャパシティ保証

キャパシティ保証では、保証期間中に定格キャパシティの 80% を保証します。お住まいの地域の保証に関する説明を参照してください。

限定保証

MOTOROLA SOLUTIONS 通信機製品

I. この保証の対象と期間:

Motorola Solutions, Inc. (「Motorola Solutions」) は、以下に挙げる Motorola Solutions 製造の通信機製品 (「製品」) を、以下に規定されたとおり、購入日から一定期間、通常の使用およびサービスで発生する製造上の不具合に対して保証します。

携帯型無線機	お住まいの地域の保証に関する説明を参照してください。
製品アクセサリ	1 年間

この保証に従って保証期間内の返品が発生した場合、Motorola Solutions はその自由裁量により、無償で製品の修理 (新品または再生部品を使用)、製品の交換 (新品または再生製品)、または製品の購入価格での返金を行います。交換した部品またはボードは、元の該当保証期間から差し引いて保証されます。製品の交換済み部品はすべて Motorola Solutions の所有となります。

この明示的な限定保証は、購入したエンド ユーザー本人に対して Motorola Solutions が適用するものであり、第三者への譲渡または移転はできません。Motorola Solutions が製造した製品に対する保証は、これがすべてです。Motorola Solutions は、その権限を持つ Motorola Solutions の責任者が書面に記載して署名した場合を除き、この保証に対する追記や変更について、一切の義務または責任を負いません。

Motorola Solutions と購入したエンド ユーザー本人との間で別途契約が発生した場合を除き、Motorola Solutions は製品の設置、メンテナンス、またはサービスを保証しません。

Motorola Solutions は、Motorola Solutions が提供したものの以外の、製品に付属し使用される周辺機器または製品の周辺機器の操作については、いかなる責任も負いません。このような機器はすべてのこの保証の適用範囲外となります。本製品が使用されるシステムにはそれぞれ独自性があるため、Motorola Solutions は、本保証の下で稼働しているシステム全体としての領域、範囲、または運用に対する責任を負わないものとし

II. 全般的な規定

この保証は、製品に関する Motorola Solutions のすべての責任を規定します。Motorola Solutions の選択で行われる修理、交換、購入代金の払い戻しは、排他的な救済策です。この保証は、その他すべての明示的な保証の代替となるものです。商品性および特定の目的への適合性の保証、およびそれらに限定されない暗黙的な保証は、この限定保証の期間内に限定されます。いかなる場合も、MOTOROLA SOLUTIONS は、製品を使用できないことによる損失、時間的損失、不都合、経済的損失、利益または資本の損失、または製品の使用または製品を使用できないことに起因する、その他の付随的損害、特別損害、もしくは結果的損害について、法律で許される最大限の範囲において、製品の購入価格を超える損害について責任を負いません。

III. 州法の権利:

州によっては、偶発的または付随的損失の除外または制限、または暗黙的保証の期間の制限を認めていない場合があるため、上記の制限または除外は適用されない場合があります。

この保証は特定の法的権利と、州によって異なるその他の権利を付与するものです。

IV. 保証サービスを受ける方法

保証サービスを受けるには、購入の証明 (購入の日付と購入品目のシリアル番号のあるもの) を提示し、送料または保険料の前払いを行ったうえで、認可された保証サービス窓口で製品を送付する必要があります。保証サービスは、認可された保証サービス窓口の 1 つを通じて Motorola Solutions によって提供されます。購入者が製品を購入した会社 (ディーラー、または通信サービス プロバイダなど) に最初に連絡すると、保証サービスを滞りなく受けられます。また、Motorola Solutions (1-800-927-2744) に電話にてご依頼いただくこともできます。

V. 本保証の対象とならないもの

1. 正常かつ通常以外の方法で本製品を使用した結果生じた欠陥または損害。
2. 誤用、事故、水、または不注意の結果生じた欠陥または損害。
3. 不適切なテスト、操作、メンテナンス、設置、変更、改変、または調節の結果生じた欠陥または損害。
4. 材質または製造上の欠陥に直接起因しないアンテナの破損または損傷。
5. 本製品の性能に悪影響を及ぼす、または保証請求内容を検証するために Motorola Solutions が実施する本製品の標準保証検査およびテストの妨げとなるような、無許可の改変、分解、または修理 (Motorola Solutions 以外が提供した機器を本製品に追加することを含むがこれに限定されない) が行われた製品。
6. シリアル番号が消されているか判読できない製品。
7. 充電式バッテリーで、セルのバッテリー カバー上のシールが破損しているか、不正な変更の証拠が見られる場合。
8. 充電式バッテリーで、指定された製品以外の機器またはサービスでバッテリーを充電または使用したことにより、破損または欠陥が生じた場合。
9. 修理窓口までの運送費。
10. 製品のソフトウェア/ファームウェアの不法または承認されていない改造により、Motorola Solutions が最初に製品を出荷した時点では準拠していた Motorola Solutions の公開仕様または FCC 認定ラベルのとおり機能しなくなった場合。

11. 本製品の動作に影響を与えない、製品表面に付いた傷または他の表面的な損傷。
12. 正常かつ通常の傷や磨耗。

VI. 特許およびソフトウェアに関する条件

Motorola Solutions は、本製品または部品が米国特許権を侵害しているという請求に基づく範囲において、エンドユーザーである購入者に対するいかなる訴訟でも、自ら費用を負担して抗弁します。また、Motorola Solutions は、そのような請求に基づく訴訟でエンドユーザーである購入者に最終的に裁定された費用および損害賠償金を支払いますが、このような抗弁および支払いには、次のような条件が課されます。

1. 該当する購入者が、該当する請求通知を書面で速やかに Motorola Solutions に通知すること。
2. Motorola Solutions が、そのような訴訟の弁護、および解決または和解のためのすべての交渉を独占的に管理すること。
3. 本製品または部品が、米国特許権侵害の請求の対象となる場合、または Motorola Solutions がその可能性があると判断した場合、該当する購入者は、Motorola Solutions が、自由裁量により自ら費用を負担して、本製品または部品を使用し続ける権利を購入者のために獲得すること、本製品または部品を交換または修正して特許権侵害を解消すること、または本製品または部品の減価償却を購入者に対して認め、その返却を受け入れることを Motorola Solutions に許可すること。減価は、Motorola Solutions が規定する製品または部品の寿命年数に応じた金額となります。

Motorola Solutions は、Motorola Solutions が提供するものでないソフトウェア、装置、または機器とともに提供される製品または部品の組み合わせに基づく特許侵害の申立について、責任を負いません。また、Motorola Solutions は、製品に関連して添付または使用される、Motorola Solutions が提供するものでない周辺機器またはソフトウェアの使用について、一切の責任を負いません。上記の記載は、関連する製品または部品による特許の侵害に関する Motorola Solutions の全体的な責任について規定するものです。

米国およびその他の国の法律では、Motorola Solutions に対し、著作権で保護された Motorola Solutions 製ソフトウェアに関する一定の独占権を認めています。これには、該当する Motorola Solutions 製ソフトウェアを複製および配布する独占権などがあります。Motorola Solutions ソフトウェアは、ソフトウェアが本来同梱されている製品のみで使用できるものです。当該製品のソフトウェアは、あらゆる手段による交換、複製、配布、改変、またはその派生物を作成するための使用を禁じられています。Motorola Solutions ソフトウェアの改変、変更、複製、配布またはリバースエンジニアリングを含み、それらに限定されないその他の使用、または Motorola Solutions ソフトウェアの権利の行使は、禁止されています。Motorola Solutions の特許権または著作権のもとで、黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、ライセンスが付与されることはありません。

VII. 準拠法

本保証は米国イリノイ州の法律に準拠します。

VIII. オーストラリアのみ

本保証は、Motorola Solutions Australia Pty Limited (ABN 16 004 742 312、住所: Tally Ho Business Park, 10 Wesley Court, Burwood East, Victoria) が規定するものです。

当社の製品はオーストラリア消費者法に基づいて除外できない保証が付帯しています。製品の重大な故障が発生した場合、購入者は交換または返金、およびその他の合理的に予見できる損失または損害に対する補償を受ける権利があります。また、商品が受け入れることができない品質で、かつその故障が重大な故障に至ることがない場合、購入者は製品を修理または交換することができます。

前述の Motorola Solutions Australia による限定的保証は、オーストラリア消費者法によって定められた権利および賠償に加えて提供されます。ご質問については、Motorola Solutions Australia までお電話(1800 457 439)でお問い合わせください。また、最新の保証条件は、次の Web サイトでご確認いただけます。また、最新の保証条件は http://www.motorolasolutions.com/XA-EN/Pages/Contact_Us でご確認いただけます。

第 1 章

最初にお読みください

このユーザーガイドでは、お住まいの地域で提供される無線機モデルの基本的な操作について説明します。

このマニュアルで使用されている表記

本書のテキスト全体を通じて、**警告**、**注意**、および**注**が使用されています。これらの表記は、安全上の危険が存在すること、および注意を払うまたは注意する必要があることを強調するために使用されています。



警告: 注意して守らないと負傷や死亡につながる可能性のある操作手順、慣行、状態など。



注意: 注意して守らないと装置が損傷する可能性のある操作手順、慣行、状態など。



注: 特に重要な操作手順、慣行、状態など。

特記事項

このガイドでは、次の特記事項を使用して特定の情報や項目を強調します。

表 2: 特記事項

例	説明
メニュー キーまたは PTT ボタン	太字は、キー、ボタン、またはソフトメニュー項目の名前を示します。
無線機に「Bluetooth オン」と表示されます。	かぎ括弧で囲まれた語句は、無線機に表示される操作項目やメッセージを示します。
<必要な ID>	クーリエ、太字、斜体、および山形括弧は、ユーザーの入力を示します。
[設定]→[トーン]→[全トーン]	太字の語とその間の矢印は、メニュー項目のナビゲーション構造を示します。

機能およびサービスの可用性



注:

お使いの無線機では、マニュアルのすべての機能が使用できるわけではありません。一部の機能は地域によって異なります。販売店や管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

以下については、販売店またはシステム管理者にお問い合わせください。

- 各ボタンの機能は何か?
- 自分のニーズに対応するアクセサリはどれか?
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか?
- 無線機を長く使用するための保守手段は何か?

1.1

ソフトウェア バージョン

以下のセクションで説明されているすべての機能は、以下のソフトウェア バージョンでサポートされます。

R02.24.01.1000 以降。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

1.2

技術仕様

無線機の仕様の詳細については、motorolasolutions.com/r7-radio で無線機モデルのデータ シートを参照してください。

第 2 章

はじめに

このユーザー ガイドは、地域で提供される最上位クラスのモデルに従って説明されています。

無線機は、顧客プログラミング ソフトウェア (CPS) や Radio Management (RM) などの無線機プログラミング ソフトウェアを使用してプログラムできます。

次の表に、異なる無線機モデルの機能にアクセスする方法を示します。無線機モデルによって異なる通知を受け取ります。

表 3: 異なる無線機モデルでの機能へのアクセスと通知

	フル キーパッド	ノンキーパッド
無線機モデル	図 1: R7	図 2: R7、R7a
		
機能へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ● メニュー 4 ● 操作リスト ● プログラム可能ボタン 	プログラム可能ボタン
機能の通知	<ul style="list-style-type: none"> ● トーン 	<ul style="list-style-type: none"> ● トーン

⁴ これは、マニュアルで使用される主なアクセス方法です。

フル キーパッド

- LED インジケータ
- ディスプレイ
- 音声ガイドまたは音声変換

ノンキーパッド

- LED インジケータ
 - 音声ガイドまたは音声変換
-



注:

プログラム可能ボタンで使用できる機能については、[プログラム可能ボタン ページ 33](#) トピックを参照してください。

メニューで使用できる機能については、[アイコンベース メニューの概要 ページ 54](#) の章を参照してください。

第 3 章

無線機のお手入れ

このセクションでは、無線機の基本的な使用上のご注意について説明します。

表 4: IP 仕様

IP 仕様	説明
IP66	無線機は、あらゆる方向からの高圧噴流水に耐えます。
IP68	無線機は、水深 2 メートルで 2 時間耐え、水滴、雪、汚れ、油分、その他の表面の汚れなどの悪条件の野外でも使用できます。

 **注意:** 無線機を分解しないでください。分解すると無線機の密封部分が損傷し、無線機に漏洩箇所が生じることがあります。無線機のメンテナンスは、無線機の密封部分のテスト、交換が可能なサービスステーションで実施してください。

- 無線機が水没した場合は、無線機を振ってスピーカグリルやマイクポート内に入り込んでいる可能性のある水を除去してください。水が入り込むと、音声が劣化することがあります。
- バッテリーの接触面が水に濡れた場合は、バッテリーを無線機に挿入する前に、無線機およびバッテリーの接触面をクリーニングして乾かしてください。水が残ると、無線機がショートすることがあります。
- 無線機が腐食性物質 (たとえば、塩水) に浸かった場合は、無線機およびバッテリーをきれいな水ですすいでから無線機およびバッテリーを乾かしてください。
- 無線機の外面をクリーニングするには、低刺激性の食器用洗剤の希釈液と真水 (たとえば、3 リットルの水に大さじ 1 杯の洗剤) を使用してください。
- バッテリー接触面の下の無線機シャーシにあるベント (排気弁の穴) を突かないでください。このベントには、無線機内部の圧力を均等化する働きがあります。ベントを突くと無線機への浸水口となり、防水性が損なわれることがあります。
- ベントを塞いだり、覆ったりしないでください。ラベルも貼らないでください。
- 油性物質がベントに接触しないようにしてください。
- 無線機は最深 2 メートル、最長 120 分の防水性能を備えています。最大限度を超えると、無線機が損傷するおそれがあります。

3.1

無線機のクリーニングと消毒

クリーニング手順

以下の手順では、無線機の外面と内面をクリーニングするために推奨される洗浄剤とクリーニング方法について説明します。外面には、前面カバー、ハウジングアセンブリ、バッテリーが含まれます。定期的な外観検査で染み、油分や汚れがあることに気が付いたときは、必ず外面をクリーニングしてください。

 **注意:** 製造元が指定する化学薬品のみを使用してください。ラベルまたは材料安全データシートに記載されているすべての安全上の注意に従ってください。特定の化学物質とその蒸気は、特定のプラスチックに有害な影響を及ぼす場合があります。エアゾールスプレー、チューナークリーナーなどの化学製品は使用しないでください。

 **注:** 内面は、保守または修理のために無線機を分解した場合にのみクリーニングしてください。

消毒および除染手順

Motorola Solutions は、無線機の衛生状態についての最新かつ最善の理解に基づいて、無線機に推奨されるクリーニングおよび消毒方法のガイドラインを提供しています。世界的に活動する保健当局によれば、表面から細菌、汚れ、不純物を除去することで、感染拡大のリスクを低下させることができます。

無線機の消毒には、次の消毒剤および除染剤を使用できます。

- イソプロピル アルコール 70%
- 70% エタノール
- PDI スーパー サニクロス殺菌使い捨てワイブ
- PDI スーパー サニクロス ワイブ
- ライソール消毒ワイブ、すべての香り
- Clorox Commercial Solutions® Clorox® 消毒ワイブ、フレッシュな香り
- Meterx Vionex Healthcare 防腐タオル
- Dettol クレンジング サーフェス ワイブ
- Medipal 消毒ワイブ
- De-Wipe 除染ワイブ

推奨されるクリーニングおよび消毒のガイドラインの詳細については、以下のリンクを参照してください。

- <https://youtu.be/cYjxoUNCXZo>
- <https://www.motorolasolutions.com/newsroom/press-releases/recommended-cleaning-and-disinfecting-guidelines-for-our-radios-body-worn-c.html>

3.2

新規無線機の保管

手順:

1. バッテリーとアクセサリを無線機から取り外します。
2. 取り外したバッテリーとアクセサリを元のパッケージに入れて、無線機を保管します。
3. パッケージは管理された環境で保管します。

管理された環境の条件とは、次のとおりです。

- 乾燥
- 高い通気性
- 温度範囲は 20°C ~ 30°C
- 湿度は 30 パーセント ~ 60 パーセント



注: 無線機を長期間保管すると、若干の変色が発生することがあります。ただし、変色は通常、無線機のパフォーマンスには影響を与えません。

第 4 章

無線機の概要



表 5: フル キーパッド モデルの概要

ラベル	名前	説明
1	アンテナ	電磁波を送受信します。
2	LED インジケータ	稼働状態を示します。
3	前部マイク	PTT または音声操作がアクティブのときに音声を送信できます。
4	3 ドット プログラム可能機能ボタン	割り当て可能な無線機機能のプログラム可能ボタン。
5	プッシュアウトーク (PTT) ボタン	音声操作 (グループ通信や個別通信など) を実行できます。
6	1 ドット プログラム可能機能ボタン	割り当て可能な無線機機能のプログラム可能ボタン。
7	2 ドット プログラム可能機能ボタン	割り当て可能な無線機機能のプログラム可能ボタン。
8	緊急ボタン	緊急操作をオンおよびオフにできます。
9	ディスプレイ	無線機のディスプレイ画面。

ラベル	名前	説明
10	キーパッド	テキストベースの各種の操作の文字を選択および入力できるキーです。
11	スピーカ	無線機によって生成されるすべてのトーンおよび音声を出力します (キーパッドのトーンや音声オーディオなどの機能)。
12	オン/オフ/音量ノブ	無線機をオンまたはオフにしたり、音量を調整したりできます。
13	チャンネルセレクト ノブ	チャンネルを選択できます。
14	後部マイク	ノイズキャンセルマイク。
15	ベルトクリップスロット	ベルトクリップを取り付けることができます。
16	充電端子	バッテリーの充電ポイント。
17	充電レール	充電時に適切にセットするためのガイドラインを提供します。
18	デバイスラベルの貼り付け位置	推奨サイズ 34.5 mm (長さ)、12.8 mm (幅)、および 1.3 mm (コーナー部) の粘着ラベル用のスペース。
19	アクセサリコネクタ	アクセサリを無線機に接続できます。
20	ストラップホール	ストラップを無線機に取り付けできます。



表 6: ノンキーパッド モデルの概要

ラベル	名前	説明
1	アンテナ	電磁波を送受信します。

ラベル	名前	説明
2	LED インジケータ	稼働状態を示します。
3	前部マイク	PTT または音声操作がアクティブのときに音声を送信できます。
4	3 ドット プログラム可能機能ボタン	割り当て可能な無線機機能のプログラム可能ボタン。
5	プッシュトゥトーク (PTT) ボタン	音声操作 (グループ通信や個別通信など) を実行できます。
6	1 ドット プログラム可能機能ボタン	割り当て可能な無線機機能のプログラム可能ボタン。
7	2 ドット プログラム可能機能ボタン	割り当て可能な無線機機能のプログラム可能ボタン。
8	スピーカ	無線機によって生成されるすべてのトーンおよび音声を出力します (キーパッドのトーンや音声オーディオなどの機能)。
9	緊急ボタン	緊急操作をオンまたはオフにします。
10	チャンネルセレクト ノブ	チャンネルを選択できます。
11	オン/オフ/音量ノブ	無線機をオンまたはオフにしたり、音量を調整したりできます。
12	後部マイク ⁵	ノイズ キャンセル マイク。
13	ベルトクリップスロット	ベルトクリップを取り付けることができます。
14	充電端子	バッテリーの充電ポイント。
15	充電レール	充電時に適切にセットするためのガイドラインを提供します。
16	デバイス ラベルの貼り付け位置	推奨サイズ 34.5 mm (長さ)、12.8 mm (幅)、および 1.3 mm (コーナー部) の粘着ラベル用のスペース。
17	アクセサリ コネクタ	アクセサリを無線機に接続できます。
18	ストラップ ホール	ストラップを無線機に取り付けできます。

⁵ R7a モデルにはありません。

4.1 キーパッドの概要

図 3: キーパッドの概要

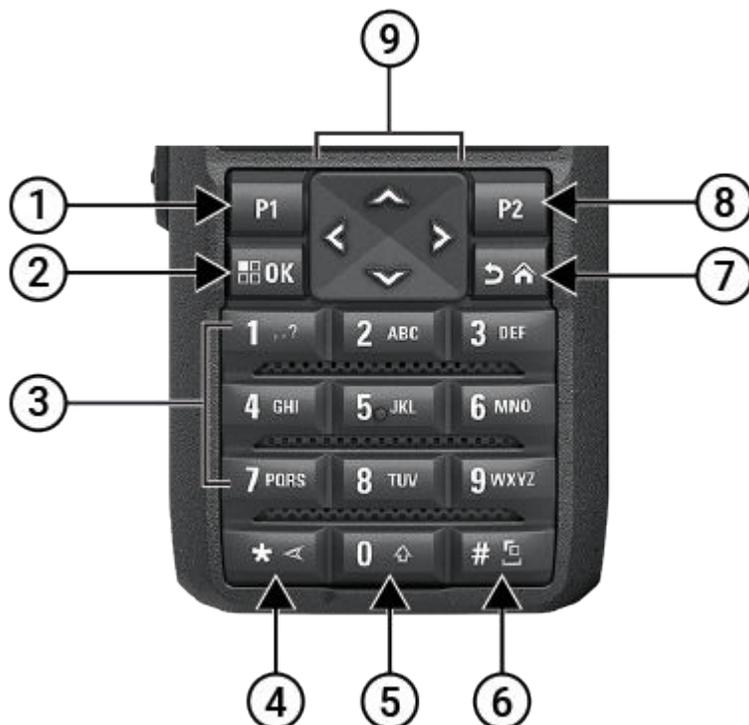


表 7: キーパッドの概要

ラベル	ボタン名	説明
1	プログラム可能ボタン 1 (P1)	このボタンは、無線機プログラミングソフトウェアを使用して現場でプログラムできます。
2	メニュー/OK ボタン	押すと、メニュー機能にアクセスできます。 メニューでは、このキーを使用して選択します。
3	数値キー	目的の文字、数字、句読点、または記号が表示されるまで、これらのキーを繰り返し押します。
4	* または削除キー	数字の入力中にこのキーを押すと、* が入力されます。 テキストの入力中にこのキーを押すと、文字が削除されます。
5	0 キー	押すと、0 が入力されます。 長押しすると、Caps Lock が有効または無効になります。
6	# またはスペース キー	数字の入力中にこのキーを押すと、# が入力されます。 テキストの入力中にこのキーを押すと、スペースが挿入されます。 長押しすると、テキスト入力方法を変更できます。
7	バック/ホーム ボタン	押すと、前の画面に戻ります。

ラベル	ボタン名	説明
		長押しするとホーム画面に戻ります。
8	プログラム可能ボタン 2 (P2)	このボタンは、無線機プログラミングソフトウェアを使用して現場でプログラムできます。
9	4 方向ナビゲーションボタン	押すと、オプション間を上、下、左、右に移動できます。

4.2

プログラム可能ボタン

プログラミングソフトウェアを使用して、プログラム可能ボタンを次の無線機機能へのショートカットとしてプログラムできます。



注: 詳細については、販売店にお問い合わせください。

表 8: プログラム可能な無線機機能

機能	説明
ハウリング (AF) 抑制機能	ハウリング抑制機能をオンまたはオフに切り替えることができます。
アクション リスト	アクション リストを起動し、アクション リストから機能を開始できます。
すべてのアラート トーン	すべてのトーンとアラートをオンまたはオフに切り替えることができます。
アナログ スクランブル	アナログ スクランブル機能をオンまたはオフに切り替えることができます。
アナログ スクランブル コード	アナログ スクランブル コード機能をオンまたはオフに切り替えることができます。
音声プロファイル	優先される音声プロファイルを選択できます。
音声録音	有効な通信受信をすべて記録できます。
オーディオ ルーティング	内部スピーカと外部スピーカの間でオーディオ ルーティングを切り替えることができます。
音声切替	内部無線機スピーカと有線アクセサリスピーカの間でオーディオ ルーティングを切り替えることができます。
バックライト	ディスプレイのバックライトをオンまたはオフに切り替えることができます。
バックライト輝度	輝度レベルを調整できます。
バッテリー インジケータ	バッテリー レベルの現在のステータスを確認できます。
ビーコン	ビーコンをオンまたはオフに切り替えることができます。
ビーコン リセット	ビーコンを無効にせずにビーコン トーンをリセットできます。
Bluetooth® オーディオ切り替え	内部無線機スピーカと外部 Bluetooth 対応アクセサリの間でオーディオ ルーティングを切り替えることができます。
Bluetooth 接続	Bluetooth の検出と接続操作を開始できます。
Bluetooth 切断	無線機と Bluetooth 対応デバイス間のすべての既存の Bluetooth 接続を終了できます。

機能	説明
Bluetooth 検出可能	無線機を Bluetooth 検出可能モードに切り替えることができます。
輝度	輝度レベルを調整できます。
ビジー キューのキャンセル	ビジー キューで非緊急通信が開始された場合に、ビジー モードを終了できます。ビジー キューで緊急通信が受け入れられた場合は、キャンセルできません。
ページング。	連絡先リストに直接アクセスし、ページングを送信するために必要な連絡先を選択できます。
通信転送	通信転送をオンまたはオフに切り替えることができます。
通信履歴	通信履歴のリストを選択できます。
キャンセル	進行中の通信をキャンセルできます。通信タイプがグループ通信の場合、通信発信者のみがこのボタンを使用して進行中の通信をキャンセルできます。通信タイプが個別通信の場合、通信発信者と受信者の両方がこのボタンを使用して、進行中の通信をキャンセルできます (ディスプレイ モデルのみに適用)。
チャンネル アナウンス	現在のチャンネルのゾーンとチャンネル アナウンス音声メッセージを再生できます。
確定	機能を確定できます。
連絡先	連絡先リストに直接アクセスできます。
LTE 回線	携帯電話をオンまたはオフに切り替えることができます。
表示モード	デイ モードまたはナイト モードに切り替えることができます。
緊急通信オフ	発信中の緊急通信を終了できます。
緊急通信オン	緊急通信を設定できます。
フォール アラート アラーム	フォール アラート アラームをオンまたはオフに切り替えることができます。
フォールアラートアラームリセット	フォール アラート トーンをキャンセルし、フォール アラート アラームを無効にせずに機能タイマーをリセットできます。
全地球測位システム (GNSS) オンまたはオフ	衛星ナビゲーション システムをオンまたはオフに切り替えることができます。
屋内位置	屋内位置機能をオンまたはオフに切り替えることができます。
インテリジェント オーディオ	インテリジェント オーディオをオンまたはオフに切り替えることができます。
ジョブ チケット	ジョブ チケット フォルダにアクセスできます。
キーパッド ロック	キーパッドをロックまたはロック解除できます。
手動ダイヤル	サブスクライバ ID を入力して個別通信を開始できます。
手動サイト ローミング	手動サイト検索を開始できます。
[Mic AGC] (マイク AGC)	内部マイクの自動ゲイン制御 (AGC) をオンまたはオフに切り替えることができます。
モニタ	チャンネルをモニタできます。
ミュート モード	ミュート モードをオンまたはオフに切り替えることができます。
通知	通知リストに直接アクセスできます。

機能	説明
迷惑チャンネル削除	選択したチャンネルを除き、スキャン リストから不要なチャンネルを一時的に削除できます。削除された迷惑チャンネルは、たとえば無線機の電源をオフにしてから再度オンにすると、スキャン リストに復元されます (Capacity Plus では利用不可)。
ワンタッチ アクセス	事前に定義された通信機能に直接アクセスできます。
オプション ボード機能	オプション ボード機能を切り替えて、オプション ボード有効チャンネルを有効または無効にすることができます。
連続モニタ	機能が無効になるまで、すべての無線機トラフィックの選択されたチャンネルをモニタすることができます (Capacity Plus では利用不可)。
電話	電話連絡先リストに直接アクセスできます。
電話終了	電話通話を終了することができます (ノンディスプレイ モデルまたは数字ディスプレイ モデル、デジタル モードにのみ適用可能)。
すべて再生/音声再生を停止	録音したすべての音声を再生したり、録音した音声の再生を停止したりできます。
最新を再生/次の音声	最新または次の録音された音声を再生できます。
パワー レベル	送信出力を高または低に切り替えることができます。
プライバシー	プライバシーをオンまたはオフに切り替えることができます。
無線機チェック	システムで無線機がアクティブかどうかを確認できます。
無線機の有効化または無効化	ターゲット無線機を遠隔で有効または無効にできます。
無線機名	無線機のディスプレイに無線機のエイリアスを表示します。
リモート モニタ	通知を表示せずにターゲット無線機のマイクをオンにできます。
リピータまたはダイレクト	リピータを使用するか、別の無線機と直接通信するかを切り替えることができます。
ホーム チャンネルのリセット	新しいホーム チャンネルを選択できます。
無線機の復帰または有効化	システム内の無線機を復帰または有効化できます。
アラート音タイプ	[アラート音タイプ] 設定に直接アクセスできます。
ローミング要求	異なるサイトの検索を要求できます。
スキャン	スキャンをオンまたはオフに切り替えることができます。
ホーム チャンネル リマインダのミュート	ホーム チャンネル リマインダをミュートできます。
サイト情報	現在の Capacity Max または他のシステムのサイト名と ID を表示できます。
サイト ロック	サイト ロックを有効にして現在のサイトのみを検索するか、サイト ロックを無効にして他のサイトも検索できるようにします。
状態	ステータス リスト メニューを選択できます。
無線機の機能停止または無効化	システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。
テレメータ コントロール	ローカルまたはリモート無線機で、出力ピンをコントロールできます。
テキスト メッセージ	テキスト メッセージ メニューを選択できます。

機能	説明
日時ガイダンス	<p>無線機プログラミングソフトウェアで [音声ガイダンス] フィールドが [音声変換] に設定されている場合、プログラム可能ボタンを使用すると、現在の日時を示す音声プロンプトを聞くことができます。</p> <p>[音声ガイダンス] フィールドが [音声ガイダンス ファイル] に設定されている場合、時刻と日付のガイダンスを提供できず、ネガティブトーンが鳴ります。</p> <p> 注: この機能は R7 モデルでのみ使用できます。</p>
通信の優先度の切り替え	無線機の通信優先度 (高または通常) の切り替えを可能にします。
送信抑制	無線機からのすべての送信をブロックできます。
TX 割り込みリモート停止	チャンネルを解放するために、送信無線のキーを解除して進行中の音声通信を停止したり、リピータ通信のハング タイムを終了したりできます。このボタンを使用して、リモート モニタ セッションを終了することもできます。
トリル拡張	トリル拡張をオンまたはオフに切り替えることができます。
割り当て解除済み	ボタン機能が割り当てられていないことを示します。
音声ガイダンス	音声ガイドをオンまたはオフに切り替えることができます。
音声起動送信 (VOX)	VOX をオンまたはオフに切り替えることができます。
Wi-Fi	Wi-Fi をオンまたはオフに切り替えることができます。
ゾーン選択	ゾーンのリストからの選択を可能にします。
ゾーン切り替え	2 つのゾーンを切り替えることができます。

第 5 章

システムの概要

システムの概要では、無線機で使用できるシステムとモードのタイプについて説明します。

5.1

Capacity Max

Capacity Max は MOTOTRBO 制御チャンネル ベースのトランキング無線システムです。

MOTOTRBO デジタル無線製品は、主にビジネス ユーザーおよび産業ユーザー向けに Motorola Solutions が販売しています。MOTOTRBO では、欧州電気通信標準化機構 (ETSI) のデジタル移動無線 (DMR) 標準を使用しています。これは、2 スロットの时分割多元接続 (TDMA) で、同時音声またはデータを 12.5kHz チャンネル (6.25kHz 相当) でパックします。

5.2

従来型アナログ モードおよびデジタル モード

無線機の各チャンネルを、従来型アナログ チャンネルか従来型デジタル チャンネルとして設定できます。

デジタル モードからアナログ モード、アナログ モードからデジタル モードに切り替えると、一部の機能が使用できなくなります。また、一部の機能は、両方のモードで使用できます。

各機能の動作には若干の違いがありますが、これらの違いは無線機のパフォーマンスには影響しません。

5.3

IP Site Connect

この機能を使用すると、従来の単一のサイトでは無線機の通信範囲外となる場所でも、インターネット プロトコル (IP) ネットワークを使用して利用可能な別のサイトに接続して通信できます。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通信またはデータを送受信します。設定に応じて自動または手動で接続を切り替えます。

自動サイト検索では、現在のサイトからの信号が弱い場合や、無線機が現在のサイトからの信号をまったく検出できない場合に、利用可能なサイトをすべてスキャンします。次に、無線機は受信信号強度インジケータ (RSSI) 値が最も強いリピータにロックします。

手動サイト検索では、無線機はローミング リスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト (ただし、信号強度が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。



注: 各チャンネルでは、スキャンまたはローミングのどちらかを有効にできますが、両方を同時に有効にはできません。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定のローミング リストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にローミング リスト内のチャンネルを検索し、最適なサイトを検出します。ローミング リストでは、最大 16 チャンネルを使用できます (選択したチャンネルを含む)。



注: 手動では、ローミング リスト内のエントリの追加や削除はできません。詳細については、販売店にお問い合わせください。

5.4

Capacity Plus

Capacity Plus は、コスト効率に優れたエントリレベルのデジタル トランキング システムです。シングルサイトとマルチサイトの容量と通信範囲を拡張します。シングルおよびマルチサイトの動的 トランキングで、より大きな通信容量と通信範囲に対応します。



注: プログラム可能ボタンを使用して Capacity Plus-シングルサイトまたは Capacity Plus-マルチサイトに適用できない機能にアクセスしようとする、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

Capacity Plus-シングルサイト

Capacity Plus-Single-Site は、MOTOTRBO 無線機システムの単一サイト トランキング構成であり、多数のユーザーと最大で 254 のグループをサポートするためのチャンネル プールを使用します。

この構成により、リピータ モードのとき、お使いの無線機で利用可能なプログラム済みチャンネルの数を有効活用できます。

無線機には、従来型デジタル モード、IP Site Connect、および Capacity Plus のいずれのモードでも利用できる機能もあります。

Capacity Plus-マルチサイト

Capacity Plus-マルチサイトは、Capacity Plus と IP Site Connect 構成の優れた特徴を組み合わせた MOTOTRBO 無線機システムのマルチチャンネル トランキング構成です。これは、Linked Capacity Plus と呼ばれます。

この機能を使用すると、無線機は IP ネットワーク経由で接続されている別の利用可能サイトに接続するので、シングルサイトでは通信範囲外となる地域との トランキング通信が可能になります。また、各利用可能サイトでサポートされている利用可能なプログラム済みチャンネルは組み合わせられて効率的に使用されるため、容量も増加します。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通信またはデータを送受信します。設定に応じて、この切り替えは自動または手動で行われます。

自動

現在のサイトからの信号が弱い場合や信号をまったく検出できない場合、無線機は、利用可能なサイトをすべてスキャンし、RSSI 値が最も強いリピータにロックします。

手動

無線機は、ローミング リスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト (ただし、信号強度が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。

Capacity Plus マルチサイトが有効になっているチャンネルは、ローミング リストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にこれらのチャンネルを検索し、最適なサイトを見つけてます。



注: 手動では、ローミング リスト内のエントリの追加や削除はできません。

5.5

ダイレクト モードまたはデュアル キャパシティ ダイレクト モード

ダイレクト モードまたはデュアル キャパシティ ダイレクト モード システムは、ユーザーの携帯型または車載型無線機からの送信機の出力電力が、顧客の必要な通信範囲内の他のすべてのユーザーと直接通信するのに十分な場合に適用されます。

ダイレクト モードまたはデュアル キャパシティ ダイレクト モード (DCDM) は、リピータを使用しないシステムの直接無線機間通信です。無線機がダイレクト モードまたはデュアル キャパシティ ダイレクト モード

で動作している場合、無線機は常に同じ周波数で送受信します。ダイレクトモードおよびデュアルキャパシティダイレクトモードは、エンドユーザーに同様のサービスを提供しますが、デュアルキャパシティダイレクトモードはデジタルモードでのみ使用でき、12.5kHz 帯域幅チャンネルで 2 つの音声またはデータのパスを同時にサポートし、ダイレクトモードは 1 つだけサポートする点が異なります。たとえば、デュアルキャパシティダイレクトモードのチャンネルを GNSS 復帰チャンネルとして使用できない場合など、若干の違いがあります。

無線機は、1 つのダイレクトモード/デュアルキャパシティダイレクトモード周波数に限定されません。これらは、チャンネルセレクトアノブで選択可能な異なる周波数を持つようにプログラムすることができます。

ダイレクトモードまたはデュアルキャパシティダイレクトモードでは、音声通信の無線ハングタイムは必要ありません。無線機には、内部通信(「トークバック」)タイマーがあります。無線機はまだアクティブな通信のメンバーであるため、通信タイマーの期限が切れる前に使用されるチャンネルアクセス方式は、一斉です。これは、通信開始のためのチャンネルアクセスの選択(個別または一斉)とは無関係です。

第 6 章

開始する

この章では、無線機を使用する前に準備する方法について説明します。

6.1

バッテリーの充電

前提条件: 充電中は無線機の電源を切ってください。

手順:

- 保証条件に準拠するため、および損傷を防ぐために、充電器のユーザーガイドに従い、Motorola Solutions 承認充電器でバッテリーを充電してください。
- 最高のパフォーマンスを引き出すためには、最初のご使用前に、新しいバッテリーに 3～4 時間充電してください。

バッテリーの充電は室温であるのが最適です。

- 充電中に充電器の LED が赤で点滅した場合は、無線機を再度挿入する必要があります。15 分ごとにこの手順の繰り返しが必要になることがあります。
- IMPRES™ バッテリーの充電には、バッテリーの寿命とバッテリーの貴重なデータを最適な状態で保つために、必ず IMPRES 充電器をご使用ください。



注: MOTOTRBO IMPRES バッテリーにはセルフ調整機能が搭載されているため、互換性のある IMPRES シングルユニット充電器および IMPRES 2 マルチユニット充電器 (ソフトウェアバージョン 2.00 以降) を使用して充電した場合、長時間の調整や再調整を行う必要はありません。[認定アクセサリ リスト ページ 160](#) を参照してください。

6.2

バッテリーの取り付けまたは取り外し

バッテリーの取り付け

手順:

1. 無線機の裏側のレールとバッテリーを合わせます。
2. バッテリーをしっかりと押し、ラッチが収まるまで上にスライドさせます。
3. バッテリー ラッチをロック ポジションまでスライドさせます。

後行条件:



注:

無線機の認証タイプが UL に設定されている場合、誤ったバッテリーを装着すると、無線機に以下の表示が出ます。

- 低い警告トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに [バッテリー エラー] と表示されます。
- 無線機プログラミング ソフトウェアを使用してロードされた場合、音声ガイドまたは音声変換の音が出力されます。

R7a UL 対応無線機モデルの場合、UL バッテリー検出を有効にするには、MOTOTRBO CPS 2.0 または無線機管理 (RM) プログラミング ソフトウェアで無線機の認証タイプを UL に設定します。

UL バッテリーを FM 認定の無線機に接続した場合 (またはその逆の場合)、無線機の認定が無効になります。

無線機に誤ったバッテリーまたはサポートされていない/認識されないバッテリーが取り付けられている場合は、すぐに正しいバッテリーと交換してください。

バッテリーの取り外し

前提条件: 無線機の電源がオフになっていることを確認します。

手順:

1. バッテリー ラッチをロック解除ポジションに移動します。
2. バッテリーを持ち、下にスライドさせてレールから外します。

6.3

アンテナの取り付けまたは取り外し

アンテナの取り付け

手順:

1. アンテナをレセプタクルにセットします。
2. アンテナを時計回りに回します。



注: アンテナを固定することで、無線機に水やほこりが侵入するのを防ぐことができます。



注意: 損傷を防ぐため、故障したアンテナは MOTOTRBO アンテナのみと交換してください。

アンテナの取り外し

手順:

1. アンテナを反時計回りに回します。
2. アンテナをレセプタクルから取り外します。

6.4

ユニバーサル コネクタ カバー (ダスト カバー) の取り付け

手順:

1. カバーの斜めの突起が付いている方を、ユニバーサル コネクタの上のスロットに挿入します。
2. カバーを押し下げ、カバーがユニバーサル コネクタに正しく収まるようにします。
3. つまみねじを時計回りに回し、コネクタ カバーを無線機に固定します。

6.5

ユニバーサル コネクタ カバーの取り外し

手順:

1. 蝶ネジを反時計回りに回します。
2. コネクタ カバーを上にもスライドさせて、ユニバーサル コネクタの斜めになっている端から外します。

後行条件: ユニバーサル コネクタを使用しないときは、ダスト カバーを取り付けておきます。

6.6

ユニバーサル コネクタ カバーのクリーニング

使用条件: アクセサリの取り付け前やダスト カバーの交換前に無線機が水にさらされた場合は、ユニバーサル コネクタを乾かしてください。無線機が塩水や汚染物質にさらされた場合は、以下のクリーニング手順を実行してください。

手順:

1. 3 リットルの水に低刺激性食器用洗剤を大さじ 1 杯 (15 ミリリットル) 加えて混ぜ合わせ、濃度 0.5% の溶液を作ります。
2. この溶液は、無線機の外部表面のクリーニングのみに使用します。毛先が短い、非金属製の硬いブラシを使用して、溶液を控えめに塗り付けます。
3. 糸くずのでない柔らかな布で、無線機を丁寧に拭きます。ユニバーサル コネクタの接触面に汚れがなく、乾いていることを確かめます。
4. ユニバーサル コネクタの接触面に Deoxit Gold Cleaner または Lubricant Pen (CAIG Labs 社製、製品番号 G100P) を適用します。
5. ユニバーサル コネクタにアクセサリを取り付けて、接続をテストします。

後行条件:



注: 無線機を水に沈めないでください。ユニバーサル コネクタ、各コントロール部、または隙間に余分な洗剤が残っていないことを確認します。

メンテナンスとして、無線機は月に 1 度はクリーニングしてください。石油化学工場や塩分濃度が高い海洋環境などの厳しい環境では、より頻繁に無線機をクリーニングしてください。

6.7

無線機の電源のオンまたはオフ

無線機の電源のオン

手順:

カチッという音が聞こえるまで、**オン/オフ/音量ノブ**を時計回りに回します。

結果:

無線機がオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。



注: トーン/アラート機能が無効になっている場合、トーンは鳴りません。

- 緑色の LED が点灯します。
- ロゴが表示され、起動後にホーム画面が表示されます。
- 音声ガイダンス タイプが **[音声ガイダンス (VA)]** に設定されていて、電源投入ステータス アナウンスが有効になっている場合、音声ガイダンス ファイルが添付されていると、音声ガイダンスがバッテリー レベルとその他のサービス アナウンスを鳴らします。
- 音声ガイダンス タイプが **[音声変換 (TTS)]** に設定されていて、電源投入ステータス アナウンスが有効になっている場合、音声ガイダンスがバッテリー レベル、無線エイリアス、およびその他のサービス アナウンスを鳴らします。



注: バッテリーが充電され、正しく取り付けられているにもかかわらず無線機の電源がオンにならない場合は、販売店に詳細をお問い合わせください。

無線機の電源のオフ

手順:

カチッという音が聞こえるまで、**オン/オフ/音量ノブ**を反時計回りに回します。

結果: ディスプレイに [でんげんシャットダウン] と表示されます。

6.8

音声転送中の無線機の持ち方

手順:

1. 高音声を使用する際は、無線機を垂直に持ち、上部マイクから口元を 5 ~ 10cm ほど離します。
2. 上部マイクに向かってはっきり話します。



注: 無線機の底面または背面を向けた状態で話さないでください。

3. スピーカーを使用して聴いてください。
4. アンテナは、頭部および体から 2.5cm 以上離すようにしてください。

結果:

次の図は、音声転送中の正しい無線機の持ち方を示しています。



6.9 音量の調節

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- 音量を上げるには、**オン/オフ/音量ノブ**を時計回りに回します。
- 音量を下げるには、**オン/オフ/音量ノブ**を反時計回りに回します。



注:

無線機には、最小音量のオフセットをプログラムできます。音量レベルはプログラムされた最小音量より下げることはできなくなります。

音量を調整すると、音量バー画面が表示されます。

6.10 キャリング ケースの使用

キャリング ケースに無線機を挿入する

手順:

1. 無線機をキャリング ケースに入れます。
2. キャリング ケースのボタンを留めます。

キャリング ケースから無線機を取り外す

手順:

1. キャリング ケースのボタンを外します。
2. キャリング ケースから無線機を取り外します。

第 7 章

ホーム画面の概要

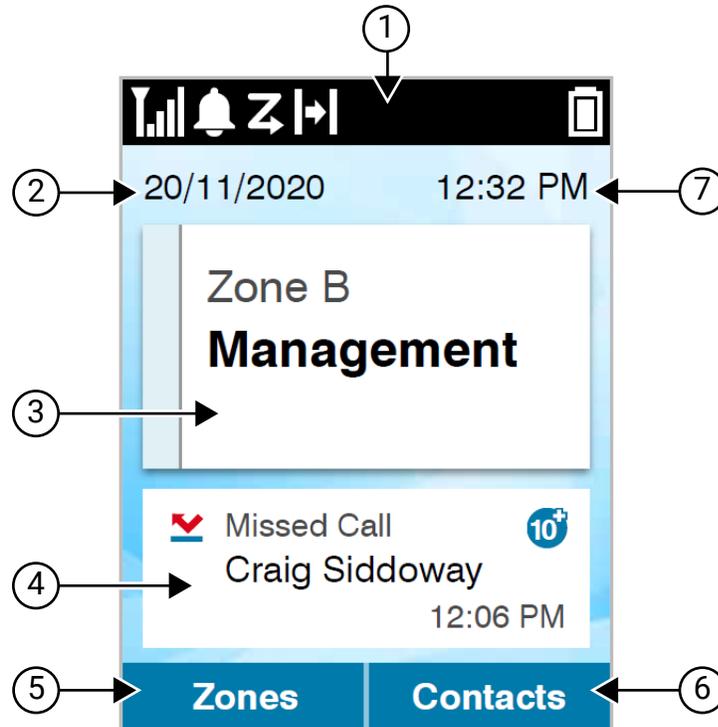


表 9: ホーム画面の概要

番号	名前	説明
1	ステータス バー	ステータス バーにはステータス アイコンが表示され、デバイスのステータスや機能の通知を提供します。
2	日付	使用可能な日付形式は、DD/MM/YYYY (デフォルト) および MM/DD/YYYY です。
3	無線コントロール ウィジェット	チャンネルのエラー、トラッキングのステータス、通信状態を表示します。
4	通知ウィジェット	最新の通知を表示します。
5	プログラム可能ボタン 1 (P1)	このボタンは、無線機プログラミング ソフトウェアを使用して現場でプログラムできます。
6	プログラム可能ボタン 2 (P2)	このボタンは、無線機プログラミング ソフトウェアを使用して現場でプログラムできます。
7	時間	使用できる時間形式は、12 時間 (デフォルト) および 24 時間です。

7.1

ステータス インジケータ

ステータス インジケータは、無線機で使用するアイコンおよび LED インジケータについて説明します。

7.1.1

ステータス アイコン

これらのアイコンはステータス バーに表示され、デバイス固有の情報やステータスを示します。

アイコン	名前	説明
	自動ローミング	自動サイトローミング機能が有効です。
	バッテリー	バーの本数でバッテリーの残量を示します。
	Bluetooth 接続	Bluetooth 機能が有効です。リモートの Bluetooth デバイスが接続されている間、アイコンは表示されたままになります。
	通信優先度: 高	通信優先度: 高が有効です。
	コラボレーション アプリ リンク	これで、無線機が IoT デバイスにペアリングされ、接続されました。
	動的グループ番号割当 (DGNA)	無線機は DGNA グループにあります。
	ダウンロード	無線機は現在ファイルをダウンロードしているか、ダウンロードしたファイルがあります。
	緊急モード	無線機が緊急事態モードになっています。
	GPS 信号 (GNSS)	GNSS 機能が有効です。測位を利用できる場合、アイコンは表示されたままになります。
	GNSS エラー	GNSS 機能は有効ですが、衛星からのデータ受信で問題が発生しています。
	GNSS 利用不可	GNSS 機能は有効ですが、衛星からデータを受信していません。
	大量データ	無線機が大量のデータを受信中で、チャンネルがビジーです。
	キーパッド	無線機のキーパッドがロックまたはロック解除状態になっています。
	位置情報	位置のステータスがオンで利用可能です。
	位置が利用不可	Bluetooth が無効か、ビーコン スキャンが Bluetooth により一時停止しているため、位置のステータスがオンですが利用できません。
	利用可能なログあり	無線機のログインをアップロードする準備ができていますことを示します。

アイコン	名前	説明
	ログのアップロード	無線機にログインしてアップロード中であることを示します。 注:  ログのアップロード中に無線機の Wi-Fi 接続が切断されると、無線機には次の通知が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ステータス バーには、ログのアップロード アイコンの代わりに使用可能なログ アイコンが表示されます。 ログのアップロード プロセスが停止します。 無線機が Wi-Fi 接続に接続されると、無線機には次の通知が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ステータス バーにログのアップロード アイコンが表示されます。 ログのアップロード プロセスが再開されます。
	モニタ	選択されたチャンネルをモニタ中です。
	通知	無線機は、アクティビティまたはイベントの通知を受信します。
	オプション ボード	オプション ボードが有効です。
	オプション ボード利用不可	オプション ボードが無効です。
	エア接続プログラミング (Over-the-Air) 遅延タイマー	無線機の自動再起動までの残り時間を示します。
	パワー レベル	無線機は低出力に設定されています。無線機が高出力の場合、アイコンが消えます。
	応答禁止	無線機が着信通信に応答しないようにすることができます。
	受信信号強度インジケータ (RSSI)	表示されるバーの数は、無線機の信号強度を表します。バーが 4 本のときが最大強度です。このアイコンは受信時のみに表示されます。
	サービス圏外	無線機がシステムまたは現在のサイトからの信号を検出できません。
	受信	無線機が通信を受信しています。
	送信	無線機が通信を送信しています。
	スキャン	スキャン機能が有効になっています。
	スキャン優先度	無線機は、優先度 1 または 2 に指定されたチャンネルまたはグループのアクティビティを検出します。
	投票スキャン	投票スキャン機能が有効です
	セキュア	秘話モード機能が有効です。
	非セキュア	秘話モード機能が無効です。

アイコン	名前	説明
	共有の周波数	無線機が共有のコントロール チャネルに対してロックされていることを示します。
	ダイレクトモード	リピータがない場合、無線機は無線機間で直接通信を行うように設定されています。
	送信抑制	無線機からのすべての送信をブロックできます。
	ミュート	ミュートが有効になっており、スピーカがミュートされています。
	着信音のみ	呼出音モードが有効です。
	サイレント	サイレントモードが有効です。
	トーン停止	トーンがオフです。
	サービスとサポート	無線機にサービスとサポートが必要であることを示します。
	Wi-Fi	無線機は Wi-Fi ネットワークに接続しています。バーの数は、Wi-Fi ネットワークの信号の強度を表します。
	Wi-Fi 利用不能	Wi-Fi ネットワークを利用できません。

7.1.2

Bluetooth デバイス アイコン

以下のアイコンも、デバイス タイプを示すために使用できる Bluetooth 対応デバイス リストで項目の隣に表示されます。

表 10: Bluetooth デバイス アイコン

アイコン	名前
	Bluetooth オーディオ デバイス
	Bluetooth データ デバイス
	Bluetooth PTT デバイス
	Bluetooth PAN デバイス
	Bluetooth センサー デバイス

7.1.3

通信アイコン

以下は、通信中にディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは連絡先リストにも表示され、エイリアスや ID タイプを示します。

表 11: 通信アイコン

アイコン	名前
	Bluetooth PC 通信
	DGNA 通信
	管理コンソール通信
	グループ通信/一斉通信
	非 IP 周辺個別通信
	非 IP 周辺グループ通信
	グループ通信または一斉通信としての通話
	個別通信としての通話
	個別通信

7.1.4

ワーク チケットアイコン

次のアイコンは、ワーク チケット フォルダ内で、ディスプレイに一時的に表示されます。

表 12: ワーク チケット アイコン

アイコン	名前
	すべてのジョブ
	新しいジョブ
	進行中のジョブ
	ジョブ送信失敗
	ジョブ送信成功
	優先度 1 ジョブ
	優先度 2 ジョブ
	優先度 3 ジョブ

7.1.5

ミニ通知アイコン

次のアイコンは、タスクを実行するアクションが行われた後で、ディスプレイに瞬間的に表示されます。

表 13: ミニ通知アイコン

アイコン	名前
	送信に失敗 (ネガティブ)
	送信に成功 (ポジティブ)
	通信処理中 (経過)

7.1.6

LED 表示

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

有資格技術者は、事前プログラミングによって LED 表示を恒久的に無効にすることができます。

表 14: LED 表示

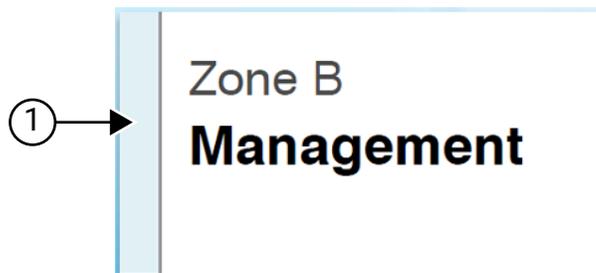
表示	状態
赤色の点滅	<ul style="list-style-type: none">無線機はバッテリーの不一致を示しています。無線機は電源投入時のセルフテストに失敗しました。無線機は緊急送信を受信しています。無線機は低バッテリー状態で送信しています。オートレンジトランスポンダシステムで設定されている通信範囲から外れました。ミュートモードが有効です。
黄色の点灯	<ul style="list-style-type: none">無線機は Bluetooth 検出可能モードになっています。無線機は従来型チャンネルをモニタしています。
黄色の点滅	<ul style="list-style-type: none">無線機はページングにまだ応答していません。無線機はアクティビティをスキャンしています。無線機のフレックス RX リストが有効になっています。すべての Capacity-Plus-マルチサイトチャンネルがビジー状態です。
黄色の 2 回点滅	<ul style="list-style-type: none">無線機の自動ローミング機能が有効です。無線機が新規サイトを検索しています。無線機はグループのページングにまだ応答していません。無線機はロックされています。Capacity Plus の間は、無線機はリピータに接続されません。すべての Capacity-Plus チャンネルがビジー状態です。

表示	状態
緑色の点灯	<ul style="list-style-type: none"> 無線機が電源オンになっています。 無線機は送信を行っています。 無線機はページングまたは緊急送信を送信しています。
緑色の点滅	<ul style="list-style-type: none"> 無線機は通信またはデータを受信しています。 無線機は無線プログラミング送信を取得しています。 無線機は無線接続アクティビティを検出しています。
緑色の 2 回点滅	無線機はプライバシー対応通信またはデータを受信しています。

7.2

無線コントロールウィジェット

無線コントロールウィジェットには、現在のゾーンとチャンネル、チャンネルエラー、トランキングステータス、および通信状態が表示されます。



番号	名前
1	ライトバー

7.2.1

ライトバーインジケータ

ライトバーインジケータは、無線機のアクティブな通信状態を示します。

カラー	通信状態
明るい青色 	待機中
黄色 	通信着信中

カラー

通信状態

赤色



通信送信中

灰色



プログラムされていません

7.3

通知ウィジェット

通知ウィジェットには、重要な通知が表示されます。通知ウィジェットから直接アクションを実行できます。

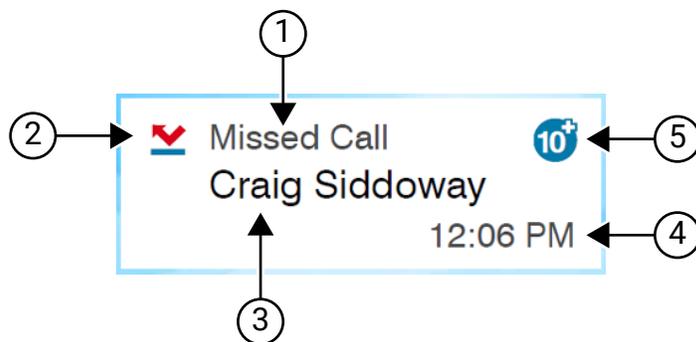


表 15: 通知ウィジェットの概要

番号	名前	説明
1	通知タイプ	最新の通知を表示します。
2	インライン アイコン	最新の通知のアイコンを表示します。詳細については、「 通知ウィジェット アイコン ページ 53 」を参照してください。
3	発信者または送信者 ID のステータス情報	最近受信した通知に基づいて、発信者または送信者 ID 情報を表示します。
4	タイム スタンプ情報	受信した通知のタイム スタンプを表示します。
5	未読通知の総数	未読通知の総数を表示します。10 件以上の未読通知の場合、 [通知ウィジェット] に合計数 10 が表示されます。

7.3.1

通知ウィジェット アイコン

これらのアイコンは通知ウィジェットに表示され、受信した通知を示します。

アイコン	名前
	ページング
	緊急モード
	ワーク チケット
	不在通信
	サービスとサポート
	ステータス メッセージ
	テキスト メッセージ

7.4

スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能により、無線機はバッテリー消費を削減し、バッテリー寿命を延ばすことができます。次の条件では、バックライト タイムアウト タイマーの期限が切れると、無線機はスクリーンセーバーモードになります。

- 無線機プログラミングソフトウェアでは、**[バックライト]→[タイムアウト タイマー (秒)]** の設定が **[無限]** に設定されていません。
- 無線機はホーム画面のままとなります。
- 無線機はアクティブな音声通信でも、通信ハング タイム状態でもありません。
- 無線機には、ホーム画面のリマインダやバッテリー残量低下警告などの一時的な通知は表示されません。

次のいずれかの状態になると、無線機はスクリーンセーバーモードを終了します。

- ユーザー入力が検出された。
 - PTT ボタン、キーパッド ボタン、または**プログラム可能**ボタンが押された。
 - 緊急事態が起動した。



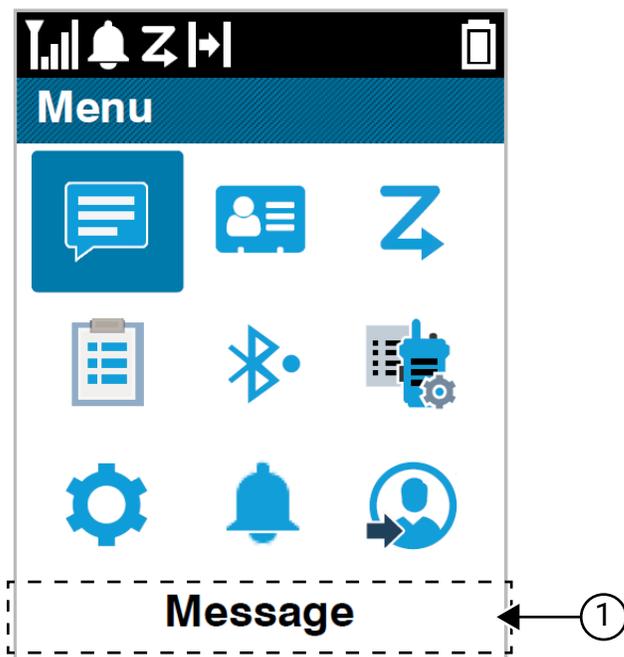
注: 緊急事態が [サイレント] または [音声付きサイレント] に設定されている場合、緊急事態を起動してもスクリーンセーバーモードは終了しません。

- **オン/オフ/音量ノブ**または**チャンネルセレクト ノブ**を回した。
- アクセサリの取り付けまたは取り外しを行った。
- 無線機が音声通信を受信している。
- 無線機が、ページングやワーク チケットなどの音声以外の送信アクティビティを受信している。
- 無線機に、ホーム画面のリマインダやバッテリー残量低下警告などの一時的な通知が表示される。

第 8 章

アイコンベース メニューの概要

アイコンベース メニューでは、1 ページに最大 9 つのメニューアイコンが表示されます。無線機では、機能の可用性に基づいてアイコンベース メニューが自動生成されます。



番号	名前	説明
1	メニュー文字列	選択した対応するメニュー アイコンの名前を表示します。

8.1

アイコンベース メニュー アイコン

アイコン	名前
	音声再生
	Bluetooth
	通信履歴
	発信者エイリアス
	連絡先

アイコン	名前
	緊急モード
	ワーク チケット
	ログイン
	ログアウト
	メッセージ
	通知
	無線機モード
	スキャン
	サービスとサポート
	ステータス
	ユーティリティ
	Wi-Fi
	ゾーン

8.2

アイコンベースのメニューへのアクセス

手順:

1. ホーム画面で **[メニュー/OK]** ボタンを選択します。
2. **4方向ナビゲーション** ボタンまたは **数字キー** を使用してメニューをナビゲートします。



注: 数字キーの各番号は、メニューに表示される各アイコンに関連付けられています。

第 9 章

無線の基本操作

このセクションでは、無線機で実行できる基本操作について説明します。

9.1

登録

無線機は、Capacity Max システムから登録関連のメッセージを受信する場合があります。

登録

無線機の電源をオンにする、グループを変更する、またはサイト ローミングを行うと、無線機は登録メッセージをシステムに送信します。無線機がサイトに登録できなかった場合、無線機は自動的に別のサイトへのローミングを試行し、ローミングリストから試行された登録サイトを一時的に削除します。

正常にサイト検索が行われると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が 2 回点滅します。
- ディスプレイに [登録中] と表示されます。

サイトが正常に登録されると、無線機にサイト<番号>が表示されます。

サービス圏外

無線機がシステムまたは現在のサイトからの信号を検出できない場合、無線機には次の通知が表示されます。

- 反復トーンが鳴ります。
- 赤色で点滅します。
- ディスプレイに [けんがい] と表示されます。

グループへの参加失敗

無線機がグループへの加入を試行できない場合、無線機に [加入失敗] と表示されます。

登録の拒否

システムへの登録が承認されない場合、無線機には次の通知が表示されます。

- 黄色の LED が 2 回点滅します。
- ディスプレイに [登録拒否] と表示されます。

9.2

サイト概要

1 つのサイトは、特定の 1 エリアの通信範囲を規定します。

マルチサイト ネットワークでは、現在のサイトからの信号レベルが受容できないレベルまで下がると、システムが新しいサイトを自動的に検索します。

9.2.1

サイト トランキング

サイト トランキングは Capacity Max システムでのみ使用できます。サイトがシステム トランキングとみなされるためには、トランク コントローラと通信できる必要があります。

サイトがシステムのトランク コントローラと通信できない場合、無線機はサイト トランキング モードになります。サイト トランキング モードの無線機は、定期的に音声および表示による通知を行って、機能が制限されていることをユーザーに知らせます。

サイト トランキング モードの場合、無線機に [サイト トランキング] と表示され、反復トーンが鳴ります。

サイト トランキング モードの無線機は、グループおよび個別の音声通信を行うことも、同じサイト内の他の無線機にテキスト メッセージを送信することもできます。音声コンソール、ロギング レコーダ、電話ゲートウェイ、およびデータ アプリケーションが同サイトの無線機と通信することはできません。

複数サイトにまたがる通信に参加している無線機がサイト トランキング モードになると、同じサイト内の他の無線機としか通信できなくなります。他のサイトとの通信は失われます。



注: 無線機の現在の位置をサービス対象エリアとするサイトが複数あり、いずれかのサイトがサイト トランキング モードになると、そのサイトの無線機は、圏内にある別のサイトにローミングします。

9.2.2

自動ローミング

無線機システムにより、この機能を使用すると、無線機を必要なサイトにローミングできます。

サイト検索リストが添付されているマルチサイト チャネルには、自動ローミング機能があります。

無線機は、サイト検索を使用して異なるサイトにローミングできます。

表 16: サイト検索のタイプ

タイプ	説明
パッシブ サイト検索 (PassiveSS)	サイト ロックをオフにすると、PassiveSS は利用可能なサイトをスキャンし、現在のホームとして最も強い信号を選択します。
アクティブ サイト検索 (ActiveSS)	ActiveSS は、リピータにウェイクアップ要求を送信します。

9.2.3

サイト ロックをオンにする

手順:

プログラムされた [サイト ロック] ボタンを押します。

結果: 無線機には次の通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [サイト ロック済み] と表示されます。
- 無線機は現在のサイトのみを検索します。

9.2.4

サイト ロックをオフにする

手順:

プログラムされた **[サイト ロック]** ボタンを押します。

結果: 無線機には次の通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに **[サイト ロックかいじょ]** と表示されます。
- 無線機は、現在のサイトを含む他のサイトのリストを検索します。

9.2.5

手動サイト検索の有効化

手順:

1. メニューから  **[ユーティリティ]** → **[きのうせってい]** → **[サイト ローミング]** の順に選択します。
2. **[サイト ロック]** を無効にします。
3. **[アクティブ検索]** を選択します。

結果: 無線機には次の通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。

無線機が新しいサイトを見つけると、無線機には次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。

無線機が新しいサイトを見つけられない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。

通信範囲内に新しいサイトが存在するものの無線機が接続できない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。

9.2.6

隣接サイトのリストへのアクセス

手順:

メニューから  **[ユーティリティ]** → **[きき じょうほう]** → **[隣接サイト]** の順に選択します。

9.3

ゾーンとチャンネルの選択

ゾーンとは、チャンネルのグループのことです。チャンネルごとに、異なるユーザーグループをサポートするさまざまな機能をプログラムできます。

表 17: サポートされているゾーンとチャンネルの数

モデル	ゾーン	チャンネル	ゾーンごとのチャンネル数
ディスプレイ	250	1000	160
ノンディスプレイ	4	64	16

9.3.1

ゾーンの選択

手順:

メニューから  [ゾーン] → <[必要なゾーン]> を選択します。

結果: ディスプレイに <[ゾーン]>せんたくずみ] と表示されます。



注: キーパッドがないすべての無線機では、ゾーン選択のために音声ガイド機能を有効にすることをお勧めします。音声ガイド機能は、無線機プログラミングソフトウェアでのみ有効にできます。

9.3.2

エイリアス検索を使用したゾーンの選択

手順:

1. メニューから  [ゾーン] を選択します。
2. エイリアスに必要な文字を入力します。

結果:

ディスプレイに <[ゾーン]>せんたくずみ] と表示されます。



注: エイリアス検索では、大文字と小文字が区別されます。同じ名前のエントリが 2 つ以上ある場合、リストの最初に記載されたエントリがディスプレイに表示されます。

。

9.3.3

チャンネル選択

手順:

チャンネル セレクタ ノブを回します。



注: [仮想チャンネル停止] が有効になっている場合、無線機は最初または最後のチャンネルに到達した後停止し、トーンが聞こえます。

結果: 無線機が優先するチャンネルに切り替わります。

9.3.4

ダイレクト チャネル ダイヤルを使用したチャネルの選択

手順:

ホーム画面で、<必要なチャンネル番号>→[メニュー/OK] を入力します

9.4

通知への応答



注: 無線機プログラミング ソフトウェアの [応答発信者] 設定を使用して、個別通信およびページング機能のホーム画面で通知ウィジェットをカスタマイズできます。[応答発信者] が有効になっている場合は、個別通信またはページング通知の通知リストを直接表示できます。[応答発信者] が無効になっている場合、通知は通知ウィジェットに表示されます。

手順:

1. ホーム画面で、**下ボタン**を押します。
2. 通知の詳細を表示するには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

9.5

サービスとサポート

サービスコードを使用することで、無線機に必要なサービスおよびサポートのタイプを特定できます。

サービスコードの詳細については、<https://learning.motorolasolutions.com> の『MOTOTRBO™ 無線機サービスコードトラブルシューティングガイド』(MN009539A01) を参照してください。

9.5.1

フル キーパッド モデル用サービスコードへのアクセス

フル キーパッド モデルでは、無線機のディスプレイに通知アラートとサービスコードが表示されます。

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
単一の通知アラートへのアクセス	<ol style="list-style-type: none">a. ホーム画面で、下ボタンを押します。b. サービスコードの詳細と QR コードを表示するには、[メニュー/OK] を選択します。c. 通知を削除するには、[メニュー/OK] ボタンを押します。

オプション	操作
複数の通知アラートへのアクセス	<ol style="list-style-type: none"> a. ホーム画面で、下ボタンを押します。 b. 通知の詳細を表示するには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。 c. サービスコードの詳細と QR コードを表示するには、通知リストから <必要な通知> を選択します。 d. 通知を削除するには、[メニュー/OK] ボタンを押します。
[サービスとサポート] メニューからサービスコードへのアクセス	<ol style="list-style-type: none"> a. メニューから [サービスとサポート] を選択します。 b. 下記の操作のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「ご使用前に」 ページの QR コードを表示するには、[サポートの利用] を選択します。 ● サービスコードの詳細と QR コードを表示するには、リストから <必要なサービス メッセージ カテゴリ> を選択します。

QR コードをスキャンすると、Motorola Solutions のナレッジポータルに移動します。ここでは、必要な無線機情報の詳細や推奨されるアクションを確認できます。QR コードをスキャンできない場合は、QR コードの下にある URL を Web ブラウザに入力します。

9.5.2

キーパッドなしモデルのサービスコードへのアクセス

キーパッドなしモデルの場合、各サービスコードメッセージは音声ガイドでのみ利用可能です。



注: 無線機プログラミングソフトウェアで音声ガイド機能が有効になっていない場合、キーパッドなしモデルでは、サービスモードとサービス関連のガイドは利用できません。

手順:

1. サービスモードを開始するには、無線機の電源をオンにしてから 10 秒以内に **[3 ドット プログラム可能機能]** ボタンを 5 秒間長押ししてください。
2. 次の操作を実行します。
 - すべてのサービスメッセージを聞くには、**[3 ドット プログラム可能機能]** ボタンをもう一度押ししてください。
 - すべてのサービスメッセージを削除するには、すべてのサービスメッセージの削除が完了したことを示す有効なトーンが聞こえるまで、**[1 ドット プログラム可能機能]** ボタンを長押ししてください。
3. サービスモードを終了するには、無線機の電源を入れます。



注: 無線機がサービスモードの場合、通常の無線機操作は無効になります。

9.5.3

サービス連絡先の表示

サービス連絡先の表示機能は、ディスプレイ付きの無線機モデルでのみ使用できます。

手順:

メニューから [サービスとサポート] → [サービス連絡先] を選択します。

結果: 無線機にサービス連絡先の詳細が表示されます。

9.6

アクションリストへのアクセス

アクションリストには、設定可能なクイック アクセス機能が含まれています。アクションリストの各機能は、アクションリスト番号で識別されます。

手順:

ホーム画面で、上ボタンを押します。

図 4: アクションリストの概要

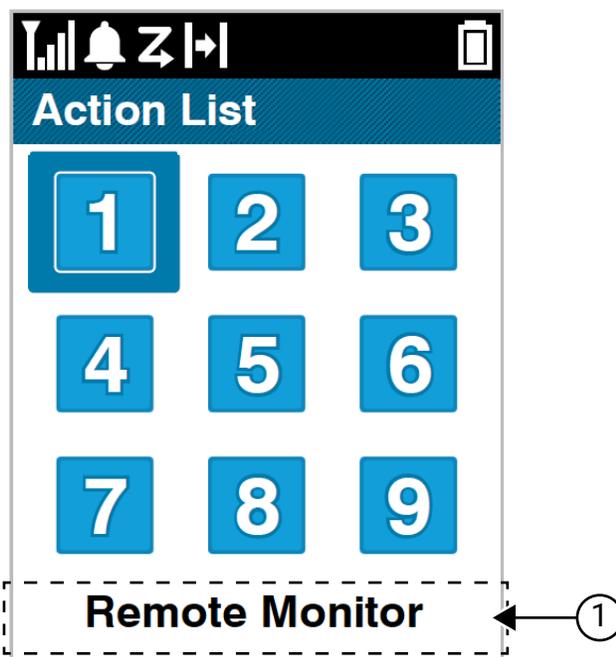


表 18: アクションリストの概要

番号	名前	説明
1	機能文字列	対応する選択した機能の名前を表示します。



注: 無線機プログラミングソフトウェアを使用して、アクションリストと機能文字列の設定を構成できます。

9.7

無線機情報へのアクセス

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ]→[ききじょうほう] の順に選択します。
2. 無線機情報にアクセスするには、下記の操作のどちらかを実行します。
 - バッテリー情報を確認するには、[バッテリー INFO] を選択します。
 - 無線機 ID とエイリアスを確認するには、[ID] を選択します。
 - ファームウェアとコードプラグのバージョンを確認するには、[バージョン] を選択します。
 - GNSS 情報を確認するには、[GNSS Info] を選択します。
 - サイト情報を確認するには、[サイト情報] を選択します。
 - 最新のソフトウェアアップデート情報を確認するには、[ソフト アップデート] を選択します。

9.8

テキスト エディター オプションへのアクセス

手順:

1. エディター オプションを起動するには、# キーを押し続けます。
2. エディター オプションで、次のいずれかの操作を実行します。

オプション	操作
数値キーによる数値入力の設定	下記の操作のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none">● [Numbers 123] または [NumbersOFF] を選択し、左または右ボタンを押します。● [Numbers 123] または [NumbersOFF] を選択し、[メニュー/OK]→<[必須設定]>を押します。
テキスト メッセージへの必要な記号の追加	[記号] を選択し、[メニュー/OK]→<[必要な記号]>を押します。

オプション	操作
<p>予測またはマルチタップ オプションの設定</p>	<p>下記の操作のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [よそく] または [マルチタップ] を選択し、左または 右 ボタンを押します。 ● [よそく] または [マルチタップ] を選択し、[メニュー/OK] → <[必須設定]> を押します。 <p> 注: 予測 必要な数値キーを押すと、推奨される単語のリストが画面に表示されます。 候補の中からテキストメッセージに適した単語を選択できます。</p> <p>マルチタップ マルチタップでは、必要な数値キーを複数回押して特定の文字または記号を選択する必要があります。</p>
<p>テキストメッセージの作成に必要な言語の選択</p>	<p>下記の操作のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <現在の言語> を選択し、左または 右 ボタンを押します。 ● <現在の言語> を選択し、[メニュー/OK] → <[必須言語]> を押します。

第 10 章

一般無線機設定

このセクションでは、無線機で調整できる一般的な設定について説明します。

10.1

ダイレクトモード

この機能を使用すれば、リピータが作動していない場合や、お使いの無線機がリピータの圏外にある場合でも、通信範囲内にある他の無線機との通信を継続できます。

ダイレクトモード設定は、電源を切った後も保持されます。



注: この機能は、同じ周波数の Capacity Plus-シングルサイト、Capacity Plus-マルチサイト、および市民バンドチャンネルでは利用できません。

10.1.1

リピータとダイレクトモードの切り替え

手順:

1. メニューから [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[ダイレクトモード] の順に選択します。
2. [メニュー/OK] ボタンを選択して、ダイレクトモードとリピータモードを切り替えます。

結果:

ダイレクトモードが有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に が表示されます。

ダイレクトモードが無効になっている場合は、[ゆうこう] の隣の が消えます。

10.2

日付と時刻の設定

手順:

1. メニューから、 [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[日時] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
外部の時間ソースとの自動同期の有効化	<ol style="list-style-type: none">a. [メニュー/OK] ボタンで [自動的に有効に設定] チェックボックスを有効にします。b. ステップ 7 に進みます。 <p> 注: [自動的に有効に設定] を有効にすると、日付と時刻は Wi-Fi または全地球測位システム (GNSS) を介したネットワーク タイム プロトコル (NTP) などの外部ソースと同期されます。</p>

オプション	操作
日付と時刻の手動調整	<p>a. [メニュー/OK] ボタンで [自動的に有効に設定] チェックボックスを無効にします。</p> <p>b. ステップ 3 に進みます。</p> <p> 注: 無線機が 2 週間オフになっていた場合は、無線機の電源を 8 時間以上オンにして内部バッテリー (ボタン型電池) を充電し、通常のタイムキーピング機能を復元します。</p> <p>日付と時刻が正しくない場合は、無線機の設定で正しい日付と時刻を手動で設定できます。</p>

3. [タイムゾーン] を調整するには、左、右、または [メニュー/OK] ボタンを選択します。
4. [夏時間] を有効にするには、[ゆこう] を選択します。
5. [日付を設定] を調整するには、[メニュー/OK] → <[優先する日付]> → [メニュー/OK] を選択します。
6. [時刻を設定] を調整するには、[メニュー/OK] → <[優先する時刻]> → [メニュー/OK] を選択します。
7. [日付形式] を調整するには、左、右、または [メニュー/OK] ボタンを選択します。



注: 使用可能な日付形式は、DD/MM/YYYY (デフォルト) および MM/DD/YYYY です。

8. 24 時間の [時間形式] を有効にするには、[24 時間] を選択します。

10.3

無線機のトーンとアラートの設定

手順:

1. メニューから、 [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [トーン/アラート] を選択します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - ぜん トーン
 - きょか トーン
 - ね そうさおん
 - PU トーン
 - [Vol オフセット] → <[必要な音量]>。

結果: 設定の隣に ✓ が表示されます。

10.4

パワー レベルの設定

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [でんげん] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。

- かなり離れた場所にある無線機と交信できるようにするには、**[高]** を選択します。
- 近接した無線機との通信を有効にするには、**[低]** を選択します。

10.5

ディスプレイ設定の調整

手順:

1. メニューから  **[ユーティリティ]**→**[きのうせってい]**→**[ひょうじ]** の順に選択します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - **デイモード/ナイト モード**
 - **きど**
 - **タイマメニュー**
 - **しょきがめん**

10.6

スケルチ レベルの設定

信号強度が低い不要な通信や、通常の背景雑音よりも強い雑音があるチャンネルを取り除くために、スケルチレベルを調整できます。

手順:

1. メニューから  **[ユーティリティ]**→**[きのうせってい]**→**[スケルチ]** の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - ノーマル スケルチ レベルの場合は、**[ノーマル スケルチ]** を選択します。
 - 不要な通信や背景雑音を除外するには、**[げんじゅうスケルチ]** を選択します。

10.7

キー ロック オプション

この機能を使用すると、無線機を使用していないときに誤ってボタンを押したり、チャンネルを変更したりすることを防ぐことができます。必要に応じて、キー、チャンネルセレクト ノブのいずれかをロック、またはその両方をロックすることを選択できます。

販売店は、無線機プログラミング ソフトウェアを使用して、次のいずれかのオプションを設定できます。

- キーをロック
- チャンネルセレクト ノブをロック
- キーとチャンネルセレクト ノブをロック

無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

10.7.1

キーパッドのロックとロック解除

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- キーパッドをロックするには、メニューから  [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[キー ロック]の順に選択します。
- キーパッドのロックを解除するには、[メニュー/OK]→* または削除キーを押します。

結果:

キーパッドがロックされている場合、ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

キーパッドがロック解除されている場合は、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

10.8

言語の設定

手順:

メニューから  [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[言語]→<[必要な言語]>の順に選択します。

結果: 選択した言語の隣に ✓ が表示されます。

10.9

全地球測位システムの設定

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[GNSS]の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - GNSS を有効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。
 - GNSS を無効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

結果:

GNSS が有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

GNSS が無効になっている場合は、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

10.10

LED インジケータの設定

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[LED インジケータ]の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - LED インジケータを有効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

- LED インジケータを無効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

結果:

LED インジケータが有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

LED インジケータが無効になっている場合は、無線機の表示は次のようになります。

- [ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。
- ディスプレイのバックライトとキーパッドのバックライトは自動的にオフになります。

10.11

パスワード ロック

パスワードを設定して、無線機へのアクセスを制限できます。無線機の電源を入れるたびに、パスワードを入力する必要があります。

無線機では、4 桁のパスワード入力を使用できます。

ロック状態の無線機は、通信を受信できません。

10.11.1

パスワードによる無線機へのアクセス

前提条件: 無線機の電源を入れます。

手順:

1. 4 桁のパスワードを入力します。
2. メニュー/OK ボタンを選択します。

結果:

パスワードを正しく入力すると、無線機の電源がオンになります。

パスワードを間違えて入力すると、トーンが鳴り、黄色い LED が点灯してディスプレイに [パスワードふてきごう] と表示されます。



注:

この手順を繰り返して、パスワードを入力できます。無線機が 15 分間ロック状態になるまでに 3 回試行できます。ディスプレイに [むせんきロックずみ] と表示されます。

ロック状態の無線機は、オン/オフ/音量ノブおよびプログラムされた [バックライト] ボタンからの入力にのみ反応します。

ロック状態の間に無線機の電源を再起動すると、タイマーが再開します。

10.11.2

ロック状態の無線機をロック解除する

手順:

ロック状態の無線機のロックを解除するには、次のいずれかの操作を実行します。

オプション	操作
無線機の電源がオンの場合は、ロック状態の無線機をロック解除する	<ol style="list-style-type: none">a. 15 分間待機します。b. 「パスワードによる無線機へのアクセス」の手順で、無線機にアクセスします。

オプション	操作
無線機の電源がオフの場合は、ロック状態の無線機をロック解除する	<p>a. 無線機の電源を入れます。</p> <p> 注: ロック状態の 15 分タイマーが再起動されます。</p> <p>b. 15 分間待機します。</p> <p>c. 「パスワードによる無線機へのアクセス」の手順で、無線機にアクセスします。</p>

10.11.3

パスワードロックの設定

手順:

1. メニューから、 [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[パスワードロック]→<[必要なパスワード]>を選択します。

 **注:** 初めてこの機能を使うときは、ディスプレイに「新しいパスワードを設定」と表示され、新しいパスワードを設定します。パスワードロック機能を設定する前に、新しいパスワードを設定する必要があります。

2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - パスワードロックを有効にするには、[オン]を選択します。
 - パスワードロックを無効にするには、[オフ]を選択します。

10.11.4

パスワードの変更

手順:

1. メニューから、 [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[パスワードロック]→<[必要なパスワード]>→[パスワードへんこう]を選択します。
2. 4桁の新規パスワードを入力します。
3. 新しいパスワードを確定するには、同じ4桁のパスワードを再入力します。

結果:

パスワードが正常に変更されると、ディスプレイに [パスワードへんこうずみ] と表示されます。

パスワードが正常に変更されなかった場合は、ディスプレイに [パスワードふてきごう] と表示され、前のメニューに戻ります。

10.12

音声ガイドの設定

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[音声ガイド] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 音声ガイドを有効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

- 音声ガイドを無効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

結果:

音声ガイドが有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

音声ガイドが無効になっている場合は、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

10.13

音声変換

この機能では、次の機能を音声で知らせることができます。

- 現在のチャンネル
- 現在のゾーン
- プログラムされたボタン機能のオン/オフ
- 受信済みテキスト メッセージの内容
- 受信済み JOB チケットの内容



注:

音声変換が有効になっている場合、音声ガイド機能は自動的に無効になります。音声ガイドが有効になっている場合、音声変換機能が自動的に無効になります。

10.13.1

音声変換の設定

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[音声変換] の順に選択します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - すべて
 - Messages
 - ワーク チケット
 - チャンネル
 - ゾーン
 - Program Button

結果: 選択した設定の隣に ✓ が表示されます。

10.14

マイクの自動ゲイン制御の設定

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[マイク AGC] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - アナログ マイクの自動ゲイン制御で、[Mic AGC-A] を選択します。
 - デジタル マイクの自動ゲイン制御で、[Mic AGC-D] を選択します。
3. 下記の操作のいずれかを実行します。

- Mic AGC を有効にするには、**[メニュー/OK]** ボタンを選択します。
- Mic AGC を無効にするには、**[メニュー/OK]** ボタンを選択します。

結果:

Mic AGC が有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に  が表示されます。

Mic AGC が無効になっている場合は、[ゆうこう] の隣の  が消えます。

10.15

マイクひずみの設定

手順:

1. メニューから  **[ユーティリティ]**→**[きのうせってい]**→**[マイクひずみ]** の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - マイクひずみを有効にするには、**[メニュー/OK]** ボタンを選択します。
 - マイクひずみを無効にするには、**[メニュー/OK]** ボタンを選択します。

結果:

マイクひずみが有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に  が表示されます。

マイクひずみが無効になっている場合は、[ゆうこう] の隣の  が消えます。

10.16

ノイズ抑制の設定

手順:

1. メニューから  **[ユーティリティ]**→**[きのうせってい]**→**[ノイズ抑制]** の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 通常で背景でノイズ抑制を有効にするには、**[かくちょうじどう]** を選択します。
 - ノイズが通常で背景より高い場合にノイズ抑制を有効にするには、**[基本]** を選択します。
 - ノイズ抑制を無効にするには、**[無効]** を選択します。
 - 状況認識を維持しながら背景ノイズの一部を除去する、AI トレーニング済みのレベル 1 ノイズ抑制を有効にするには、**[AI トレーニング 済 1]** を選択します。
 - 背景ノイズを最小限に抑える、AI トレーニング済みのレベル 2 ノイズ抑制を有効にするには、**[AI トレーニング 済 2]** を選択します。

 **注:**

- **[AI トレーニング 済 1]** は、背景ノイズの高度なノイズ抑制を実現する人工知能でトレーニングされたノイズ低減テクノロジーです。レベル 1 とは、一部の背景ノイズを聞くことで状況を認識できるようにするノイズ抑制レベルを意味します。
- **[AI トレーニング 済 2]** は、背景ノイズの高度なノイズ抑制を実現する人工知能でトレーニングされたノイズ低減テクノロジーです。レベル 2 とは、背景ノイズを最小限に抑えて明瞭な音声を実現するノイズ抑制レベルを意味します。

10.17

音声アンビエンスの設定

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[オンセイ アンビエンス] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 工場出荷時の設定には、[しょきち] を選択します。
 - 騒音のある場所でスピーカの音量を上げるには、[だいおんりょう] を選択します。
 - 相互に近い無線機グループと通信する際に音響フィードバックを減らすには、[ワークグループ] を選択します。

結果:

ディスプレイの選択した設定の横に ✓ が表示されます。

10.18

音声プロファイルの設定

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[音声設定] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 先に選択されていた音声プロファイルを無効にし、工場出荷時の設定に戻すには、[しょきち] を選択します。
 - 40 歳を超える成人の騒音による難聴を補う音声プロファイルの場合は、[レベル 1]、[レベル 2]、または [レベル 3] を選択します。

結果:

ディスプレイの選択した設定の横に ✓ が表示されます。

10.19

文字入力の設定

無線機では、さまざまな文字入力を設定できます。

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[もじにゅうりょく] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
頻繁に入力する語に共通する並び順を学習するように無線機を設定する	[よそく] を選択します。
単語の修正を実行するように無線機を設定する	[もじしゅうせい] を選択します。
新しい文を入力するごとに、最初の語の最初の文字を自動的に大文字にするように無線機を設定する	[おおもじ] を選択します。

オプション	操作
カスタム語を設定する	<ul style="list-style-type: none">● カスタム語を表示するには、[マイワード]→[ワードリスト]の順に選択します。● カスタム語を編集するには、[マイワード]→[へんしゅう]を選択します。● カスタム語を追加するには、[マイワード]→[しんきついか]の順に選択します。● カスタム語を削除するには、[マイワード]→<[必要なワード]>→[削除]を選択します。● すべてのカスタム語を削除するには、[マイワード]→[すべて削除]の順に選択します。

結果:

- [よそく]、[もじしゅうせい]、または[おおもじ]を選択すると、[ゆうこう]の隣に✓が表示されます。
- [マイワード]を選択すると、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示されます。

10.20

音声起動送信 (VOX)

音声起動送信 (VOX) により、プログラムされたチャンネルでハンズフリーの音声起動通信を開始できます。VOX 対応アクセサリが音声を検出すると、無線機は事前設定された期間、自動的に送信します。



注:

この機能は、同じ周波数の市民バンドチャンネルには適用されません。
詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

10.20.1

音声起動送信の設定

手順:

1. メニューから [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[VOX]の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - VOX を有効にするには、[オン]を選択します。
 - VOX を無効にするには、[オフ]を選択します。

結果: VOX がオンの場合、ディスプレイで [オン] の隣に✓が表示されます。

10.21

ケーブルタイプの選択

手順:

1. メニューから、 [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[ケーブルタイプ]の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - Motorola
 - データ

- テレメータ
- マルチボタン プッシュトゥーク (MB PTT)
- データ/音声

結果:

ディスプレイの選択した設定の横に ✓ が表示されます。

第 11 章

無線機通信のタイプ

無線機で使用可能な通信のタイプとシステムに応じて、無線機で通信を発信する方法にはいくつかあります。

表 19: 無線機通信のタイプ

通信タイプ	Capacity Max	従来型モード	IP Site Connect	Capacity Plus
グループ通信 グループ通信は、ポイントツーマルチポイント通信操作です。相互に通信するには、無線機がグループのメンバーとして設定されている必要があります。	✓	✓	✓	✓
ブロードキャスト通信 ブロードキャスト通信は、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通信です。 ブロードキャスト通信機能では、通信を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通信の受信者は応答できません。	✓	✓	✓	✓
個別通信 個別通信とは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通信です。 個別通信には 2 種類あります。 <ul style="list-style-type: none"> ● OACSU (Off Air Call Set-Up) ⁶ ● FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) ⁷ 	✓	✓ ⁸	✓	✓
一斉通信 一斉通信は、1 台の無線機からサイトの各無線機またはサイト グループの各無線機への通信です。重要なお知らせに使用されます。	✓	✓	✓	✓
選択通信 選択通信とは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通信です。アナログ システムでは個別通信です。	✗	✓ ⁹	✗	✗

⁶ OACSU は、無線機プレゼンス チェックを実行した後に通信を設定し、通信を自動的に完了します。

⁷ FOACSU は、無線機プレゼンス チェックを実行した後に通信を設定します。FOACSU の通信は、通信の完了にユーザーの確認を必要とし、ユーザーは通信を許可するか拒否するかを選択することができます。

⁸ デジタルのみ

⁹ アナログ専用

通信タイプ	Capacity Max	従来型モード	IP Site Connect	Capacity Plus
未アドレス通信 未アドレス通信とは、事前に定義された 16 のグループ ID のいずれかに対するグループ通信です。	✗	✓ ⁸	✓	✗
オープン音声チャンネル モード (OVCM) OVCM とは、グループまたは個別通信中に特定のシステムで動作するように事前に設定されていない無線機からの通信です。OVCM グループ通信はブロードキャスト通信に対応しています。	✗	✓ ⁸	✓	✗

通信が中断されると、連続した通信禁止音が聞こえます。PTT ボタンを放すと、通信を受信できます。

チャンネルフリー指示機能は、ディーラーが無線機でプログラムできます。チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、受信者が PTT ボタンを放したときに、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。



注:

5 トーン通信を発信する場合は、ソフトウェア ライセンス キーを別途購入する必要があります。

11.1

無線機で通信を発信する

手順:

通信のタイプに基づいて、次のいずれかの操作を実行します。

オプション	操作
グループ通信、個別通信、アドレス指定されていない通信、選択通信または OVCM 通信の発信	a. アクティブな ID またはエイリアスがあるチャンネルを選択します。 b. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。 c. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。 d. 受信するには、PTT ボタンを放します。
ブロードキャスト通信または一斉通信の発信	a. アクティブなグループ ID またはエイリアスがあるチャンネルを選択します。 b. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。

無線機が、音声アクティビティを事前に設定された期間検出しない場合、通信は終了します。

11.2

連絡先リストを使用した発信

手順:

通信のタイプに基づいて、次のいずれかの操作を実行します。

オプション	操作
連絡先リストを使用したグループ通信または個別通信の発信	<ol style="list-style-type: none">メニューから  [れんらく さき] を選択します。下記の操作のいずれかを実行します。<ul style="list-style-type: none">エイリアス検索を実行するには、エイリアスに必要な文字を入力します。エイリアスを手動で検索するには、4 方向ナビゲーション ボタンで連絡先リストを下にスクロールします。呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。受話するには、PTT ボタンを放します。
連絡先リストを使用したブロードキャスト通信または一斉通信の発信	<ol style="list-style-type: none">メニューから  [れんらく さき] を選択します。下記の操作のいずれかを実行します。<ul style="list-style-type: none">エイリアス検索を実行するには、エイリアスに必要な文字を入力します。エイリアスを手動で検索するには、4 方向ナビゲーション ボタンで連絡先リストを下にスクロールします。呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
連絡先リストを使用した選択通信の発信	<ol style="list-style-type: none">メニューから  [れんらく さき] → [MDC] を選択します。4 方向ナビゲーション ボタンで <[必要なエイリアス]> に移動します。呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。

11.3

ダイアルによる発信

次の手順は、個別通信にのみ適用されます。

手順:

1. メニューから  [れんさくさき]→[手動ダイヤル]→[むせんきばんごう] の順に選択します。
2. ID を入力または編集するには、必要な番号を入力します。
3. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。
4. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
5. 受話するには、PTT ボタンを放します。

11.4

プログラム可能な数値キーを使用した発信

手順:

通信のタイプに基づいて、次のいずれかの操作を実行します。

オプション	操作
プログラム可能な数値キーを使用したグループ通信または個別通信の発信	<ol style="list-style-type: none">a. ホーム画面で、事前定義されたエイリアスに通信するには、プログラムされた数値キーを押し続けます。b. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。c. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。d. 受話するには、PTT ボタンを放します。
プログラミング可能な数値キーを使用したブロードキャスト通信または一斉通信の実行	<ol style="list-style-type: none">a. ホーム画面で、事前定義されたエイリアスに通信するには、プログラムされた数値キーを押し続けます。b. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。c. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。

11.5

無線機での通信の受信と応答

通信を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

- ディスプレイに ID、エイリアス、通信ステータスが表示されます。



注: ブロードキャスト通信または一斉通信には応答できません。ブロードキャスト通信の場合、PTT ボタンを押すと、ディスプレイに [トークバック禁止] と表示され、トークバック禁止音が鳴ります。

手順:

1. 応答するには、PTT ボタンを押し続けます。
2. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
3. 受信するには、PTT ボタンを放します。

11.6

個別通信の受け入れまたは拒否

Full Off Air Call Set-Up (FOACSU) として設定された個別通信を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイにエイリアスと個別通信アイコンが表示されます。

個別通信の受信

手順:

1. 個別通信を受け入れるには、以下のいずれかの操作を行います。
 - **[許可]** を選択します。
 - PTT ボタンを押し続けます。
2. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
3. 受話するには、PTT ボタンを放します。

個別通信の拒否

手順:

個別通信を拒否するには、以下のいずれかの操作を行います。

- **[拒否]** を選択します
- **バック/ホーム** ボタンを選択します。
- キーパッドなし無線機の場合は、プログラムされた **[キャンセル]** ボタンを押します。

第 12 章

電話通話

電話通話は、個別の無線機または無線機グループと電話機との間の通信です。

無線機の設定方法によって、以下の機能が利用できる場合とできない場合があります。

- アクセスコード。
- デュアルトーンマルチ周波数 (DTMF) トーン。
- ディアクセスコード。
- 電話通信受信時の発信者のエイリアスまたは ID の表示。
- 電話通信を受けるか受けないかを選択できる機能。

電話通話機能は、システムで電話番号を割り当てて設定することによって有効にすることができます。無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

12.1

電話通話の発信

手順:

1. メニューから、**[電話]**→<[必要な ID]>→<[アクセスコード]>を選択します。
2. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。
3. 受話するには、PTT ボタンを放します。
4. 通話中に、必要に応じて下記の操作のどちらかを実行できます。
 - キーパッドを使用して、追加の数字を入力します。
 - 通信を終了するには、**バック/ホーム** ボタンを選択します。
 - コードへのアクセスを解除するには、ディスプレイに [ディアクセスコード:] と表示されているときに、**キーパッド**を使用してディアクセスコードを入力します。

結果: 通信が正常に終了した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [つうわしゅうりょう] と表示されます。

12.2

連絡先リストを使用した通話

手順:

1. メニューから、 **[れんらくさき]** の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - エイリアス検索を実行するには、エイリアスに必要な文字を入力します。
 - エイリアスを手動で検索するには、**4方向ナビゲーション** ボタンで連絡先リストを下にスクロールします。
3. **[つうわ]**→<[アクセスコード]>を選択します。

4. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。
5. 受話するには、PTT ボタンを放します。
6. 通話中に、下記の操作のどちらかを実行します。
 - キーパッドを使用して、追加の数字を入力します。
 - 通信を終了するには、バック/ホーム ボタンを選択します。
 - コードへのアクセスを解除するには、ディスプレイに [ディアアクセス コード:] と表示されているときに、ディアアクセス コードを入力します。

結果: 通信が正常に終了した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディ스플레이に [つうわしゅうりょう] と表示されます。

12.3

ダイアルによる通話

手順:

1. メニューから、 [れんさくさき] → [手動ダイヤル] → [電話番号] の順に選択します。
2. 電話番号と <アクセス コード> を入力します。
3. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。
4. 受話するには、PTT ボタンを放します。
5. 通話中に、下記の操作のどちらかを実行します。
 - キーパッドを使用して、追加の数字を入力します。
 - 通信を終了するには、バック/ホーム ボタンを選択します。
 - コードへのアクセスを解除するには、ディスプレイに [ディアアクセス コード:] と表示されているときに、ディアアクセス コードを入力します。

結果: 通信が正常に終了した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ディ스플레이に [つうわしゅうりょう] と表示されます。

12.4

デュアル トーン マルチ周波数

デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) 機能を使用すると、無線機システム内で電話機システムを操作できません。

12.4.1

DTMF トーンの開始

手順:

1. PTT ボタンを押し続けます。
2. DTMF トーンを開始するには、次のいずれかの操作を実行します。
 - <必要な数値> を入力します。

- * または # ボタンを押します。



注: すべての無線機トーンと警告を無効にすると、DTMF トーンが自動的にオフになります。

12.5

コールの受信と応答

通信を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。
- ディスプレイに、電話通信アイコンと通信ステータスが表示されます。

手順:

1. 通信に応答するには、PTT ボタンを押し続けます。
2. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
3. 受話するには、PTT ボタンを放します。
4. 通信を終了するには、**バック/ホーム** ボタンを選択します。



注: お使いの無線機では、電話通話をグループコールとして終了することはできません。電話機ユーザーが通話を終了する必要があります。受信ユーザーは、通話中にトークバックのみを行うことができます。

結果: 通信が正常に終了した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [つうわしゅうりょう] と表示されます。

第 13 章

音声録音

この機能により、無線機は有効な受信音声通信を録音できます。

無線機は受信したすべてのトークバック送信を個別の音声ファイルに記録します。

各録音の最大持続時間は 2 分です。2 分を超える受信通信の場合、通信が継続中であっても、無線機は録音を停止します。

無線機は、最大 5 つの有効な受信通信を記録して保存できます。最大数に達すると、最も古い録音が削除されます。



注: 音声ファイルを手動で削除することはできません。音声ファイルは、無線機プログラミングソフトウェアを使用してのみ削除できます。詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

13.1

音声再生へのアクセス

前提条件: 無線機プログラミングソフトウェアで **[音声録音]** を有効にしていることを確認します。

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
[メニュー/OK] ボタンの使用による音声再生へのアクセス	<ol style="list-style-type: none">音声再生するには、 [再生] → [メニュー/OK] → <[必要な音声]> を選択します。音声を停止するには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

オプション	操作
<p>プログラム可能ボタンの使用による音声再生へのアクセス</p>	<p>音声を再生または停止するには、プログラムされた [すべて再生]/[音声再生を停止] または [最新を再生]/[次の音声] を押します。</p> <p> 注:</p> <ul style="list-style-type: none">● 音声の再生中にプログラムされた [すべて再生]/[音声再生を停止] を押すと、無線機は進行中の再生を停止します。● 再生が進行中でないときに、プログラムされた [すべて再生]/[音声再生を停止] を押すと、無線機はリスト内のすべての音声を再生します。● プログラムされた [最新を再生]/[次の音声] を押して音声のリストを再生すると、無線機は次の音声にスキップします。● 再生が進行中でないときに、プログラムされた [最新を再生]/[次の音声] を押すと、無線機はリスト内の最新の音声を再生します。

第 14 章

内部無線機スピーカと有線アクセサリの間のオーディオ ルートの切り替え

前提条件:

スピーカ付き有線アクセサリを無線機に接続します。

オーディオが外部 Bluetooth アクセサリにルーティングされていないことを確認します。

手順:

プログラムされた **[音声切替]** ボタンを押して、無線機の内蔵スピーカと有線アクセサリのスピーカの間でオーディオ ルートを切り替えます。



注: 無線機の電源を切るかアクセサリを取り外すと、無線機の内部スピーカへのオーディオ ルーティングがリセットされます。

結果:

オーディオ ルートを切り替えると、トーンが鳴ります。

第 15 章

接続

デバイスは、さまざまな種類の接続を介して他のデバイス、アクセサリ、またはネットワークに接続できません。

15.1

Wi-Fi 操作

Wi-Fi® は、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。無線機のファームウェア、コードプラグ、言語パックおよび音声ガイドを更新するために、Wi-Fi ネットワークをセットアップして接続できます。

 **注:** Wi-Fi 機能は R7a モデルには適用されません。

お使いの無線機は次の Wi-Fi ネットワークをサポートしています。

Wi-Fi Enhanced Open

カフェ、ホテル、空港などのオープンでパスワード保護されていないネットワークで暗号化とプライバシーを提供する、公共ネットワーク向けの新しい WPA セキュリティ標準です。

WPA/WPA2/WPA3-エンタープライズ Wi-Fi ネットワーク

エンタープライズ ネットワーク向けに設計されており、RADIUS 認証サーバーが必要です。証明書ベースの認証が導入されていてクライアント証明書の検証が必要な場合は、無線機で証明書を事前設定しておく必要があります。

 **注:** 業界の最新のセキュリティ推奨事項に従って Wi-Fi システムを設定するか、エンタープライズ Wi-Fi を使用します。

15.1.1

Wi-Fi のオンとオフの切り替え

手順:

1. メニューから  [Wi-Fi] → [Wi-Fi ステータス] を選択します。
2. Wi-Fi をオンまたはオフにするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

結果:

Wi-Fi がオンの場合、ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

Wi-Fi がオフの場合、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

15.1.2

指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオンにする

手順:

1. 下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
連絡先リストで必要な ID またはエイリアスを選択する	メニューから、  [れんらくさき] → <[必要な ID またはエイリアス]> を選択します。

オプション	操作
手動ダイヤルに必要な ID またはエイリアスを選択する	a. メニューから、  [れんさくさき]→[手動ダイヤル]→[むせんきばんごう]の順に選択します。 b. ID を入力します。 c. メニュー/OK ボタンを選択します。
連絡先リストに必要なグループ ID またはエイリアスを選択する	メニューから、  [れんらくさき]→<[必要なグループ ID またはエイリアス]>→[Wi-Fi 制御]を選択します。

2. [Wi-Fi 制御] を選択します。
3. Wi-Fi をオンにするには、[オン] を選択します。

結果:

Wi-Fi がオンの場合、ディスプレイに  が表示されます。

Wi-Fi がオンにならない場合、ディスプレイに  が表示されます。

15.1.3

指定された無線機を使用してリモートで Wi-Fi をオフにする

手順:

1. 下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
連絡先リストに必要な ID またはエイリアスを選択する	メニューから、  [れんらくさき]→<[必要な ID またはエイリアス]>を選択します。
手動ダイヤルに必要な ID またはエイリアスを選択する	a. メニューから、  [れんさくさき]→[手動ダイヤル]→[むせんきばんごう]の順に選択します。 b. ID を入力します。 c. メニュー/OK ボタンを選択します。
連絡先リストに必要なグループ ID またはエイリアスを選択する	メニューから、  [れんらくさき]→<[必要なグループ ID またはエイリアス]>→[Wi-Fi 制御]を選択します。

2. [Wi-Fi 制御] を選択します。
3. Wi-Fi をオフにするには、[オフ] を選択します。

15.1.4

ネットワーク アクセス

15.1.4.1

ネットワーク アクセス ポイントへの接続

Wi-Fi をオンにすると、無線機がネットワーク アクセス ポイントをスキャンして接続します。

手順:

1. メニューから、 [Wi-Fi] → [ネットワーク] → <[必要なネットワーク アクセス ポイント]> → [接続] を選択します。



注: WPA エンタープライズ Wi-Fi で、ネットワーク アクセス ポイントが事前に設定されていない場合、[せつぞく] オプションは使用できません。

2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - WPA パーソナル Wi-Fi の場合、パスワードを入力します。
 - WPA エンタープライズ Wi-Fi の場合、WPA は無線機プログラミング ソフトウェアを使用して設定されます。

パスワードが正しい場合、無線機は自動的に選択したネットワーク アクセス ポイントに接続します。パスワードが正しくない場合、ディスプレイに [認証失敗] と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

結果:

接続に成功すると、無線機にポジティブ通知が表示され、ネットワーク アクセス ポイントがプロファイル リストに自動的に保存されます。

接続に失敗すると、無線機にネガティブ通知画面が表示され、前のメニューへ戻ります。

15.1.4.2

Wi-Fi 接続ステータスの確認

手順:

プログラムされた **Wi-Fi ステータス** ボタンを押します。

結果:

Wi-Fi 接続がオンでネットワークに接続されている場合、無線機には次の通知が表示されます。

- Wi-Fi がオンになっていることを示す音声プロンプト。
- ディスプレイに [Wi-Fi オン、接続済み] と表示されます。

Wi-Fi 接続がオンになっているが、ネットワークに接続されていない場合、無線機には次の通知が表示されません。

- Wi-Fi がオンになっていることを示す音声プロンプト。
- ディスプレイに [Wi-Fi オン、切断済み] と表示されます。

Wi-Fi 接続がオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- Wi-Fi がオフになっていることを示す音声プロンプト。
- ディスプレイに [Wi-Fi オフ] と表示されます。

15.1.4.3

ネットワーク リストの更新

手順:

メニューから  [WiFi]→[ネットワーク]→[更新] を選択します。

結果: 無線機に最新のネットワーク リストが表示されます。

15.1.4.4

ネットワークの追加



注: このタスクは、WPA エンタープライズ Wi-Fi ネットワークには適用されません。

手順:

1. メニューから  [WiFi]→[ネットワーク]→[ネットワーク追加] を選択します。
2. サービスセット識別子 (SSID) を入力します。
3. [WPA/WPA2] を選択します。
4. パスワードを入力します。
5. **メニュー/OK** ボタンを選択します。

結果: ディスプレイにミニ ポジティブ通知が表示されます。

15.1.4.5

ネットワーク アクセス ポイントの詳細の表示

手順:

メニューから、 [WiFi]→[ネットワーク]→<[必要なネットワーク アクセス ポイント]>→[しょうさい] を選択します。

結果:

WPA パーソナル Wi-Fi ネットワークの場合、無線機には次の詳細が表示されます。

- 接続されているネットワーク アクセス ポイントの場合、無線機には次の情報が表示されます。
 - サービスセット識別子 (SSID)
 - セキュリティ
 - メディア アクセス制御 (MAC) アドレス
 - インターネット プロトコル (IP) アドレス
- 接続されていないネットワーク アクセス ポイントについては、次に関する情報が無線機に表示されます。
 - SSID
 - セキュリティ

WPA エンタープライズ Wi-Fi ネットワークの場合、無線機には次の詳細が表示されます。

- 接続されているネットワーク アクセス ポイントの場合、無線機には次の情報が表示されます。
 - SSID
 - セキュリティ
 - ID

- 拡張認証プロトコル (EAP) 方式
- フェーズ 2 認証
- 証明書名
- MAC アドレス
- IP アドレス
- ゲートウェイ
- DNS1
- DNS2
- 接続されていないネットワーク アクセス ポイントについては、次に関する情報が無線機に表示されます。
 - SSID
 - セキュリティ
 - ID
 - EAP 方式
 - フェーズ 2 認証
 - 証明書名

15.1.4.6

ネットワーク アクセス ポイントの削除



注: このタスクは、WPA エンタープライズ Wi-Fi ネットワークには適用されません。

手順:

メニューから、 [WiFi]→[ネットワーク]→<[必要なネットワーク アクセス ポイント]>→[削除]→[はい]を選択します。

結果: ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

15.1.5

エンタープライズ Wi-Fi ネットワークへのアクセス

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ]→[証明書メニュー]→[証明書] の順に選択します。3.
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 証明書を登録するには、[登録] を選択します。
 - パスワードを更新するには、[パスワード]→<[新しいパスワード]>→[メニュー/OK] を選択します。
 - 証明書の詳細を表示するには、[詳細の表示] を選択します。

結果:

証明書の登録が正常に完了すると、[証明書] の隣に ✓ が表示されます。3 を参照してください。

証明書の登録に失敗すると、エラー メッセージが表示され、前のメニューに戻ります。

パスワードが正常に更新されると、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

証明書の準備ができていない場合は、詳細のリストを表示できます。

証明書の準備ができていない場合は、ステータスのみを表示できます。

15.2

Bluetooth®

この機能を使用すると、無線機は Bluetooth 接続を介して任意の Bluetooth 対応デバイスに接続できます。

 注: Bluetooth 機能は R7a モデルには適用されません。

無線機とブルートゥース対応デバイスとの間に障害物が何もないことを確認してください。信頼性を高めるために、Motorola Solutions では無線機と Bluetooth 対応デバイスを離さないことをお勧めします。

音声やトーンの品質が歪む場合や不明瞭な場合は、無線機とブルートゥース対応デバイスを近づけて、明瞭な音声にしてください。

無線機は、異なる種類の Bluetooth 対応デバイスとの Bluetooth 接続を同時に 3 接続までサポートできます。無線機は、信号強度が最も高いか、最後に接続されたデバイスのいずれかで、通信範囲内の Bluetooth 対応デバイスに接続します。

すべての機能の詳細については、それぞれの Bluetooth 対応デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

 注:

- サーチ動作中は、Bluetooth 対応デバイスの電源を切ったり、[バック/ホーム] ボタンを選択したりしないでください。動作が取り消されます。
- 最新の Bluetooth アクセサリ (v5.0 以降) を使用して、接続のセキュリティを強化します。
- Bluetooth デバイスを使用する場合は、常に Bluetooth セキュリティのベスト プラクティスを採用します。

15.2.1

Bluetooth のオンとオフの切り替え

Bluetooth をオンにする

手順:

メニューから  [Bluetooth] → [自分の状態] → [オン] を選択します。

結果: Bluetooth がオンの場合、ディスプレイの [Bluetooth オン] の隣に  が表示されます。

Bluetooth をオフにする

手順:

メニューから  [Bluetooth] → [自分の状態] → [オフ] を選択します。

結果: Bluetooth がオフになっている場合は、ディスプレイの [Bluetooth オフ] の隣に  が表示されます。

15.2.2

Bluetooth デバイスへの接続

手順:

1. メニューから  [Bluetooth] を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。

- 既存のデバイスに接続するには、**[デバイス]**→<[必要なデバイス]>→**[接続]**の順に選択します。
- 新しいデバイスに接続するには、**[デバイス]**→**[デバイス サーチ]**→<[必要なデバイス]>→**[せつぞく]**の順に選択します。
- 検出可能モードでデバイスに接続するには、**[Find Me]**を選択します。

結果:

Bluetooth デバイスが無線機に正常に接続されると、無線機には次の通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに <[デバイス]>接続済み] と **[Bluetooth 接続済み]** アイコンが表示されます。

Bluetooth デバイスが無線機への接続に失敗すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- 無線機のディスプレイに [接続失敗] と表示されます。

**注:**

- Bluetooth 接続トーンはデフォルトで有効になっています。無線機プログラミング ソフトウェアを使用して、Bluetooth 接続トーンを無効にすることができます。
- それでも Bluetooth デバイスが無線機に接続されていない場合は、Bluetooth をオフにしてから再度オンにするか、無線機と Bluetooth デバイスの両方の Bluetooth ペアリングをクリアして、接続の問題を回避できます。

15.2.3

Bluetooth デバイスからの切断**手順:**

メニューから  **[Bluetooth]**→**[デバイス]**→<[必要なデバイス]>→**[せつだん]**の順に選択します。

結果:

無線機には次の通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 無線機のディスプレイに、<[デバイス]>[切断済み] と表示されます。



注: Bluetooth 切断トーンはデフォルトで有効になっています。無線機プログラミング ソフトウェアを使用して、Bluetooth 切断トーンを無効にすることができます。

15.2.4

内部無線機スピーカと Bluetooth デバイスの間のオーディオルートの切り替え**手順:**

プログラムされた **[Bluetooth オーディオ切り替え]** ボタンを押します。

結果:

オーディオが内蔵無線機スピーカにルーティングされると、ディスプレイに [おんせい > むせんき] と表示されます。

オーディオが Bluetooth デバイスにルーティングされると、ディスプレイに [おんせい > Bluetooth] と表示されます。

15.2.5

デバイスの詳細の表示

手順:

メニューから  [Bluetooth] → [デバイス] → <[必要なデバイス]> → [しょうさい] の順に選択します。

15.2.6

デバイス名の編集

手順:

メニューから  [Bluetooth] → [デバイス] → <[必要なデバイス]> → [ネームヘンシュウ] → <[新しい名前]> を選択します。

結果:

ディスプレイに ✓ と新しいデバイス名が表示されます。

15.2.7

デバイスの削除

前提条件: デバイスを切断します。

手順:

メニューから  [Bluetooth] → [デバイス] → <[必要なデバイス]> → [さくじょ] の順に選択します。

結果: ディスプレイに ✓ が表示されます。

15.2.8

Bluetooth プロファイル

お使いの無線機は、幅広い Bluetooth サービスをサポートしています。

表 20: Bluetooth プロファイル

プロファイル	説明
シリアル ポート プロファイル (SPP)	SPP デバイス (バーコード スキャナなど) へのアクセスを提供します。SPP を使用すると、接続されている各デバイスは、相互に接続されている RX および TX 回線があるかのようにデータを送受信できます。
一般的な属性プロファイル (GATT)	Bluetooth Low Energy (BLE) プロトコルのプロファイル検出および説明サービスを許可します。
ヘッドセット プロファイル (HSP)	電話をかけたり、通話に応答したり、電話を切ったり、音量を調整したりする機能を備えた携帯電話で使用される一般的な Bluetooth ヘッドセットをサポートします。
パーソナル エリア ネットワーク (PAN)	デバイスが他のデバイス (たとえば、ラップトップ) とインターネット接続を共有し、別のデバイス (たとえば、Bluetooth 対応電話) で共有されるインターネットにアクセスできるようにします。

プロフィール	説明
デュアルモード: Bluetooth Classic および Bluetooth Low Energy	WM500 (HSP + GATT) などのデュアルモード デバイスのサポートを提供します。HSP は音声に使用され、GATT はボタンのコントロールに使用されます。

第 16 章

緊急操作

緊急アラームは、重大な状況を示すために使用されます。緊急アラームは、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、随時開始できます。

各チャンネルの緊急ボタンに割り当てることができる緊急モードのタイプは 1 つだけです。無線機は、次の緊急モードをサポートしています。

表 21: 緊急モード

緊急モード	説明
緊急アラーム	緊急アラームは音声通信ではありません。このアラームは、受信するようにプログラムされている無線機に送信される緊急通知です。
通信による緊急アラーム	お使いの無線機が、緊急アラームを送信します。緊急アラームが承認されると、無線機グループは割り当てられた緊急チャンネルを介して通信できます。話すには、PTT ボタンを長押しします。
音声ガイドによる緊急アラーム	お使いの無線機が、緊急アラームを送信します。緊急アラームを承認すると、無線機のマイクが自動的にアクティブになります。これはホット マイクと呼ばれます。ホット マイクを使用すると、PTT ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。  注: <ul style="list-style-type: none">● 緊急サイクル モードが有効な場合、プログラムされた期間、ホット マイクと受信期間が繰り返されます。● プログラムされたホット マイクの受信期間中に PTT ボタンを押し続けると、無線機は通信を開始し、ホット マイクの受信期間タイマーを停止します。無線機は緊急モードを保ちます。PTT ボタンを離すと、ホット マイクの受信期間タイマーが再開します。● 緊急アラームのリクエストに失敗すると、無線機はそのリクエストを再送信せず、直接ホット マイクに入ります。
サイレント緊急アラーム	無線機が緊急通知を送信しますが、音声インジケータや視覚的インジケータは示されません。
通信によるサイレント緊急アラーム	無線機が緊急通知を送信しますが、音声インジケータや視覚的インジケータは示されません。無線機では、PTT ボタンを押し続けて通信するまで、緊急のすべての音声インジケータと視覚インジケータが抑制されます。
音声ガイドによるサイレント緊急アラーム	無線機が緊急通知を送信しますが、音声インジケータや視覚的インジケータは示されません。緊急アラームが承認されると、ホット マイクが有効になります。PTT ボタンを押さなくても、無線機グループと通信できます。  注: PTT ボタンを押したときにのみ、インジケータが表示されます。

販売店は、緊急オンまたはオフ機能、および緊急ボタンを押す長さを設定できます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

販売店は緊急検索トーンをプログラムできます。トーンがプログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、無線機の緊急モードが終了すると停止されます。

16.1

緊急アラームの送信

手順:

プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

無線コントロール ウィジェットに、[Tx アラーム] とグループ ID またはエイリアスが表示されます。

結果:

アラームが正常に送信されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線コントロール ウィジェットに [アラーム そうしん] と表示されます。

すべての再試行後にアラームの送信が失敗した場合、無線機には次の通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- 無線コントロール ウィジェットに [アラーム NG] と表示されます。

16.2

通信による緊急アラームの送信

手順:

1. プログラムされた **[緊急]** ボタンを押します。

アラームが正常に送信されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線コントロール ウィジェットに、[アラーム そうしん] および [きんきゅう:] とグループ ID またはエイリアスが表示されます。

2. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。
3. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
4. 受信するには、PTT ボタンを放します。

無線機が、音声アクティビティを事前に設定された期間検出しない場合、通信は終了します。

16.3

緊急アラームと音声ガイドの送信

手順:

1. プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

アラームが正常に送信されると、緊急トーンが鳴り、ホット マイクが有効になります。

2. PTT ボタンを押さずにマイクに向かって話します。

次の場合、無線機は自動的に送信を終了します。

- 緊急サイクル モードが有効で、ホット マイクと通信受信のサイクルの期限が切れた場合。

- 緊急サイクル モードが無効で、ホット マイクの期限が切れた場合。

16.4

緊急アラームへの応答

緊急アラームには、一度に1つしか応答できません。複数のアラームを受信した場合、2番目の緊急アラームは1番目のアラームより優先されます。

緊急アラームを受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅する。
- **無線コントロール ウィジェット**と**通知ウィジェット**には、[EA じゅしん] および送信無線機の緊急グループ ID またはエイリアスが表示されます。



注: 無線機が複数の緊急アラームを受信すると、**無線コントロール ウィジェット**と**通知ウィジェット**には、送信側無線機の最新の緊急グループ ID またはエイリアスのみが表示されます。

前提条件: 緊急アラーム表示を有効にします。

手順:

緊急通知を受信したら、次のいずれかの操作を実行します。

オプション	操作
緊急アラームの対象と同じグループに非緊急音声で応答する	<ol style="list-style-type: none">PTT ボタンを押し続けます。通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。受話するには、PTT ボタンを放します。 <p> 注: 緊急アラームの送信者のみが緊急音声を送信できます。すべての受信者は非緊急音声を送信し、他の無線機が同じグループで緊急アラームを送受信できるようにします。</p>
緊急アラーム リストを削除することによる緊急アラームの終了	<ol style="list-style-type: none">緊急アラーム リストをホーム画面から表示するには、次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">● ダウン ボタン→[メニュー/OK] ボタンを選択します。● メニュー/OK ボタンを選択します。緊急アラーム リストを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。<ul style="list-style-type: none">● 緊急アラームを1件受信した場合は、[メニュー/OK] ボタン→[はい] を選択します。● 複数の緊急アラームを受信した場合は、<[必要なグループ ID またはエイリアス]>→[メニュー/OK] ボタン→[はい] を選択します。

オプション	操作
緊急アラームの終了	バック/ホーム ボタンを選択します。

結果:

緊急アラームの対象となっている同じグループに非緊急音声で応答した場合、緊急アラームの送信者が応答すると、無線機に次の通知が表示されます。

- Capacity Max では、赤色の LED が点滅します。
- 他のシステムでは、緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイには、緊急グループ ID と送信無線機 ID が表示されます。

16.5

通信による緊急アラームへの応答

通信による緊急アラームを受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急通信表示および緊急通信復号化トーンが有効になっている場合は、緊急通信トーンが鳴ります。
- 無線コントロールウィジェットと通知ウィジェットには、[EA じゅしん] および送信無線機の緊急グループ ID またはエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信がスピーカから再生されます。

手順:

1. PTT ボタンを押し続けます。
2. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
3. 受話するには、PTT ボタンを放します。

結果:

緊急事態の送信者が応答すると、無線機には次の通知が表示されます。

- Capacity Max では、赤色の LED が点滅します。
- 他のシステムでは、緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイには、緊急グループ ID と送信無線機 ID が表示されます。

16.6

緊急モードの終了

緊急モードの終了は、Capacity Max でのみ使用できます。次の状況が発生すると、無線機は自動的に緊急モードを終了します。

- システムから確認応答を受信した場合 (緊急アラームの場合のみ)。
- アラームを送信するすべての再試行が失敗した場合。
- 無線機の電源をオフにした場合。無線機の電源を入れても、緊急モードは自動的に再開されません。
- 現在のチャンネルを緊急事態でないチャンネルに変更した場合。

手順:

プログラムされた [きんきゅうオフ] ボタンを押し続けます。

結果:

緊急事態が正常に終了すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが停止します。

- 赤色の LED が消灯します。
- 確認応答を受信すると、**無線コントロール ウィジェット**に [きんきゅうキャンセル] と表示され、ホーム画面に戻ります。
- 確認応答を受信しないと、**無線コントロール ウィジェット**に [緊急キャンセルしっばい] と表示され、ホーム画面に戻ります。



注: [緊急モードのキャンセル] 設定が送信無線機で有効になっている場合は、受信無線機の緊急アラームが停止して、ステータスが受信無線機のアラーム リストに追加されます。

第 17 章

フォール アラート

転倒警報機能を使用すると、危険にさらされたときに無線機から他の人に警告を出すことができます。

無線機が指定された角度に傾いたり、動いたり、一度停止したりすると、アラート トーンが鳴ります。事前に定義された通知タイマーの期限が切れる前にプロンプトに応答しない場合、無線機は自動的に緊急アラームまたは緊急通信を送信します。

無線機が緊急モードを発動しないようにするには、次の方法を実行します。

- チルト アラームの場合は、無線機を垂直位置に戻す必要があります。
- 移動アラームでは、無線機の移動を停止する必要があります。
- 移動防止アラームの場合は、無線機を移動する必要があります。

複数のフォール アラート アラームが有効になっている場合、無線機は最初の動作違反を検出したときにアラート トーンを再生します。



注:

フォール アラート アラームは、フォールバック モードでの動作時はサポートされません。

17.1

フォール アラート機能のオンとオフの切り替え

フォール アラート機能をオンにする

手順:

メニューから [ ユーティリティ] → [きのうせってい] → [転倒警報機能] の順に選択します。

フォール アラートをオフにする

手順:

メニューから [ ユーティリティ] → [きのうせってい] → [転倒警報機能] の順に選択します。

結果:

転倒警報機能がオンの場合、ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

転倒警報機能がオフの場合、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

第 18 章

ローンワーカー

この機能を使用すると、事前に定義した期間中にユーザー操作 (ボタンの押下やチャンネルセレクタの有効化など) がない場合に、緊急事態がトリガーされます。

無線機は、事前に定義された時間内にユーザー操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、音声インジケータで事前に警告します。

事前に定義された通知タイマーの時間が経過しても確認応答をしない場合、無線機は販売店がプログラムした緊急事態を開始します。

第 19 章

ページング操作

通信アラート ページングを使用すると、受信者にアラートを送信し、都合のよいときにコールバックを要求できます。この機能は、無線機のサブスクライバ エイリアスまたは ID にのみ適用されます。

Capacity Max の場合、ページング機能を使用すると、無線機ユーザーまたはディスパッチャに、受信可能な場合に発信者にコールバックするように通知できます。本機能は音声通信を使用しません。Off Air Call Set-Up (OACSU) 個別通信では、すぐに応答できます。Full Off Air Call Set-Up (FOACSU) 個別通信では、通信を確認する必要があります。ページング機能には OACSU タイプの通信を使用することが推奨されています。

19.1

ページングの発信

手順:

メニューから、 [れんらくさき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [ページング] を選択します。

結果:

リクエストが正常に行われた場合、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

リクエストが失敗した場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

19.2

ページングへの応答

ページングを受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイには、ページングの通知リストと発信者の ID が表示されます。

手順:

PTT ボタンを押して、個別通信で発信者に応答します。

第 20 章

通信履歴機能

無線機は、最近の発信、応答、不在の個別通信をすべて記録します。最近の通信の表示および管理を行うには、通信履歴機能を使用します。

お使いの無線機のシステム設定に応じて、不在着信アラートを通信履歴に含めることができます。各通信リストでは次のタスクを実行できます。

- 詳細の表示
- 通信の削除
- 連絡先へのエイリアスまたは ID の保存

20.1

最近の通信の表示

手順:

1. メニューから  [通話履歴] を選択します。
2. 次のいずれかのリストを選択します。
 - 不在着信
 - へんとうずみ
 - はっしん
3. リストをスクロールして通信を表示します。

結果: ディスプレイに最近のエントリが表示されます。

20.2

通信リストからのエイリアスまたは ID の保存

手順:

1. メニューから、 [つわりれき] → <[必要なリスト]> → <[必要な ID またはエイリアス]> → [ほかん] を選択します。
2. カーソルが点滅している場合は、エイリアスの残りの文字を入力します。
エイリアスなしで ID を格納することができます。

結果:

ディスプレイにレ (チェックマーク) が表示されます。

20.3

通信リストからの通信の削除

手順:

メニューから  [つわりれき] → <必要なリスト> → <必要な ID またはエイリアス> → [エントリをさくじょ?] → [はい] を選択します。



注: [いいえ] を選択すると、無線機は前の画面に戻ります。リストが空の場合はトーンが鳴り、ディスプレイに [リストがありません] と表示されます。

結果: ディスプレイに [にゅうりよくさくじょずみ] と表示されます。

20.4

通信リストからの詳細の表示

手順:

メニューから  [つわりれき] → <[必要なリスト]> → <[必要な ID またはエイリアス]> → [しょうさい] を選択します。

第 21 章

通信キュー

通信の処理に利用できるリソースがない場合、通信キューによって、次に利用可能なリソースのシステム キューに通信リクエストを加えることができます。

21.1

通信キューの受信

手順:

通信キュー トーンが聞こえるまで **PTT** ボタンを押し続けます。

結果:

トーンが聞こえ、ディスプレイに [待機中の通話] と表示されます。

通信が成功した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイに通信タイプのアイコン、ID、またはエイリアスが表示されます。

通信に失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに失敗通知画面が表示されます。
- 無線機は通信を終了し、通信設定を終了します。

第 22 章

優先通信

優先通信を使用すると、システムは、すべてのチャンネルがビジー状態のとき、優先通信ではない通信のいずれかを阻止し、高優先の通信を開始することができます。

すべてのチャンネルが高優先の通信で占有されている場合は通信を阻止せず、要求されている高優先度の通信を通信キューに入れます。システムが、要求されている高優先度の通信を通信キューに入れられない場合は、失敗の通知を発します。

優先通信のデフォルト設定は、事前に設定されています。以下の機能を使用する場合、通信の優先度は自動的に事前設定されていたレベルに戻ります。

- すべての音声通信
- DMR III テキスト メッセージ/テキスト メッセージ
- ジョブ チケット
- リモート モニタ

22.1

優先通信レベルの切り替え

手順:

プログラムされた **[通話優先度を切り替え]** ボタンを押します。

結果:

[高優先] が有効な場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- 音声ガイドが鳴ります。
- ディスプレイに [次の通話: 高優先] と表示されます。
- ホーム画面に [通信優先度: 高] アイコンが表示されます。

[通常優先] が有効な場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- 音声ガイドが鳴ります。
- ディスプレイに [次の通話: 通常優先] と表示されます。
- ホーム画面の [通信優先度: 高] アイコンが消えます。

第 23 章

連絡先設定

[れんらく さき] メニューには、無線機のアドレス帳機能があります。各エントリは、通信を発信するための ID に対応します。エントリはアルファベット順にソートされます。

各エントリでは、設定に応じてさまざまな通信タイプがサポートされます。連絡先エントリには、通信タイプ、通信エイリアス、および通信 ID 情報が表示されます。

クイックダイヤルとして、プログラム可能な数値キーにエントリを割り当てることができます。各エントリに割り当てられる数値キーの前にチェックマークが表示されます。空のインタフェースの前にチェックマークが付いている場合は、数値キーはエントリに割り当てられません。

パーソナルコンピュータ (PC) 通信と管理コンソール通信はデータ関連です。これらの通信はアプリケーションでのみ使用できます。

23.1

新規連絡先の追加

手順:

1. メニューから  [れんらく さき] → [しんき とうろく] → <[必要な連絡先タイプ]> を選択します。連絡先タイプのオプションは、[むせん リスト] または [電話 リスト] です。
2. 連絡先の番号を入力します。
3. 連絡先の名前を入力します。
4. 必要な着信音タイプを選択します。

23.2

既定の連絡先の設定



注: これは、5 トーン連絡先にのみ適用されます。

手順:

メニューから、 [れんらく さき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [しょきちにセット] を選択します。

結果:

正常に設定された場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブインジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにレ (チェックマーク) が表示されます。
- ディスプレイの選択した連絡先の横に ✓ が表示されます。

23.3

プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て

手順:

1. メニューから、 [れんらく さき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [キー プログラム] を選択します。
2. 選択した数値キーを選択します。
3. 選択した数値キーがすでにエントリに割り当てられている場合は、次のいずれかの操作を実行します。
 - 既存の数値キー割り当てを上書きするには、[はい] を選択します。
 - 既存の数値キーを保持するには、[いいえ] を選択して別の数値キーを選択します。既存の番号キー割り当てを上書きすると、無線機には次の通知が表示されます。
 - ポジティブ トーンが鳴ります。
 - ディスプレイに [れんらくさきほぞんずみ] と表示されます。

23.4

エントリとプログラミング可能な数値キー間の関連付けの削除

手順:

1. メニューから、 [れんらく さき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [キー プログラム] → [なし] を選択します。
ディスプレイに [ぜんキーからさくじょしますか] と表示されます。
2. [はい] を選択します。

結果:

ポジティブ トーンが鳴ります。ディスプレイに [れんらくさきほぞんずみ] と表示された後、前のメニューに自動的に戻ります。



注: エントリが削除されると、エントリとそのプログラミングされた数値キー間の関連付けは、削除されます。

第 24 章

通信インジケータ設定

この機能を使用すると、通信やテキストメッセージの着信音を設定できます。

24.1

テキスト付きテレメータ ステータスのオンとオフの切り替え

個別通信、テキストメッセージ、通信アラート、テキスト付きテレメータ ステータス (Capacity Max およびその他のシステム用)、および指定通信 (他のシステム用) の呼び出し音を有効または無効にできます。

着信音をオンにする

手順:

1. メニューから、 [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[トーン/アラート]→[ちゃくしんおん] を選択します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - ページング
 - 個別通信
 - せんたくコール
 - テレメータ
 - メッセージ
3. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 個別通信の着信音を有効にするには、[ゆうこう] を選択します。
 - 他のオプションに着信音を有効にする場合は、必要なトーンを選択します。

結果:

着信音を有効にすると、無線機に次のような通知が表示されます。

- [個別通信] オプションの場合、[ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
- その他のオプションの場合、ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

着信音をオフにする

手順:

1. メニューから、 [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[トーン/アラート]→[ちゃくしんおん] を選択します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - ページング
 - 個別通信
 - せんたくコール

- テレメータ
 - メッセージ
3. 下記の操作のいずれかを実行します。
- 個別通信の着信音を無効にするには、**[ゆうこう]** を選択します。
 - その他のオプションの着信音を無効にする場合は、**[オフ]** を選択します。

結果:

着信音を無効にすると、無線機に次のような通知が表示されます。

- [個別通信] オプションの場合、[ゆうこう] の隣にある  が消えます。
- その他のオプションでは、ディスプレイの [オフ] の隣に  が表示されます。

24.2

着信音スタイルの割り当て

着信トーンをパーソナライズするには、個別通信、通信アラートまたはテキストメッセージ用に、事前に定義された 11 種類の着信音のいずれかを選択します。

手順:

メニューから  **[れんらく さき]** → **<[必要な ID またはエイリアス]>** → **[ひょうじ/へんしゅう]** → **[ちゃくしんおん]** → **<[必要なトーン]>** を選択します。

24.3

アラート音タイプ

バイブ機能がサポートされていないバッテリーが振動ベルト クリップに取り付けられていない場合、[アラートタイプ] は自動的に **[着信音]** に設定されます。使用可能な [アラートタイプ] オプションは **[サイレント]** と **[着信音]** です。



注: [ぜんトーン] ステータスが有効の場合、無線機にはアラート音タイプが表示されます。[ぜんトーン] ステータスが無効である場合、[ぜんトーンしょうおん] アイコンが表示されます。

24.3.1

アラート音タイプの設定

手順:

1. メニューから、 **[ユーティリティ]** → **[きのうせってい]** → **[トーン/アラート]** → **[アラートタイプ]** を選択します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - サイレント
 - よびだしおん

24.4

警告トーンの音量を上げる

無線機通信に応答がない状態が続くと継続的に警告を発するよう、無線機をプログラムできます。この警告は、時間が経つにつれて、アラームトーンの音量が自動的に大きくなります。この機能は、Escalert と呼ばれます。

手順:

メニューから、 [ユーティリティ]→[無線機設定]→[トーン/アラート]→[Escalert] を選択します。

結果:

Escalert が有効になっている場合は、ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

Escalert が無効になっている場合は、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

第 25 章

プライバシー

この機能により、ソフトウェアベースのスクランブルソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぎます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はクリアです。

プライバシー対応で送信するには、無線機のチャンネルにプライバシーを設定する必要があります。ただし、プライバシーを設定していなくても受信はできます。

無線機のモデルによっては、プライバシー機能がない場合や、構成が異なる場合があります。詳細については、販売店にお問い合わせください。



注:

一度に割り当てることができるのは、1つのタイプのプライバシーのみです。

この機能は、同じ周波数の市民バンドチャンネルには適用されません。

次の表では、無線機に表示されるプライバシータイプと設定について説明します。

表 22: プライバシータイプと設定

タイプ	設定
対称性プライバシー ¹⁰	Sym Priv
基本プライバシー	プライバシー
拡張プライバシー	拡張プライバシー

25.1

プライバシーの設定

手順:

1. メニューから  [ユーティリティ]→[きのうせってい] の順に選択します。
2. 設定されたプライバシーの種類に応じて、プライバシー設定を選択します。
3. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - プライバシーを有効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。
 - プライバシーを無効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

結果:

プライバシーが有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

プライバシーが無効になっている場合、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

¹⁰ 以前は AES プライバシーと呼ばれていました。

25.2

秘話対応通信

秘話モード対応送信を送信するには、現在選択されているチャンネル位置で、秘話モード機能が有効になっている必要があります。プライバシー対応チャンネル上で、無線機はクリアな送信を引き続き受信できます。

現在選択されているチャンネル位置で秘話モードが有効にされている場合は、お使いの無線機から発信されるすべての音声送信がスクランブルされます。グループ通信、マルチグループ通信、スキャンされた通信間のトークバック、サイト一斉通信、緊急通信、個別通信が対象です。お使いの無線機と同じキー値とキー ID を持つ受信側無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。

プライバシー対応の通信またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側の無線機と同一タイプのプライバシー キーを無線機にプログラムする必要があります。無線機が異なるプライバシー キーを使用したスクランブル通信を受信すると、音声理解できないノイズになります。

第 26 章

スキャン

無線機のスキャン時の動作は、使用可能なサポート対象システムによって異なる場合があります。

グループ スキャン

グループ スキャンは Capacity Max で使用できます。

この機能を使用すると、無線機では、受信グループ リストに定義されているグループのコールをモニタし、これに参加できます。

スキャンが有効になっていると、受信グループ リストのメンバーに対しては、無線機のミュートが解除されます。スキャンが無効になっていると、無線機は受信グループ リストのメンバーからの通信を、一斉信、常設グループ、および選択されているグループの場合を除いて受信できません。

チャンネル スキャン

チャンネル スキャンは他のシステムで使用できます。

スキャンを開始すると、現在のチャンネルに対してプログラムされたスキャン リストが順番にスキャンされ、音声アクティビティを探します。デジタル チャンネルをお使いの場合、無線機はアナログ チャンネルにロックされます。通話中にデジタル モードからアナログ モードに自動的に切り替わります。アナログチャンネルの場合は、正反対の状況になります。

表 23: スキャン方法

方法	説明
メイン チャンネル スキャン (手動)	無線機は、スキャン リストにあるすべてのチャンネルまたはグループをスキャンします。スキャンするときは、無線機の設定に応じて、無線機で自動的に最後にスキャンしたアクティブ チャンネルまたはグループのスキャンから開始されることも、スキャンが開始されたチャンネルからスキャンが開始されることもあります。
自動スキャン (自動)	自動スキャンが有効になっているチャンネルまたはグループを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。

スキャン リストにあるグループまたはチャンネルからの通信を逃した場合は、次のような状況が発生している可能性があります。

- スキャン機能がオンになっていない。
- スキャン リスト メンバーがメニューで無効にされている。
- すでに別の通信に参加しています。
- 複数サイト システムの場合、スキャンされたグループのメンバーが現在のサイトに登録されていない。



注: 異なるゾーンの無線機がゾーン スキャン リスト メンバーの通信に参加し、応答可能になる前に通信ハング タイマーの期限が切れた場合、スキャン リスト メンバーのゾーンとチャンネルに移動し、新しい通信を開始して応答する必要があります。

26.1

スキャンのオン

手順:

メニューから  [スキャン]→[オン] を選択します。

結果:

無線機には次の通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに [スキャン オン] とスキャン アイコンが表示されます。

26.2

スキャンのオフ

手順:

メニューから  [スキャン]→[オフ] を選択します。

結果:

無線機には次の通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。
- ディスプレイに [スキャン オフ] と表示され、[スキャン] アイコンが消えます。

26.3

スキャン トークバック

トークバック機能を使用すると、スキャンの実行中に送信に応答できます。

スキャン トークバックの設定方法に応じて、選択可能なスキャンリスト内のグループを無線機がスキャンしている間に PTT ボタンを押すと、2つの異なる状況になります。

表 24: スキャン トークバック タイプ

タイプ	説明
スキャン トークバック無効	進行中のスキャンされた通信中に PTT ボタンを押すと、スキャンされた通信は終了し、新しい通信が開始されます。

タイプ	説明
スキャン トークバック有効	進行中のスキャンされた通信中に PTT ボタンを押すと、スキャンされた通信にトークバックできません。



注:

- 現在選択されているゾーンのチャンネル位置に割り当てられていないグループの通信にスキャンを修正するには、正しいゾーンに切り替えます。
- 通信のハング タイムを逃した場合は、グループのチャンネル位置を選択して、そのグループにトークバックします。

26.4

迷惑チャンネル

迷惑チャンネルは、不要な通信を継続的に生成するチャンネルです。

不要なチャンネルをスキャン リストから一時的に削除して、後で復元することができます。この機能は、選択チャンネルとして指定されているチャンネルには適用されません。

26.4.1

迷惑チャンネルの削除

前提条件: 無線機がスキャンされ、迷惑チャンネルになっていることを確認します。

手順:

1. トーンが聞こえるまで、プログラムされた **[迷惑チャンネル削除]** ボタンを押します。
2. プログラムされた **[迷惑チャンネル削除]** ボタンを放します。

26.4.2

迷惑チャンネルの復元

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- 無線機を再起動します。
- スキャン機能をオフにしてからオンにします。
- **チャンネル セレクタ** ノブでチャンネルを変更します。
- ゾーンを変更します。
- **チャンネル セレクタ** ノブでチャンネルを変更します。

26.5

投票スキャン

投票スキャン機能は、複数の基地局がさまざまなアナログ チャンネルで同じ情報を送信しているエリアを幅広くカバーします。

無線機は、複数の基地局のアナログ チャンネルをスキャンし、ポーティング (投票) プロセスを実行して最大強度の受信信号を選択します。

投票スキャン中、無線機には次のように表示されます。

- 黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに [投票スキャン] アイコンが表示されます。

26.6

優先度モニタ

優先度モニタを使用すると、無線機はグループ通信中に優先度の高いグループからの送信を受信できます。この機能は、受信グループ リストのメンバーにのみ適用されます。



注: この機能は、グループ スキャン機能が有効な場合にのみアクセスできます。

優先度グループは、優先度 1 (P1) と優先度 2 (P2) です。無線機は、次の優先度に従って送信を受信します。

1. P1 グループの緊急通信。
2. P2 グループの緊急通信。
3. 受信グループ リスト内の非優先グループの緊急通信。
4. 一斉通信。
5. P1 グループ通信。
6. P2 グループ通信。
7. 受信グループ リスト内の非優先グループ。

26.7

受信グループ リスト

受信グループ リストでは、グループ スキャン リストのメンバーの作成と割り当てができます。1 つのリストには最大 16 名含めることができます。



注: メンバーをリストに追加するには、まず無線機でグループを設定する必要があります。

Capacity Max では、スキャン リストを編集するように無線機がプログラムされている場合、下記の操作を実行できます。

- グループの優先度の追加、削除、編集。
- 加入グループの追加、削除、編集。

他のシステムの場合は、スキャン リストを編集するように無線機がプログラムされている場合、下記の操作を実行できます。

- グループの追加または削除。
- グループの優先度の追加、削除、編集。
- 加入グループの追加、削除、編集。
- 既存のスキャン リストの新しいスキャン リストへの置き換え。

グループが常設グループとしてプログラムされていると、グループはスキャン リストから編集できません。

26.8

スキャン リスト

個々のチャンネルまたはグループをスキャン リストで作成して割り当てることができます。無線機は、現在のチャンネルまたはグループのスキャン リストで指定されたチャンネルまたはグループ系列を循環して、音声アクティビティをスキャンします。スキャン リストは受信グループ リストとも呼ばれます。

フル キーパッド モデルの無線機では、最大 250 のスキャン リストを使用でき、リスト内の最大メンバー数は 16 です。キーパッドなしモデルの無線機では、最大 64 のスキャンを使用でき、リスト内の最大メンバー数は 16 です。各スキャン リストには、アナログとデジタルのエントリを混在させることができます。

メンバー ID の左側にある [優先度] アイコンには、メンバーが優先度 1 と優先度 2 のどちらのチャンネル リストに属しているかが示されます。スキャン リストに複数の優先度 1 および優先度 2 チャンネルを含めることはできません。優先度を [なし] に設定すると、アイコンは表示されません。

 **注:** この機能は Capacity Plus では利用できません。

26.8.1

スキャン リストへのアクセス

手順:

1. メニューから  [スキャン]→[リストへんしゅう] を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
アクティブなスキャン リストの設定	<p>下記の操作のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アクティブなスキャン リストがない場合は、優先するスキャン リストを選択します。 ● 新しいアクティブなスキャン リストを変更するには、<[現在のスキャン リスト]>→[アクティブなスキャン リストの設定]→<[優先するスキャン リスト]>を選択します。
スキャン リストの編集	<p>a. 必要なグループ名を選択します。</p> <p>b. 下記の操作のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スキャン リストでグループを有効にするには、[有効] を選択します。 ● スキャン リストでグループを無効にするには、[無効] を選択します。

オプション	操作
スキャン リストの優先度の編集	<p>a. <[必要なエイリアス]>→[ゆうせんど] を選択します。</p> <p>b. 必要なエイリアスの優先度を設定するには、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 優先度 1。 ● 優先度 2。 ● なし。 <p>c. 別のグループが優先度 1 または優先度 2 に割り当てられている場合は、[はい] をタップすると、[うわがき?] と表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上書きするには、[はい] を選択します。 ● 前の画面に戻るには、[いいえ] を選択します。
スキャン リストの表示	<p>下記の操作のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エイリアス検索を実行するには、必要なエイリアスを入力します。 ● エイリアスを手動で検索するには、4 方向ナビゲーション ボタンで連絡先リストを下にスクロールします。
スキャン リストへの新規エントリの追加	<p>a. [メンバー追加]→<[必要なエイリアス]> を選択します。</p> <p>b. 新しいエイリアスを希望の優先度として追加するには、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 優先度 1。 ● 優先度 2。 ● なし。 <p>c. 別のグループが優先度 1 または優先度 2 に割り当てられている場合、ディスプレイに [うわがき?] と表示されているときに、次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上書きするには、[はい] を選択します。 ● 前の画面に戻るには、[いいえ] を選択します。
スキャン リスト メンバーを削除する	<p><[必要なエイリアス]>→[さくじょ]→[はい] を選択します。</p>

26.9

フレックス RX リスト

フレックス RX リスト機能では、受信グループリストのメンバーの作成と割り当てができます。お使いの無線機は、このリストに含まれる 16 名まで対応できます。



注: この機能は Capacity Plus でのみ利用できます。

26.9.1

フレックス RX リストのオン

手順:

メニューから、 [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[フレックス RX リスト]→[オン] の順に選択します。

結果: 無線機には次の通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [フレックス RX リスト オン] と表示されます。

26.9.2

フレックス RX リストのオフ

手順:

メニューから、 [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[フレックス RX リスト]→[オフ] の順に選択します。

結果: 無線機には次の通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- ディスプレイに [フレックス RX リストオフ] と表示されます。

26.9.3

フレックス RX リストへの新規エントリの追加

手順:

1. メニューから、 [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[フレックス RX 表]→[リストへんしゅう]→[メンバーつか]→<[必要な ID またはエイリアス]> の順に選択します。
無線機に [つか?] のプロンプトが表示されます。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 新しいエントリを追加するには、[はい] を選択します。
 - 現在のエントリを保存するには、[いいえ] を選択します。

26.9.4

フレックス RX リストからエントリを削除

手順:

1. メニューから、 [ユーティリティ]→[きのうせってい]→[フレックス RX リスト]→[リストへんしゅう] の順に選択します。
2. 下記の作業のいずれかを実行して、エイリアスを検索します。
 - エイリアスの文字を入力します。
 - 4方向ナビゲーション ボタンでリストをスクロールします。
3. [さくじょ] を選択します。

4. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - ID またはエイリアスを削除するには、**[はい]** を選択します。
 - 前の画面に戻るには、**[いいえ]** を選択します。

26.10

複数グループの加入

無線機に 1 サイトで最大 7 つのグループを設定できます。

受信グループリストの 16 グループから、最大 7 つのグループを加入グループとして割り当てることができます。選択したグループおよび優先度グループは、自動的に加入として処理されます。

26.10.1

加入グループの追加

手順:

1. メニューから、 **[スキャン]**→**[リストへんしゅう]**→<[必要な ID またはエイリアス]>→**[加入の編集]**の順に選択します。
2. 加入グループを追加するには、**[オン]** を選択します。

結果:

加入が正常にシステムに追加されると、ディスプレイにミニ ポジティブ通知が表示されます。

加入に最大数の 7 つのグループを選択すると、ディスプレイに **[リストがまんぱい]** と表示されます。



注:

[リスト編集] で、グループの隣にある  アイコンは、登録が進行中であるか、加入グループの追加に失敗したことを示します。

グループの隣にある  アイコンは、加入グループが成功したことを示します。

。

26.10.2

加入グループの削除

手順:

1. メニューから、 **[スキャン]**→**[リストへんしゅう]**→<[必要な ID またはエイリアス]>→**[加入の編集]**の順に選択します。
2. 加入グループを削除するには、**[オフ]** を選択します。

結果: **[リスト編集]** で、選択したグループ ID の隣に  アイコンが表示されなくなります。

第 27 章

セキュリティ

Capacity Max の場合、この機能を使用すると、無線機の機能停止、復帰、および強制終了ができます。他のシステムの場合、この機能を使用して無線機を有効または無効にできます。

たとえば、盗難にあった無線機を無効または機能停止にして不正ユーザーが使用できないようにし、無線機が回収されたときに有効化または復帰できます。

無線機が機能停止状態または無効の場合、受信機は機能停止手順が実行されたシステムでユーザーが開始したあらゆるサービスを要求または受信できません。ただし、無線機は別のシステムに切り替えることができます。機能停止状態または無効であっても、無線機は GNSS 位置報告を送信し続けるので、リモートでモニタできます。

 **注:** この機能を有効にするには、ディーラーにお問い合わせください。

27.1

無線機の機能停止

手順:

1. 下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
連絡先リストでの無線機の機能停止または無効化	メニューから、  [れんらくさき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [無線機停止] を選択します。
手動ダイヤルでの無線機の機能停止または無効化	<ol style="list-style-type: none"> a. メニューから、 [れんらくさき] → [ダイヤル] → [むせんきばんごう] の順に選択します。 b. ID を入力します。 c. [むせんていし] を選択します。

2. その他のシステムの場合は、必要に応じてパスフレーズを入力します。

結果:

緑色の LED が点滅し、ディスプレイに [むせんていし:] が表示されます <[ID]>。

無線機が正常に機能停止されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

無線機が機能停止に失敗すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

27.2

無線機の復帰

手順:

1. 下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
連絡先リストでの無線機の復帰または有効化	メニューから、  [れんらくさき]→<[必要な ID またはエイリアス]>→[ていしかいじょ] を選択します
手動ダイヤルでの無線機の復帰または有効化	<ol style="list-style-type: none">a. メニューから、 [れんらくさき]→[ダイヤル]→[むせんきばんごう] の順に選択します。b. ID を入力します。c. [ていしかいじょ] を選択します。

2. その他のシステムの場合は、必要に応じてパズフレーズを入力します。

結果:

緑色の LED が点灯し、ディスプレイに [無線機有効:] が表示されます <[ID]>。

無線機が正常に復帰すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

無線機が復帰に失敗すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

27.3

ラジオ キル

この機能は、無線機への不正アクセスを制限するための拡張セキュリティ対策です。

無線終了を使用すると、無線機が操作不能になります。たとえば、盗まれた無線機や誤って配置された無線機が不正に使用されるのを防ぐために、無線機を終了したい場合があります。

電源を入れると、終了済みの無線機の画面に一時的に [むせんしゅうりょうずみ] が表示され、終了済み状態であることが示されます。



注: 終了済みの無線機は、Motorola Solutions のサービス ステーションでのみ復帰させることができます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

第 28 章

屋内位置

 **注:** 屋内位置機能は、最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載したモデルにのみ適用されます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

屋内位置を使用して、無線機ユーザーの位置を追跡できます。屋内位置が有効になっていると、無線機は限定的に検出可能なモードになります。無線機を探して位置を特定するために、専用ビーコンが使用されます。

28.1

屋内位置のオン

手順:

メニューから  [Bluetooth] → [屋内位置] → [InLoc の状態] を選択します。

結果:

屋内位置が正常にオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [屋内オン] と表示されます。
- [屋内位置利用可能] アイコンがホーム画面に表示されます。

屋内位置がオンにならない場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- ディスプレイに [接続中失敗] と表示されます。

28.2

屋内位置情報のオフ

手順:

メニューから  [Bluetooth] → [屋内位置] → [InLoc の状態] を選択します。

結果:

屋内位置が正常にオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [屋内オフ] と表示されます。
- [屋内位置利用可能] アイコンがホーム画面から消えます。

屋内位置がオフにならない場合、無線機には次の通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- ディスプレイに [切断中失敗] と表示されます。

28.3

屋内位置ビーコン情報へのアクセス

手順:

メニューから  [Bluetooth] → [屋内] → [ビーコン] を選択します。

結果:

ディスプレイにビーコンの情報が表示されます。

第 29 章

ワーク チケット

この機能を使用して、実行するタスクを列挙するディスパッチャからのメッセージを、無線機で受信できません。



注: この機能は、ユーザーの要件に応じて無線機プログラミングソフトウェアによりカスタマイズできます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

次の 2 つのフォルダに、異なる種類のワーク チケットが含まれます。

[マイ タスク] フォルダ

ユーザーがサインインに使用したユーザー ID に割り当てられた、個人用のワーク チケット

[共有タスク] フォルダ

ユーザーのグループに割り当てられた共有ワーク チケット

ワーク チケットに応答して、チケットをワーク チケット フォルダに並べることができます。既定のフォルダ名は **[All]**、**[New]**、**[Started]**、および **[Completed]** です。

ワーク チケットは、無線機の電源を入れ直しても保持されます。

[All] フォルダには、すべてのワーク チケットが配置されます。お使いの無線機のプログラムに応じて、ワーク チケットは、優先度順、次に受信時刻順にソートされます。新規のワーク チケット、状態が最近変化したワーク チケット、および優先度が最高のワーク チケットが、リストの先頭に列挙されます。

ワーク チケットの最大件数に達すると、最後のチケットが次のチケットに取って代わられます。無線機のモデルによっては、最大 100 件または 500 件のワーク チケットをサポートします。無線機は、ワーク チケット ID が重複しているワーク チケットを、自動的に検出して破棄します。

ワーク チケットの重要度に応じて、ディスパッチャで優先度レベルが追加されます。優先度レベルには、3 段階あります。優先度 1 が最高の優先度で、優先度 3 が最低の優先度です。その他に、優先度なしのワーク チケットもあります。

ディスパッチャが下記の変更を行うと、それによって無線機が更新されます。

- ワーク チケットの内容修正。
- ワーク チケットの優先度レベルの追加または編集。
- ワーク チケットのフォルダからフォルダへの移動。
- ワーク チケットのキャンセル。

29.1

ワーク チケット フォルダへのアクセス

手順:

1. メニューから  **[ワーク チケット]** を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - ユーザー ID でログインしていない場合は、**<[必要なフォルダ]>** → **<[必要なワーク チケット]>** を選択します。
 - ユーザー ID でログインしている場合は、**[共有タスク]** → **<[必要なフォルダ]>** → **<[必要なワーク チケット]>** を選択します。



注: [マイタスク] メニュー項目にアクセスできるのは、ユーザー ID を使用してログインしている場合のみです。

29.2

リモート サーバーへのログイン

ユーザー ID を使用してリモート サーバーにログインまたはログアウトできます。

手順:

メニューから  [ログイン] を選択します。

ログイン済みの場合は、メニューに  [ログアウト] と表示されます。

結果:

ログインが正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [サインインせいこう] と表示されます。

ログインに失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- ディスプレイに [サインインしっぱい] と表示されます。

29.3

ワーク チケットの作成

無線機は、ワーク チケット テンプレート をベースにした、実行が必要な作業を送信するワーク チケットを作成できます。無線機プログラミングソフトウェアを使用してワーク チケット テンプレートを設定するには、ディーラーにお問い合わせください。

手順:

1. メニューから  [ワーク チケット] を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - Capacity Max の場合は、[タスクのさくせい] を選択します。
 - その他のシステムの場合は、[チケットのさくせい] を選択します。

29.4

ワーク チケット テンプレートの使用によるワーク チケットの送信

前提条件: 設定に応じて、正しいワーク チケット テンプレートを選択します。

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
単数のワーク チケット テンプレートを使った JOB チケットの送信	<ol style="list-style-type: none">a. ワーク チケット テンプレートで、目的の部屋番号を入力します。b. [部屋のステータス] → <[必要なオプション]> → [そうしん] を選択します。

オプション	操作
複数のワーク チケット テンプレートを使ったワーク チケットの送信	ワーク チケット テンプレートで <[必要なオプション]>→[そうしん] を選択します。
送信済みワーク チケットの再送信	[マイタスク] メニュー項目から、[送信済タスク] → <[必要な送信済みワーク チケット]> → [メニュー/OK] → [さいそうしん] を選択します。
送信済みワーク チケットの編集と送信	a. [マイタスク] メニュー項目から、[送信済タスク] → <[必要な送信済みワーク チケット]> → [メニュー/OK] → [へんしゅう] を選択します。 b. <[必要なフィールドとオプション]> を編集します。 c. 編集したワーク チケットを送信するには、[送信] を選択します。

結果:

リクエスト送信が正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

リクエスト送信が失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

29.5

ワーク チケットの受信と応答

ワーク チケットを受信すると、無線機はワーク チケット通知を受信します。

手順:

- ワーク チケットに応答するには、次のいずれかの操作を実行します。
 - 受信した最新のワーク チケット通知を表示するには、[通知ウィジェット] をタップします。
 - 優先ワーク チケットを表示するには、メニューから  [ワーク チケット] → [共有タスク] → <[必要なフォルダ]> → <[必要なワーク チケット]> の順に選択します。
- [メニュー/OK] ボタンと必要なワーク チケットを選択して、サブメニューにアクセスします。
 クイック返信するには、数字キー 1 ~ 9 を選択します。

結果:

アクションに成功した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

アクションに失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

29.6

ワーク チケットの削除

手順:

1. メニューから  [ワーク チケット] を選択します。
2. 次のいずれかのフォルダを選択します。
 - 共有タスク
 - 送信済タスク
 - タスクの削除
3. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 必要なワーク チケットを削除するには、<[/必要なワーク チケット]>→[メニュー/OK]→[さくじょ] を選択します。
 - すべてのワーク チケットを削除するには、[ぜんさくじょ]→[はい] を選択します。

結果:

リクエストが正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

リクエストが失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

第 30 章

テキスト メッセージング

無線機は、他の無線機やテキスト メッセージ アプリケーションからデータを受信できます。

表 25: テキスト メッセージの種類と文字制限

テキスト メッセージの種類	文字制限
デジタル車載型無線機 (DMR) ショート テキスト メッセージ	23 文字。
テキスト メッセージ	件名を含めて 280 文字。  注: 件名は、電子メール アプリケーションからメッセージを受信した場合にのみ表示されます。



注:

この文字制限は、ソフトウェアとハードウェアが最新のモデルにのみ適用されます。ソフトウェアやハードウェアが古い無線機モデルでは、テキスト メッセージの文字制限は 140 文字です。詳細については、販売店にお問い合わせください。

30.1

テキスト メッセージの表示

手順:

1. メニューから  [メッセージ] を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - テキスト メッセージまたはテレメータ ステータスで、[じゅしん BOX] → <[必要なメッセージ]> を選択します。
 - [保存されたテキスト メッセージ] で、[したがき] → <[必要なメッセージ]> を選択します。
 - [送信済みテキスト メッセージ] で、[そうしん BOX] → <[必要なメッセージ]> を選択します。

結果:

[じゅしん BOX]、[したがき]、または [そうしん BOX] フォルダが空の場合:

- キー操作音が有効になっている場合は、トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [リストがありません] と表示されます。

[じゅしん BOX]、[したがき]、または [そうしん BOX] フォルダが空でない場合、メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

テレメータ ステータスの場合、メッセージに返信することはできず、ディスプレイには [テレメータ: <ステータス メッセージ>] と表示されます。

30.2

テキスト メッセージの編集

手順:

1. メニューから  [メッセージ]→[へんしゅう] を選択します。
2. テキスト メッセージを作成します。
3. テキスト メッセージを作成したら、次のいずれかの操作を実行します。
 - テキスト メッセージを保存するには、[バック/ホーム]→[ほぞん] を選択します。
 - テキスト メッセージを破棄するには、[バック/ホーム]→[はいき] を選択します。



注: 誤ってバック/ホーム ボタンを選択した場合は、[へんしゅう] を選択してテキスト メッセージの作成を続行できます。

テキスト メッセージが保存されている場合は、下書きフォルダでテキスト メッセージを表示および編集できます。

テキスト メッセージが破棄されると、テキスト メッセージは削除されます。

30.3

テキスト メッセージの送信

前提条件: メッセージを作成します。

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
テキスト メッセージの送信	<ol style="list-style-type: none">1. 作成したメッセージからメニュー/OK ボタンを選択します。2. 下記の操作のいずれかを実行します。<ul style="list-style-type: none">○ <[必要な ID またはエイリアス]> を選択します。○ [ダイヤル] を選択し、ID を入力します。
送信済みテキスト メッセージの送信	送信されたメッセージから、[メニュー/OK]→[さいそうしん] を選択します。
クイック テキスト メッセージの送信	<ol style="list-style-type: none">1. メニューから  [メッセージ]→[クイック テキスト] を選択します。2. 下記の操作のいずれかを実行します。<ul style="list-style-type: none">○ <[必要な ID またはエイリアス]> を選択します。○ [ダイヤル] を選択し、ID を入力します。
テキスト メッセージの再送信	[さいそうしん] を選択します。

結果:

テキスト メッセージが正常に送信されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
 - ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- テキスト メッセージの送信に失敗すると、ディスプレイに次のオプションが表示されます。

- さいそうしん
- てんそう
- 編集

30.4

テキスト メッセージへの応答

テキスト メッセージを受信すると、無線機に以下の項目が表示されます。

- 送信者の ID またはエイリアスを含む通知リスト。
- [メッセージ] アイコン。



注: PTT ボタンを押すと、無線機はテキスト メッセージ アラート画面を終了し、送信者に個別通信またはグループ通信を発信します。

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
通知リストからのテキスト メッセージへの応答	下記の操作のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ● メニューから [通知] → [メニュー/OK] → <[必要なメッセージ]> → [へんしん] の順に選択します。 ● ホーム画面で、[ダウン] → <[必要なメッセージ]> → [メニュー/OK] → [へんしん] を選択します
テキスト メッセージへの応答	メニューから、 [メッセージ] → [じゅしん BOX] → <[必要なメッセージ]> → [へんしん] を選択します。
クイック テキストによるテキスト メッセージへの返信	メニューから、 [メッセージ] → [じゅしん BOX] → <[必要なメッセージ]> → [クイックへんしん] を選択します。

30.5

テキスト メッセージの転送

手順:

1. [さいそうしん] オプション画面で [メッセージ] を選択します。
2. [じゅしん BOX] または [そうしん BOX] フォルダからテキスト メッセージを転送するには、<[必要なメッセージ]> → [てんそう] を選択します。

結果:

テキスト メッセージが正常に転送されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

テキスト メッセージの転送に失敗すると、ディスプレイに次のように表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

30.6

テキスト メッセージの削除

手順:

1. メニューから  [メッセージ] を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - テキスト メッセージを削除するには、[受信トレイ]→<[必要なテキスト メッセージ]>→[メニュー/OK]→[削除] を選択します。
 - すべてのテキスト メッセージを削除するには、[受信トレイ]→[すべて削除] を選択します。
 - 送信済みテキスト メッセージを削除するには、[そうしん BOX]→<[必要なテキスト メッセージ]>→[メニュー/OK]→[削除] を選択します。
 - すべての送信済みテキスト メッセージを削除するには、[そうしん BOX]→[すべて削除] を選択します。
 - 保存されたテキスト メッセージを削除するには、[下書き]→<[必要なテキスト メッセージ]>→[メニュー/OK]→[削除] を選択します。
 - すべての保存済みテキスト メッセージを削除するには、[したがき]→[すべて削除] を選択します。

30.7

メッセージ アラーム トーンの設定

手順:

1. メニューから、 [れんらく さき]→<[必要な ID またはエイリアス]>→[メッセージ アラーム] を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 瞬間トーンを表示するには、[1 かいのみ] を選択します
 - 反復トーンを表示するには、[くりかえし] を選択します

第 31 章

ステータス メッセージ

この機能を使用すると、無線機によりステータス メッセージを他の無線機に送信できます。

無線機プログラミング ソフトウェアを使用してクイック ステータス リストを設定し、最大 100 のステータスを含めることができます。

各ステータス メッセージの最大長は 16 文字です。

受信したステータス メッセージは、受信トレイまたは通知リストにアクセスしても表示できます。

詳細については、販売店にお問い合わせください。



注: 各ステータスには、対応する 0 ~ 99 の範囲のデジタル値があります。簡単に参照できるように、各ステータスにエイリアスを指定できます。

31.1

ステータス メッセージの表示

手順:

メニューから、 [ステータス] → [受信トレイ] → <[必要なステータス メッセージ]> を選択します。

結果: 選択したステータス メッセージの内容が無線機に表示されます。

31.2

ステータス メッセージの送信

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
ステータス メッセージの送信	メニューから [ステータス] → [クイック ステータス] → <[必要なステータス メッセージ]> → <[必要な ID またはエイリアス]> を選択します。
連絡先リストによるステータス メッセージの送信	メニューから [れんらく さき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [ステータス送信] → <[必要なステータス メッセージ]> を選択します。

結果:

ステータス メッセージが正常に送信された場合、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

ステータス メッセージが失敗すると、ディスプレイに失敗通知が表示されます。



注: [クイック ステータス] では、最新のステータス メッセージの隣に が表示されます。

31.3

ステータス メッセージへの返信

手順:

メニューから、 [ステータス]→[じゅしん BOX]→<[必要なステータス メッセージ]>→[へんしん]→<[必要なステータス メッセージ]>の順に選択します。

31.4

個別通信の開始

手順:

1. メニューから、 [ステータス]→[じゅしん BOX]→<[必要なステータス メッセージ]>を選択します
2. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。

31.5

ステータス メッセージの削除

手順:

1. メニューから  [ステータス] を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - ステータス メッセージを削除するには、[受信トレイ]→<[必要なステータス メッセージ]>→[メニュー/OK]→[削除]→[はい] を選択します。
 - すべてのステータス メッセージを削除するには、[受信トレイ]→[すべて削除]→[はい] を選択します。

第 32 章

アナログ ステータス更新

無線機では、現在のアクティビティを示すステータス リストから無線機の連絡先 (5 トーン システム) または ディスパッチャ (Motorola データ通信システム) に、事前にプログラムされたメッセージを送信できます。

Motorola データ通信 (MDC) システムでは、最後に確認されたメッセージはステータス リストの一番上に保持されます。他のメッセージは英数字順に並べられます。

32.1

定義済み連絡先へのステータス更新の送信

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- Motorola データ通信 (MDC) システムの場合は、メニューから  [ステータス] → <[必要なステータス]/> → [しよきちにセット] → [メニュー/OK] を選択します。
- 5 トーン システムの場合は、メニューから  [ステータス] → <[必要なステータス]/> → [しよきちにセット] を選択します。

5 トーン システムの場合、ステータス リストを表示中に PTT ボタンを押すと、無線機は選択したステータス更新を送信し、ホーム画面に戻り音声通信を開始します。

結果:

MDC システムでは、リクエストが正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

MDC システムでは、リクエストが失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5 トーン システムでは、要求が成功した場合、無線機のディスプレイの確認済みステータスの隣に ✓ が表示されます。

5 トーン システムでは、要求が失敗した場合、無線機のディスプレイにある前のステータスの隣に ✓ が表示されます。

32.2

5 トーン ステータスの詳細の表示

前提条件: ソフトウェア ライセンス キーを購入します。

手順:

メニューから  [ステータス] → <[必要なステータス]/> → [しよさい] を選択します。

結果: ディスプレイに選択したステータスの詳細が表示されます。

32.3

5 トーン ステータスの詳細の編集

手順:

1. メニューから  [ステータス] → <[/必要なステータス/]> → [へんしゅう] を選択します。
2. ステータスの詳細を編集するには、以下のキーを使用します。
 - カーソルを左右に移動するには、**4 方向ナビゲーション** ボタンを選択します。
 - 文字を削除するには、*****キーを選択します。
 - テキスト入力方法を変更するには、**#**キーを選択して保持します。
3. 編集が完了したら、**メニュー/OK** ボタンを選択します。

結果: ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

第 33 章

アナログ メッセージ エンコード

無線機では、メッセージ リストから無線エイリアスまたはディスパッチャに、事前にプログラムされたメッセージを送信できます。

33.1

ディスパッチャへの MDC エンコード メッセージの送信

手順:

メニューから  [メッセージ] → [クイック テキスト] → <[必要なメッセージ]> を選択します。

結果:

リクエストが正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

リクエストが失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

第 34 章

オートレンジ トランスポンダ システム

オートレンジ トランスポンダ システム (ARTS) はアナログのみの機能で、無線機が ARTS を搭載した他の無線機の通信圏外にあるときに通知します。

ARTS を搭載した無線機は、定期的に信号の送受信を行って、互いに通信圏内にあることを確認します。無線機は、次のような通知を表示します。

表 26: オートレンジ トランスポンダ システム通知

表示	説明
初回警告	<ul style="list-style-type: none">● トーンが鳴ります。
ARTS 通信圏内警告	<ul style="list-style-type: none">● プログラムされている場合はトーンが鳴ります。● 無線コントロール ウィジェットに [エリアない] と表示されます。
ARTS 通信圏外警告	<ul style="list-style-type: none">● トーンが鳴ります。● 赤色の LED が素早く点滅します。● 無線コントロール ウィジェットに点滅して [範囲外] と表示されます。

第 35 章

動的な発信者のエイリアス

通信中は、受信無線機に送信無線機の発信者のエイリアスが表示されます。

[発信者のエイリアス] リストには、送信無線機の発信者のエイリアスを最大 500 件保存できます。個別通信を [発信者のエイリアス] リストから表示または発信できます。無線機の電源を切ると、発信者のエイリアスの受信履歴が [発信者のエイリアス] リストから消去されます。

35.1 発信者エイリアスの編集

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
無線機の電源をオンにして発信者のエイリアスを編集する	<ol style="list-style-type: none">無線機の電源を入れます。新しい <[発信者エイリアス]> → [メニュー/OK] を入力します。
発信者のエイリアスをメニューから編集する	<ol style="list-style-type: none">メニューから、 [ユーティリティ] → [ききょうほう] を選択します。[ID] → [メニュー/OK] → [へんしゅう] → [メニュー/OK]。新しい <発信者のエイリアス> を入力します。

結果: ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

35.2 発信者のエイリアス リストの表示

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、発信者のエイリアスの詳細の送受信を表示できます。

手順:

メニューから、 [発信者のエイリアス] → <[必要な発信者のエイリアス]> → [しょうさい] の順に選択します。

35.3 個別通信を発信者のエイリアス リストから開始

手順:

- メニューから、 [発信者のエイリアス] → <[必要な発信者のエイリアス]> の順に選択します。
- 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。

第 36 章

動的グループ番号割当

動的グループ番号割当 (DGNA) は、サードパーティ コンソールが無線で動的に無線機に新しいグループを割り当てたり削除したりできる機能です。

DGNA は、Capacity Max システムでのみ使用できます。

コンソールが DGNA を無線機に割り当てると、現在のチャンネルは DGNA モードになり、以下が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ホーム画面に戻る前に、ディスプレイに一時的に [<DGNA グループ エイリアス> 割り当て済み] と表示されます。
- DGNA アイコンがステータス バーに表示されます。
- ホーム画面に DGNA グループ エイリアスが表示されます。

コンソールが無線機から DGNA を削除すると、無線機は前のグループを復元し、以下が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ホーム画面に戻る前に、ディスプレイに一時的に [<DGNA グループ エイリアス> 削除済み] と表示されず。
- ステータス バーから DGNA アイコンが消えます。
- ホーム画面に、前のグループ エイリアスが表示されます。

無線機のプログラムに応じて、元のスキャン リスト チャンネルと DGNA 以外のグループを表示、編集、および聞き取ることができます。

無線機が DGNA モードになっている場合、[PTT] ボタンを長押しするアクションで、現在の DGNA グループとのみ通信できます。以前の DGNA 以外のグループと通信するには、プログラム済み [ワンタッチ アクセス] ボタンをプログラムします。



注: 無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

36.1

DGNA 通信の発信

前提条件: 現在のチャンネルが DGNA モードであることを確認します。

手順:

呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。

結果: 無線機には次の通知が表示されます。

- DGNA トーンが鳴ります。
- ディスプレイに、[DGNA] アイコンとエイリアスが表示されます。

36.2

DGNA 以外の通信の発信

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- 無線機が DGNA モードの場合は、プログラムされた **[ワンタッチ アクセス]** ボタンを押します。



注:

無線機が DGNA モードではない場合に **[ワンタッチ アクセス]** ボタンを押すと、無線機からネガティブ トーンが鳴り、エラーを示します。表示は変わりません。

- 無線機が DGNA モードでない場合は、**PTT** ボタンを押し続けます。



注:

ネガティブ トーンが鳴る前に PTT ボタンを押すと、無線機がホーム画面に戻ります。無線機にホーム画面が表示されている場合、PTT を押すと DGNA グループへ通信を発信します。

結果:

無線機が DGNA モードの場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- 音声ガイダンスが鳴ります。
- ディスプレイに [**<グループ エイリアス>**] および [**PTT ボタン**] と瞬間的に表示されます。

36.3

DGNA 通信の受信と応答

DGNA 通信を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- DGNA トーンが鳴ります。
- ディスプレイに **[DGNA]** アイコンとエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

手順:

1. 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。
2. 受話するには、**PTT** ボタンを放します。

第 37 章

正面パネル プログラミング

正面パネルのコントロールを使用して特定の機能パラメータをカスタマイズし、無線機の操作性をパーソナライズできます。

37.1

正面パネル プログラミングの入力

手順:

1. メニューから、 [ユーティリティ] → [PGM Radio] の順に選択します。
2. 現在の 8 桁のパスワードを入力します。
3. 必要な設定を選択します。

第 38 章

ホーム チャンネル リマインダ

この機能は、無線機がしばらくホーム チャンネルにセットされていない場合に通知します。

この機能を有効にしているとき、無線機がしばらくの間ホーム チャンネルにセットされていないと、以下の通知が定期的に繰り返されます。

- トーンとホーム チャンネル リマインダのアナウンスが鳴ります。
- ディスプレイに [ノン ホーム チャンネル] と表示されます。

38.1

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダが鳴った場合に、リマインダを一時的にミュートできます。

手順:

プログラムされた [ホーム チャンネル リマインダのミュート] ボタンを押します。

38.2

新しいホーム チャンネルの設定

ホーム チャンネル リマインダが表示されたときに、新しいホーム チャンネルを設定できます。

手順:

メニューから  [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [ホーム チャンネル] → <[必要なチャンネル]> の順に選択します。

結果:

ディスプレイには、選択したホーム チャンネル エイリアスの横に ✓ が表示されます。

第 39 章

モニタ機能

この機能を使用すると、ターゲット無線機のマイクをリモートで有効にできます。この機能を使用することで、ターゲット無線機の近くにあるあらゆる音声アクティビティを監視できます。



注: この機能は Capacity Plus-シングルサイトおよび Capacity Plus-マルチサイトでは利用できません。

39.1

チャンネルのモニタ

手順:

1. プログラムされた **[モニタ]** ボタンを押し続けます。
無線機には次の通知が表示されます。
 - 無線機のアクティビティが聞こえます。
 - 黄色の LED が点灯します。
 - ディスプレイに **[モニタ]** アイコンが表示されます。
2. 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。
3. 受信するには、**PTT** ボタンを放します。

39.2

連続モニタ

連続モニタ機能は、選択したチャンネルのアクティビティを継続的にモニタします。

39.2.1

連続モニタの設定

手順:

プログラムされた **[連続モニタ]** ボタンを押します。

結果:

無線機がこのモードに入ると、無線機に次のような通知が表示されます。

- アラート トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点灯します。
- ディスプレイに **[れんぞくモニタ オン]** と **[モニタ]** アイコンが表示されます。

無線機がこのモードを終了すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- アラート トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が消灯します。
- ディスプレイに **[れんぞくモニタ オフ]** と表示されます。

第 40 章

リモート モニタ

この機能を使用して、無線機の ID でターゲットの無線機のマイクをオンにします。この機能を使用することで、ターゲット無線機の近くにあるあらゆる音声アクティビティをリモートでモニタできます。

この機能を使用するには、お使いの無線機とターゲット無線機の両方をプログラムする必要があります。

ターゲットの無線機のリモート モニタ マイクの選択は、プログラムされたホット マイク設定に従います。ホット マイクのソースには、次の 2 つがあります。

表 27: ホット マイク ソース

ホット マイク ソース	マイクの選択
無線機マイク	Bluetooth マイクはリモート モニタに使用されます。 Bluetooth マイクが接続されていない場合は、無線マイクが使用されます。
有線アクセサリ マイク	有線アクセサリ マイクはリモート モニタに使用されます。 有線アクセサリ マイクが接続されていない場合は、Bluetooth マイクが使用されます。 Bluetooth マイクが接続されていない場合は、無線マイクが使用されます。

開始されると、ターゲットの無線機で LED が緑色に点滅します。この機能は、プログラムされた期間が経過した後、または相手の無線機でユーザーが操作を実行したとき、自動的に停止します。

他のシステムでは、リモート モニタは次の 2 つのタイプで構成されています。

- 認証を使用しないリモート モニタ
- 認証を使用するリモート モニタ

無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機のマイクをオンにする場合、パスフレーズが必要です。パスフレーズは、無線機プログラミング ソフトウェアを通じて、ターゲットの無線機にプログラムされます。

40.1

リモート モニタの開始

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
連絡先リストによるリモート モニタの開始	メニューから、  [れんらくさき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [リモート モニタ] の順に選択します。

オプション	操作
手動ダイヤルによるリモート モニタの開始	<p>a. メニューから  [れんさくさき]→[手動ダイヤル]→[むせんきばんごう] の順に選択します。</p> <p>b. ID またはエイリアスを入力するか、以前にダイヤルした ID を編集します。</p> <p>c. [リモート モニタ] を選択します。</p>

結果:

リクエストが正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディ스플레이にレ (チェックマーク) が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに [きょうせいモニタ] と表示されます。タイマーの期限が切れるとアラート トーンが鳴り、LED が消灯します。

リクエストが失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- ディ스플레이に X (バツ印) が表示されます。

第 41 章

無線機チェック

有効になっている場合にこの機能を使用すると、システム内の他の無線機がアクティブであるかどうかを、無線機のユーザーを呼び出さずに判断できます。ターゲットの無線機には、音声や映像による通知は行われません。

この機能は、加入者 ID にのみ適用されます。

41.1

無線機チェックの送信

手順:

1. メニューから  [れんらくさき] を選択します。
2. 次のいずれかの操作を実行して、無線機チェックを送信します。

オプション	操作
連絡先リストでの無線機チェックの送信	a. <[必要な ID またはエイリアス]>→[無線機チェック] を選択します。
手動ダイヤルでの無線機チェックの送信	a. [手動ダイヤル]→[むせんきばんごう] を選択します。 b. 下記の操作のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none">● <必要な ID またはエイリアス>を入力します。● 以前にダイヤルした ID を編集します。

結果:

ターゲットの無線機がシステムでアクティブになっている場合、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

ターゲット無線機がシステムで非アクティブになっている場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

第 42 章

ミュート モード

ミュート モードでは、無線機のすべての音声インジケータを無音にできます。

ミュート モードを開始すると、緊急操作などの優先度の高い機能を除くすべての音声インジケータがミュートされます。

ミュート モードを終了すると、無線機で、継続中のトーンおよび音声の再生が再開されます。

ミュート モード タイマーを設定すると、事前設定した所定の時間の間、ミュート モードを有効にすることができます。タイマーの時間は、無線機メニューで 0.5 ～ 6 時間の範囲内に設定できます。ミュート モードは、タイマーの時間が切れると終了します。

タイマーを 0 のままにすると、無線機の前面を上向きにするか、プログラムされた [ミュート モード] ボタンを押すまで、無線機は無期限にミュート モードのままになります。

 **重要:** 一度に有効にできるのは、無線機を下に向ける (フェイス ダウン) または転倒警報機能のいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

42.1

ミュート モードのオン

手順:

無線機の前面を 1 回だけ下に向けます。

結果:

ミュート モードが有効な場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- 赤色の LED ライトが点滅し、ミュート モードが終了するまで点滅し続けます。
- ディスプレイに [ミュート モード オン] と表示されます。
- ホーム画面に [ミュート モード] アイコンが表示されます。
- 無線機がミュートに設定されます。
- ミュート モード タイマーが設定されると、タイマーは設定された時間のカウント ダウンを開始します。

42.2

ミュート モード タイマーの設定

手順:

1. メニューから、 [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [ミュート タイマー] の順に選択します。
2. 各桁の数値を編集します。

42.3

ミュート モードの終了

ミュート モード タイマーの期限が切れると、無線機は自動的にミュート モードを終了します。ミュート モードは手動で終了することもできます。

手順:

次のいずれかの操作を実行して、ミュート モードを終了します。

- プログラムされた **[ミュート モード]** ボタンを押します。
- **PTT** ボタンを押し続け、マイクに向かって話します。
- プログラムされていないいずれかのチャンネルに切り替えます。

結果:

ミュート モードが無効な場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- 点滅している赤色の LED が消灯します。
- ディスプレイに **[ミュート モード オフ]** と表示されます。
- ホーム画面の **[ミュート モード]** アイコンが消えます。
- 無線機のミュートが解除され、スピーカの状態が復元されます。
- タイマーの期限が切れていない場合でも、ミュート モード タイマーは停止します。

第 43 章

受信信号強度インジケータ

この機能を使用して、受信信号強度インジケータ (RSSI) 値を表示できます。
ディスプレイでは、RSSI アイコンが右上端に表示されます。

43.1

RSSI 値の表示

手順:

ホーム画面で、5 秒以内に、**左ボタン**を 3 回、**右ボタン**を 3 回選択します。

結果: ディスプレイに現在の RSSI 値が表示されます。

第 44 章

応答禁止

この機能を使用すると、無線機が着信通信に応答しないようにすることができます。

 **注:** 詳細については、販売店にお問い合わせください。

有効にすると、無線機は着信通信に反応して送信通信を生成しません (無線機チェック、ページング、無線停止、リモート モニタ、自動登録サービス (ARS)、プライベート メッセージへの応答など)。

応答禁止が有効になっていると、無線機は個別通信の確認を受信できません。

無線機で手動による送信を行うことはできます。

44.1

応答禁止の設定

手順:

プログラムされた **[おうとうきんし]** ボタンを押します。

結果:

応答禁止が正常にオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに短時間、ポジティブ通知が表示されます。

応答禁止のオフに失敗した場合、無線機には次の通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに短時間、ネガティブ通知が表示されます。

第 45 章

レンタル タイマー

レンタル タイマー機能を使用すると、無線機レンタル取扱店は、無線機の許可されたレンタル期間を設定し、タイマーで指定された期間以降は無線機を自動的に無効にできます。

無線機には、最長レンタル期間 999 時間と最長レンタル延長期間 99 時間をプログラムできます。

タイマーは、無線機の使用時間を計算し、使用時間があらかじめ決められたレンタル期間に達すると無線機を無効にします。

レンタル期間が切れた後は、販売店がレンタル タイマーをリセットするまで無線機は機能を停止します。

45.1

レンタル タイマー情報へのアクセス

手順:

メニューから、**[ユーティリティ]**→**[レンタル タイマー]**→**[情報]** を選択します。

結果: ディスプレイにレンタル期間の時間が表示されます。

45.2

レンタル有効期限通知

レンタル有効期限通知機能は、レンタル期間の満了が近づいているときに通知します。

無線機は、タイマーの有効期限を表示と音声で通知します。

音声リマインダの頻度については、音声ガイダンスは次のように鳴ります。

- 最初のリマインダから 1 時間後ごと、レンタル期間が終了する 2 時間前まで。
- レンタル期間が満了する 2 時間前に 2 回。
- レンタル期間が満了する 3 分前、2 分前、1 分前に 2 回。

無線機のディスプレイに、レンタル期間が満了するまでの時間数の一時的な通知が表示されます。

満了するまでの最後の 3 分間、無線機のディスプレイに、レンタル期間が満了するまでの分数の一時的な通知が表示されます。

45.3

レンタル期間の延長

無線機には、最大 99 時間のレンタル期間延長をプログラムできます。

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
メニューからのレンタル期間の延長	<p>a. メニューから、[ユーティリティ]→[レンタルタイマー]→[延長]を選択します。</p> <p>b. メニュー/OKをボタン押します。</p> <p> 注: レンタル期間は 1 回のみ延長できます。レンタル期間を延長すると、延長チェックボックスはグレー表示されます。</p>
ボタンからのレンタル期間の延長	<p>サイド ボタン 2を 6 回続けて押します。</p> <p> 注: レンタル期間は 1 回のみ延長できます。ボタンをもう一度押すと、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。</p>

第 46 章

送信抑制

送信抑制機能を使うことで、無線機からの送信をすべてブロックできます。



注: Bluetooth および Wi-Fi 機能は、送信抑制モードで利用できます。

46.1

送信抑制の有効化または無効化

手順:



[ユーティリティ]→[きのうせってい]→[TX よくせい] を選択します。

結果:

送信抑制が有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

送信抑制が無効になっている場合は、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。



注: 送信抑制のステータスは無線機の電源をオンにしても変更されません。

第 47 章

割り込み通信

割り込み通信を使用すると、無線機は進行中の通信を中断し、優先度の高い通信を開始できます。

割り込み通信機能により、システムは、トランキング チャネルを利用できない場合に、進行中の通信に割り込みます。

そのため、無線機は緊急通信や一斉通信など優先度の高い通信を開始します。他の無線周波数 (RF) チャネルが利用できない場合、緊急通信は一斉通信にも割り込みます。

第 48 章

音声割り込み

音声割り込みを使用すると、無線機は進行中の通信を終了できます。

音声割り込み機能は、逆チャンネル シグナリングを使用して進行中の通信に割り込みます。割り込み中に音声送信を行うことができます。

この機能によって、通信がすでに進行しているときに受信者に対して新たに送信を行う確率が上がります。

音声割り込み機能は、無線機にプログラムされている場合に使用できます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

48.1

音声割り込みの有効化

手順:

1. 通信中に送信に割り込むには、**PTT** ボタンを長押しします。
2. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。

48.2

通信割り込みの開始

手順:

進行中の通信に割り込むには、次のいずれかの操作を実行します。

- **PTT** ボタンを押します。
- **[緊急]** ボタンを押します。
- 他のシステムの場合は、データ転送を実行します。
- その他のシステムの場合は、プログラムされた **[TX 割り込みリモート停止]** ボタンを押します。

第 49 章

エア接続プログラミング

ディーラーは、物理的に接続せずにエア接続プログラミング (OTAP) 経由で無線機をリモートから更新できます。一部の設定も OTAP を使用して設定できます。

OTAP を経由すると、緑色の LED が点滅します。

無線機が更新を受信すると、無線機には次の通知が表示されます。

- PTT ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ります。
- 無線機で無線周波数 (RF) によって OTAP を使用すると、ディスプレイに [大量データ] アイコンが表示されます。
- チャンネルがビジー状態になります。

OTAP が完了すると、設定に応じて次のいずれかの応答が無線機に表示されます。

- トーンが鳴ります。ディスプレイに [アップデート リセット] と表示されます。無線機は、電源がオフになってから再度オンになって再起動します。
- 無線機に [リスタート] または [えんきする] オプションが表示されます。[えんきする] を選択すると、前の画面に戻ります。自動再起動が行われるまで、ディスプレイに [OTAP 遅延タイマー] アイコンが表示されます。

自動再起動後に無線機の電源がオンになると、無線機には次の通知が表示されます。

- プログラムの更新に成功すると、ディスプレイに [ソフト アップデートかんりょう] と表示されます。
- プログラミングの更新に失敗すると、トーンが鳴り、赤色の LED が 1 回点滅し、ディスプレイに [ソフト アップデートしっぱい] と表示されます。



注:

プログラミングの更新に失敗した場合は、無線機の電源をオンにするたびに、更新に失敗したことを示すメッセージが表示されます。更新失敗の表示を消去するために、最新のソフトウェアを使用して無線機を再プログラムするには、販売店にお問い合わせください。

第 50 章

認定アクセサリ リスト

Motorola Solutions では、無線機の生産性を向上させる承認済みアクセサリをご用意しています。

無線機でサポートされているアクセサリ、UL アクセサリ、およびバッテリーの詳細については、次のマニュアルの部品番号で <https://learning.motorolasolutions.com> を参照してください。

- MN007867A01 *MOTOTRBO™ R7* シリーズのアクセサリ リーフレット
- MN007869A01 *MOTOTRBO™ R7* シリーズの UL マニュアル